

LANSheet® Light

LANSheet Light Manager®

User's Manual



Index

1. はじめに	1
1-1. 本書について	1
本書の表記について	1
商標について	1
2. LANSheet Light Manager® とは	3
2-1. LANSheet Light Manager® の機能	4
LANSheet Light Manager® の特長	4
LANSheet Light Manager® の動作環境	5
3. LANSheet Light Manager® を導入する	7
3-1. 事前準備	7
対応機器情報の確認	7
3-2. LANSheet Light Manager® をインストールする	8
4. LANSheet Light Manager®	13
4-1. LANSheet Light Manager® の起動と終了方法	14
LANSheet Light Manager® を起動する	14
4-2. LANSheet Light Manager® の操作画面	15
4-3. 機器の Web ページを表示する	23
機器の Web ページを表示する	23
4-4. 機器の IP アドレスを設定する	24
IP アドレス設定画面	24
IP アドレスを設定する	25
4-5. 機器を個別に設定する	27
機器の設定画面	27
機器を設定する	28

4-6. 複数台の機器を一括で設定する	31
事前準備	31
機器の一括設定画面	47
機器の追加画面	48
機器の編集画面	49
IP アドレス設定画面	50
複数台の機器を一括で設定する	51
4-7. 機器のファームウェアを更新する	56
ファームウェアの更新画面	56
ファームウェアを更新する	57
4-8. 機器を初期化する	60
機器の初期化画面	60
機器の設定を初期化する	61
4-9. 機器を再起動する	64
機器の再起動画面	64
機器を再起動する	65
4-10. 機器の設定情報を一覧表示する	68
設定情報の取得画面	68
設定情報の一覧表示画面	69
機器の設定情報を一覧表示する	70
設定ファイルと比較する	73
4-11. 機器をグループで管理する	75
グループリストと機器リスト	75
グループを作成する	76
グループに機器を登録する	78
グループから機器を削除する	81
グループの情報を編集する	82
グループ情報をエクスポート / インポートする	83

4-12. Log Viewer でログを参照する	87
Log Viewer を起動する.....	87
Log Viewer の操作画面.....	89
フィルタ条件について	93
保存されたログから検索して表示する	94
ログリストのフィルタ機能を使用する	97
イベントログをファイルに保存する	99
保存したイベントログを読み込む.....	100
4-13. LANSheet Light Manager® の設定を変更する.....	102
オプション設定画面	102
LANSheet Light Manager® の設定を変更する	104



1. はじめに

このたびは、LANSheet Light Manager® をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 本書について

本書は、LANSheet Light Manager® の設定およびご利用方法を記載したものです。

本書の表記について

- ・ 本書の内容の一部または全部を弊社の事前の許可なく無断で転載あるいは、複製することは法律で禁止されています。
- ・ 本書の内容は将来予告なく変更することがあります。
- ・ 本書はそれぞれの OS にあわせて注意深く用意しておりますが、将来バージョンアップや OS に変更のあった場合など、パソコンのモニタに実際に表示される表現と差異が出る可能性があります。ご了承ください。
- ・ 本書編集にあたって万全を期しておりますが、誤りや設定などの例による結果に対し、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

- ・ LANSheet Light Manager は株式会社イトーキの登録商標です。
- ・ Microsoft、Windows などは米国マイクロソフトコーポレーションの米国および、その他の国における登録商標です。
- ・ Wi-Fi、Wi-Fi Direct、Wi-Fi Protected Setup、Wi-Fi Protected Access (WPA)、WPA2 は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- ・ その他記載されている社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

(空白ページ)

2. LANSheet Light Manager® とは

この章では、LANSheet Light Manager® の機能について説明しています。

2-1. LANSheet Light Manager® の機能

LANSheet Light Manager® は、イトーキ製ネットワーク機器（以降、機器）を対象とした統合デバイス管理ソフトウェアです。無線・有線 LAN ネットワーク環境に接続された機器の状態監視や各種設定変更、ファームウェア更新・再起動といった運用管理に必要な機能を、遠隔・一括で行うことができます。多拠点・多台数の機器の運用管理の省力化や、トラブル発生の早期発見、問題対応にご利用いただけます。

LANSheet Light Manager® の特長

本製品の特長は以下のとおりです。

■複数の機器を一括で管理

- ・ 機器管理台数…………… 最大 10000 台
- ・ 同時に操作できる台数…………… 最大 10000 台
- ・ 作成できるグループ数…………… 最大 100 個
- ・ 1 個のグループに登録できる台数… 最大 1000 台

■遠隔地からの運用・監視

遠隔地から統合的なステータス情報（無線 LAN ステータス・機器のステータス）を把握し、設定（チャンネル・IP・SSID など）を変更できます。ネットワーク環境や機器の問題を予見・回避、問題発生時も遠隔地から対応できます。

■一括での、設定・変更、バージョンアップ

Web ブラウザから、複数拠点・複数機器のファームウェアのバージョンアップ、設定変更、再起動、初期化を一括で行うことができます。これにより、機器メンテナンス作業・管理作業が軽減され、SSID やセキュリティ等の定期的な変更作業も簡単に行うことができます。また、機器ごとに個別に設定変更を行うこともできます。

■ Log Viewer を使用した、イベントログの参照

Log Viewer を使用して、LANSheet Light Manager® に保存されたイベントログを参照することができます。

LANSheet Light Manager® の動作環境

項目	説明
対応 OS	Microsoft Windows 7 SP1 (32/64bit) Microsoft Windows 8 (32/64bit) Microsoft Windows 8.1 (32/64bit) Microsoft Windows Server 2008 R2 Microsoft Windows Server 2012 Microsoft Windows Server 2012 R2 Microsoft Windows 10 (32/64bit) Microsoft Windows Server 2016
対応言語	日本語 英語 中国語
環境	.NET Framework 4.5 以上
対応機種	IT-AP2006
機器管理台数	最大 10000 台
対応トランスポート層プロトコル (ポート番号は占有するポート)	TCP(#60000) UDP(#60000) UDP(#60001)

**注意**

- Windows 8 以降では、クラシックデスクトップアプリとして動作します。
- Windows RT は、非対応です。

(空白ページ)

3. LANSheet Light Manager® を導入する

この章では、LANSheet Light Manager® を導入するための事前準備とインストール手順について説明しています。

3-1. 事前準備

対応機器情報の確認

LANSheet Light Manager® をご利用いただくためには、運用管理する機器が LANSheet Light Manager® に対応している必要があります。

対応機種：IT-AP2006（2018年X月現在）

また、機種によっては事前に設定が必要な場合があります。詳細は、各機種のマニュアルを参照してください。

3-2. LANSheet Light Manager® をインストールする

インストーラを起動して、LANSheet Light Manager® をインストールします。

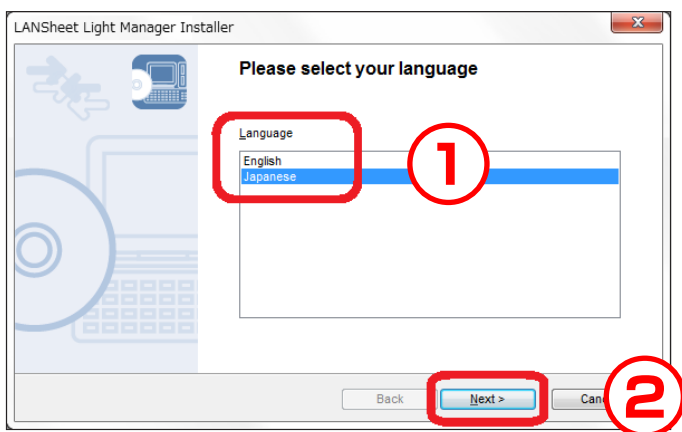
1. LANSheet Light Manager® をインストールするパソコンで、LANSheet Light Manager® の「Setup.exe」をダブルクリックします。



参考

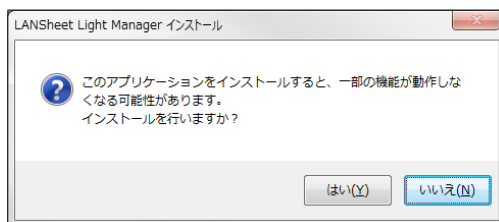
- ユーザーアカウント制御が有効になっている環境で実行すると、ユーザーアカウント制御画面（OSによって表示される画面は異なります）が表示されます。表示されたら、[続行] または [はい] をクリックしてください。

2. 言語選択画面が表示されます。
使用する言語を一覧から選択して、[Next] をクリックします。



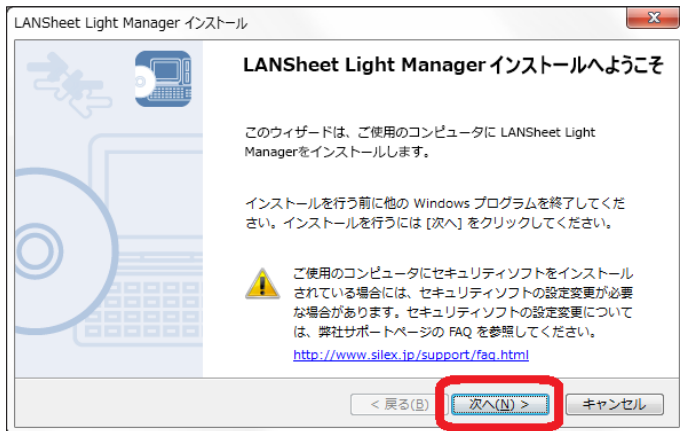
参考

- 既に LANSheet Light Manager® がインストールされている場合、インストールするバージョンによっては以下のメッセージが表示されることがあります。
- 表示されたときは、[はい] をクリックして手順 3 に進みます。



3. ようこそ画面が表示されます。

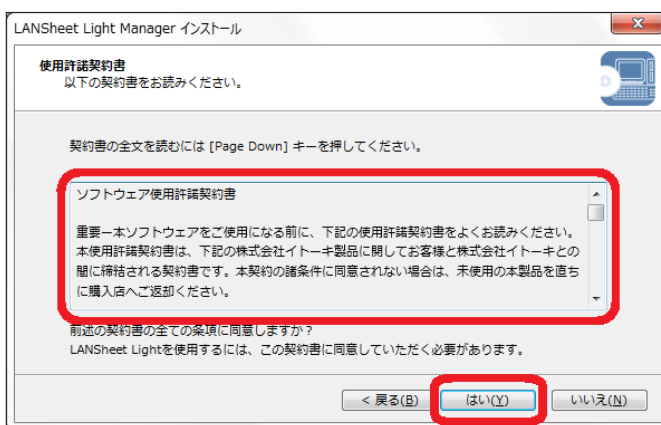
[次へ] をクリックします。



4. ソフトウェア使用許諾契約書画面が表示されます。

ソフトウェア使用許諾契約書の内容を確認します。

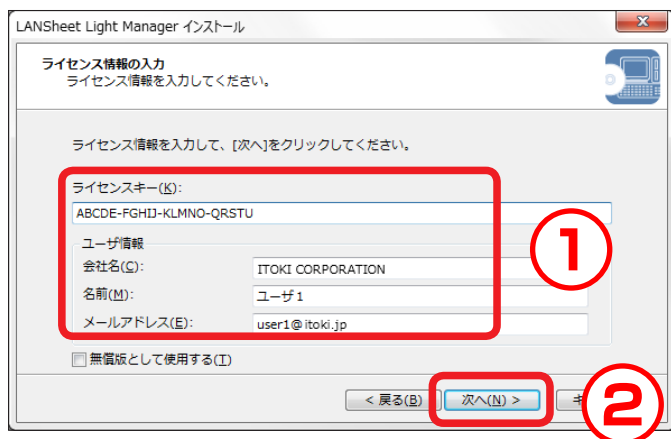
同意したら [はい] をクリックします。



5. ライセンス情報入力画面が表示されます。

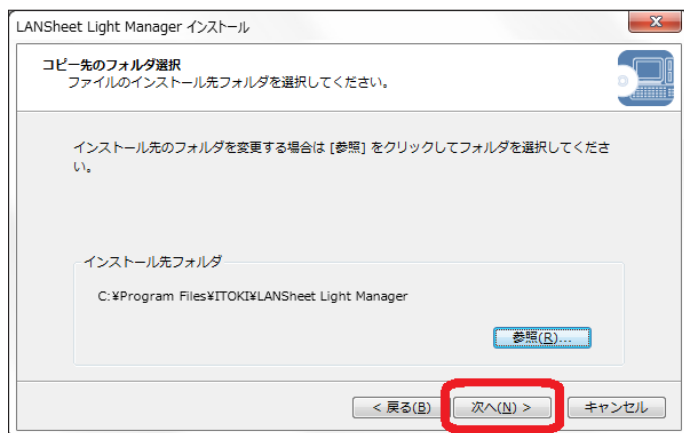
有償版を使用する場合は、ライセンス登録したライセンス情報を入力して、[次へ]をクリックします。

既にLANSheet Light Manager® がインストールされている場合は、下記画面は表示されません。



6. インストールフォルダ選択画面が表示されます。

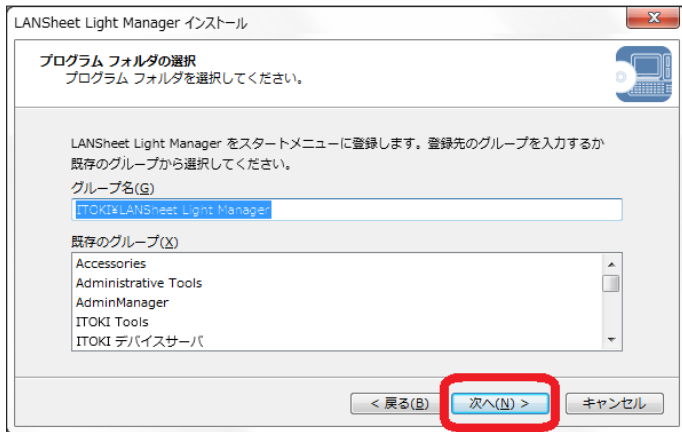
[次へ] をクリックします。



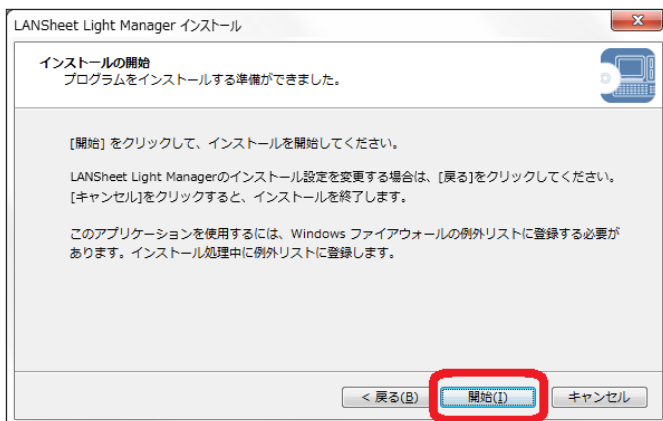
参考

- デフォルトのインストール先フォルダは、「(C:\Program Files) \ITOKI\LANSheet Light Manager」です。
- [参照] をクリックすると、インストール先フォルダを指定することができます。

7. プログラムフォルダ選択画面が表示されます。
[次へ] をクリックします。

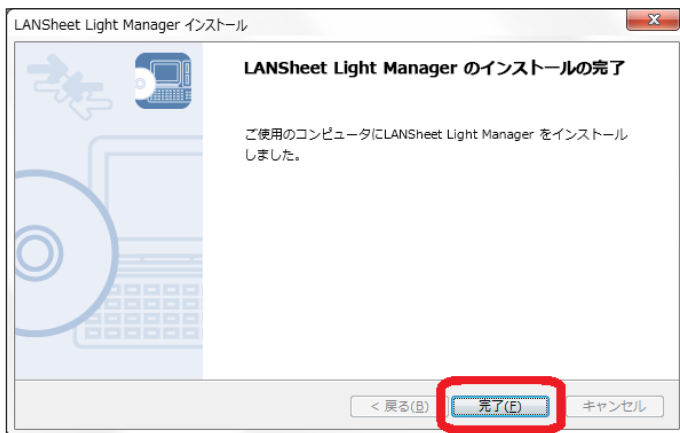


8. インストールの開始画面が表示されます。
[開始] をクリックします。



9. インストール完了画面が表示されます。

[完了] をクリックすると、LANSheet Light Manager® が起動します。



4. LANSheet Light Manager®

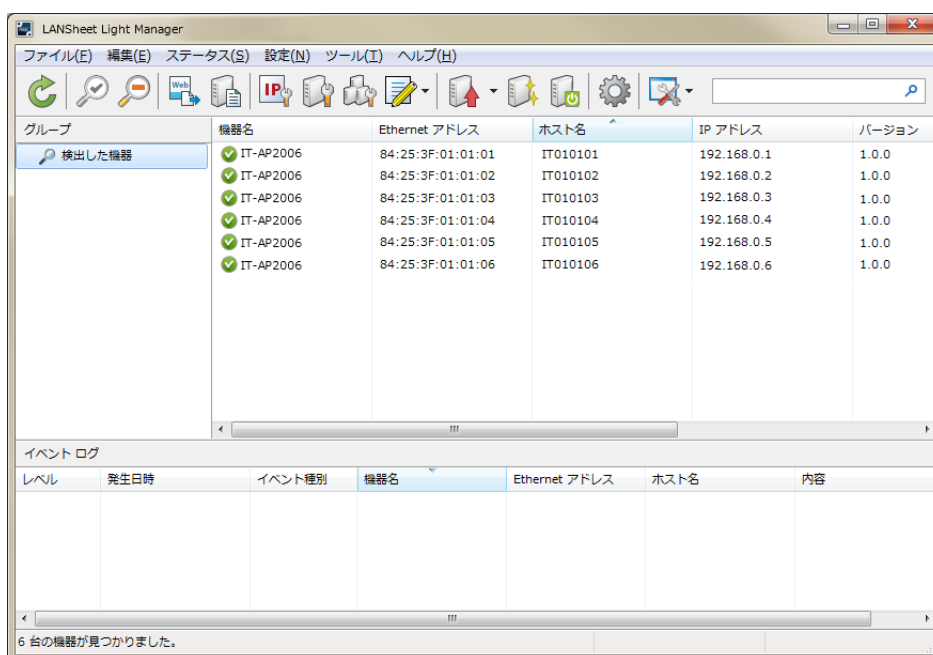
この章では、LANSheet Light Manager® の使い方について説明しています。

4-1. LANSheet Light Manager® の起動

LANSheet Light Manager® の起動方法と終了方法について説明します。

LANSheet Light Manager® を起動する

1. 「スタート」 - 「(すべての) プログラム」 - 「ITOKI」 - 「LANSheet Light Manager」の順にクリックすると、LANSheet Light Manager® が起動します。



参考

- Windows 8 で起動する場合
スタート画面上で右クリックし、画面下部に表示されたアプリバーから「すべてのアプリ」をクリックして、「ITOKI」 - 「LANSheet Light Manager」をクリックします。
- Windows 8.1 で起動する場合
スタート画面左下にある [] をクリックして、「ITOKI」 - 「LANSheet Light Manager」をクリックします。
- Windows 10 で起動する場合
「スタート」 - (「すべてのアプリ」) - 「ITOKI」 - 「LANSheet Light Manager」から「LANSheet Light Manager」をクリックします。

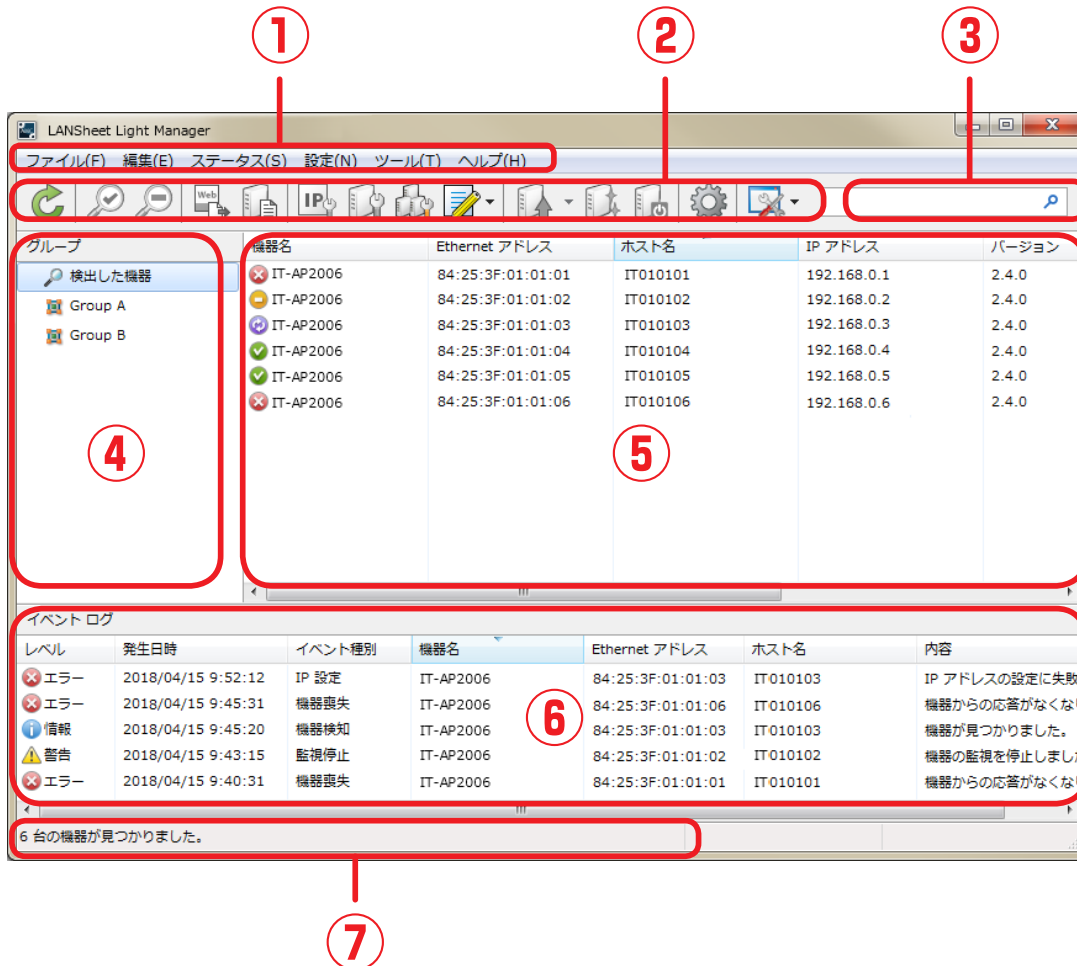


注意

- オプション設定画面で「起動パスワード設定」にパスワードを設定している場合、起動時にパスワード入力を求められます。

4-2. LANSheet Light Manager® の操作画面

LANSheet Light Manager® の操作画面について説明します。



① メニューバー

検索設定や機器情報の参照など、LANSheet Light Manager® の各機能を実行します。

② ツールバー

検索設定や機器情報の参照など、LANSheet Light Manager® の各機能を実行します。

③ 検索ボックス

入力した文字列に該当する機器を機器リストに表示します。

④ グループリスト

任意に作成したグループを一覧表示します。

⑤ 機器リスト

ネットワーク上の機器一覧とステータス情報を表示します。

⑥ ログリスト

イベントログを表示します。

⑦ ステータスバー

機器リストで選択した項目の情報などを表示します。

【メニューバー】

検索設定や機器情報の参照など、LANSheet Light Manager® の各機能を実行します。

ファイル(E) 編集(E) ステータス(S) 設定(N) ツール(I) ヘルプ(H)

メニュー	項目	説明
ファイル	更新	機器リストの表示を最新情報に更新します。 機器が工場出荷状態の場合でも検索して表示します。
	終了	LANSheet Light Manager® を終了します。
編集	グループ追加	新規にグループを作成します。
	グループ編集	選択したグループの編集画面を表示します。
	グループ削除	選択したグループを削除します。
	グループのインポート	ファイルからグループ全体の情報を読み込みます。
	グループのエクスポート	グループ全体の情報をファイルに保存します。
ステータス	監視を開始する	機器を監視対象とします。 設定した間隔で定期的にステータスを更新します。
	監視を停止する	機器を監視対象としません。 手動で更新を行うまでステータスを更新しません。
	プロパティ	機器のプロパティ画面を表示します。
	機器のシステムログ取得	機器のシステムログを取得します。
設定	Web ブラウザによる設定	機器の Web ページを表示します。
	機器の IP 設定	機器に IP アドレスを設定します。
	機器の設定	機器を個別に設定します。
	機器の一括設定	複数台の機器を一括で設定します。
	設定ファイルの作成	一括設定で使用する設定ファイルを作成します。
	設定ファイルの結合	機器の設定ファイルを結合します。
	機器のファームウェア更新	機器のファームウェアを更新します。
	機器の初期化	機器の設定を初期化して工場出荷状態にします。
	機器の再起動	機器を再起動します。
	機器の設定情報表示	選択した機器の設定情報を取得し、一覧表示します。
ツール	Log Viewer を起動する	Log Viewer を起動します。
ヘルプ	ライセンス情報	LANSheet Light Manager® のライセンス情報を表示します。
	バージョン情報	LANSheet Light Manager® のバージョン情報を表示します。



参考

- 機器とパソコンが同じネットワーク上にある場合、「更新」を選択して実行した時は、パソコンの IP アドレスのクラスが一致していなくても検索が行えるため、工場出荷状態の機器を検索できます。
- 各機能は、機器側が対応していない場合は選択できません。

【ツールバー】

検索設定や機器情報の参照など、LANSheet Light Manager® の各機能を実行します。



アイコン	項目	説明
	更新	機器リストの表示を最新情報に更新します。 機器が工場出荷状態の場合でも検索して表示します。
	監視を開始する	機器を監視対象とします。 設定した間隔で定期的にステータスを更新します。
	監視を停止する	機器を監視対象としません。 手動で更新を行うまでステータスを更新しません。
	Web ブラウザによる設定	機器の Web ページを表示します。
	プロパティ	機器のプロパティ画面を表示します。
	IP アドレスを設定する	機器に IP アドレスを設定します
	機器の設定を行う	機器を個別に設定します。
	一括設定を行う	複数台の機器を一括で設定します。
	設定ファイルを作成する	一括設定で使用する設定ファイルを作成します。
	ファームウェアを更新する	機器のファームウェアを更新します。
	機器を初期化する	機器の設定を初期化して工場出荷状態にします。
	機器を再起動する	機器を再起動します。
	オプション	LANSheet Light Manager® の設定を変更します。 ステータスの更新間隔などが設定できます。
	プラグインツールを起動する	Log Viewer などの LANSheet Light Manager® の プラグインツールを起動します。

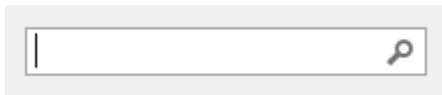


参考

- 機器とパソコンが同じネットワーク上にある場合、「更新」ボタンをクリックして実行した時は、パソコンの IP アドレスのクラスが一致していなくても検索が行えるため、工場出荷状態の機器を検索できます。

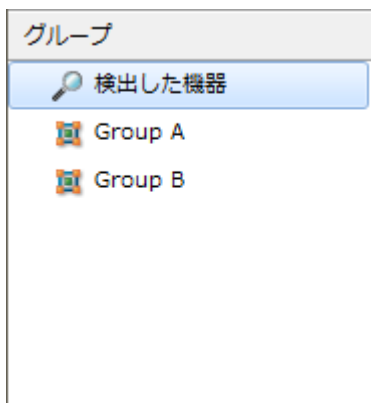
【検索ボックス】

入力した文字列を含む機器のみを機器リストに表示します。文字列の検索対象は、機器リストのすべての項目です。



【グループリスト】







任意に作成したグループを一覧表示します。グループを選択すると、グループに登録されている機器のみを機器リストに表示します。




- グループリストで右クリックすると、コンテキストメニューを表示します。コンテキストメニューでは、グループの追加や編集など、メニューバーの「編集」と同じ機能を使用できます。

【機器リスト】

ネットワーク上の機器一覧とステータス情報を表示します。

機器名	Ethernet アドレス	ホスト名	IP アドレス	バージョン
 IT-AP2006	84:25:3F:01:01:01	IT010101	192.168.0.1	2.4.0
 IT-AP2006	84:25:3F:01:01:02	IT010102	192.168.0.2	2.4.0
 IT-AP2006	84:25:3F:01:01:03	IT010103	192.168.0.3	2.4.0
 IT-AP2006	84:25:3F:01:01:04	IT010104	192.168.0.4	2.4.0
 IT-AP2006	84:25:3F:01:01:05	IT010105	192.168.0.5	2.4.0
 IT-AP2006	84:25:3F:01:01:06	IT010106	192.168.0.6	2.4.0

項目	説明
機器名	機器の状態を表すステータスアイコンと機器名を表示します。
Ethernet アドレス	機器の Ethernet アドレスを表示します。
ホスト名	機器のホスト名を表示します。
IP アドレス	機器の IP アドレスを表示します。
バージョン	機器のファームウェアのバージョンを表示します。
ステータス	機器のステータス情報を表示します。
情報	機器から受信した情報文字列を表示します。表示する内容は機器によって異なります。
最終更新時刻	ステータスを受信した最終日時を表示します。

アイコン	ステータス	説明
	ステータス更新中	機器のステータスを取得中です。
	動作中	機器は動作しています。
	動作中 (工場出荷状態)	機器は工場出荷状態で動作しています。
	応答がありません	機器はネットワーク上で検出されません。
	応答がありません (工場出荷状態)	機器はネットワーク上で検出されません。
	監視対象ではありません	機器は監視対象ではありません。
	未検出	機器は検出されていません。

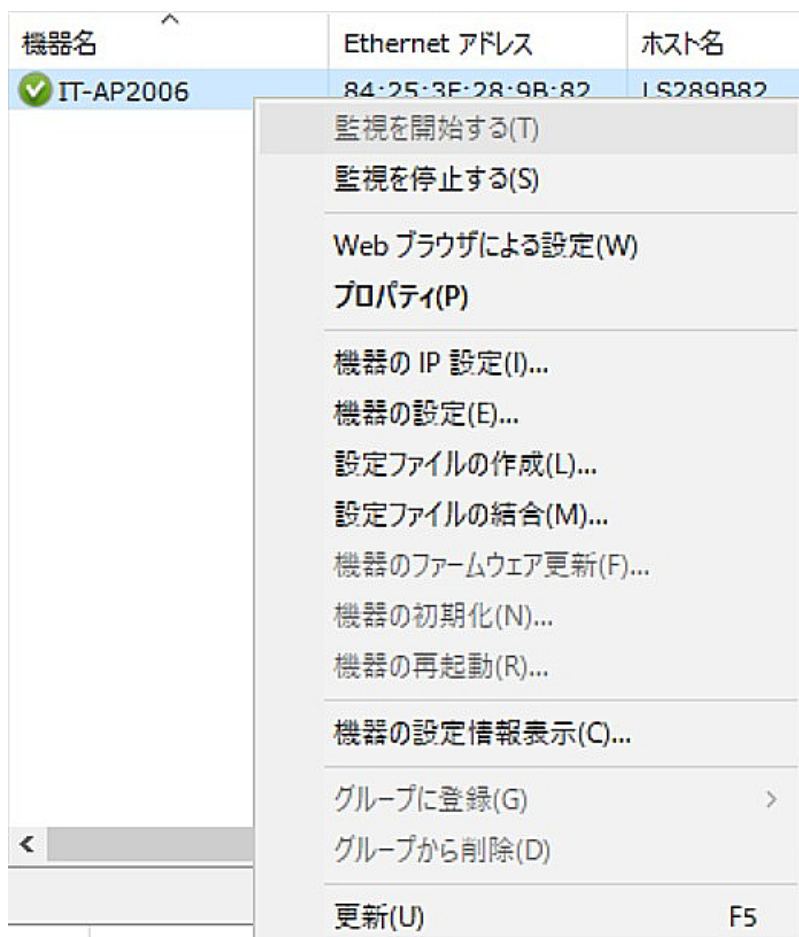


参考

- 各項目のカラムヘッダーをクリックするとソートできます。

【コンテキストメニュー】

機器リストで機器を選択して右クリックすると、コンテキストメニューを表示します。コンテキストメニューでは、選択した機器の監視や機器の設定など、LANSheet Light Manager® の各機能を実行します。








項目	説明
監視を開始する	機器を監視対象とします。 設定した間隔で定期的にステータスを更新します。
監視を停止する	機器を監視対象としません。 手動で更新を行うまでステータスを更新しません。
Web ブラウザによる設定	機器の Web ページを表示します。
プロパティ	機器のプロパティ画面を表示します。
機器の IP 設定	機器に IP アドレスを設定します
機器の設定	機器を個別に設定します。
設定ファイルの作成	機器情報を元にして、一括設定で使用する設定ファイルを作成します。
設定ファイルの結合	機器の設定ファイルを結合します。
機器のファームウェア更新	機器のファームウェアを更新します。
機器の初期化	機器の設定を初期化して工場出荷状態にします。
機器の再起動	機器を再起動します。
機器の設定情報表示	選択した機器の設定情報を取得し、一覧表示します。
グループに登録	機器を指定したグループに登録します。
グループから削除	機器を現在登録しているグループから削除します。
更新	機器のステータスを最新情報に更新します。




【ログリスト】

LANSheet Light Manager® で行った操作やネットワーク上の機器の監視結果など、LANSheet Light Manager® のイベント情報を表示します。

ログリストの表示は LANSheet Light Manager® の起動時に初期化されますが、過去のログは Log Viewer で参照できます。

イベントログ						
レベル	発生日時	イベント種別	機器名	Ethernet アドレス	ホスト名	内容
 エラー	2018/04/15 9:52:12	IP 設定	IT-AP2006	84:25:3F:01:01:03	IT010103	IP アドレスの設定に失敗
 エラー	2018/04/15 9:45:31	機器喪失	IT-AP2006	84:25:3F:01:01:06	IT010106	機器からの応答がなくなり
 情報	2018/04/15 9:45:20	機器検知	IT-AP2006	84:25:3F:01:01:03	IT010103	機器が見つかりました。
 警告	2018/04/15 9:43:15	監視停止	IT-AP2006	84:25:3F:01:01:02	IT010102	機器の監視を停止しました
 エラー	2018/04/15 9:40:31	機器喪失	IT-AP2006	84:25:3F:01:01:01	IT010101	機器からの応答がなくなり

項目	説明
レベル	イベントの内容とレベル種別を表すアイコンを表示します。
発生日時	イベントの発生日時を表示します。
イベント種別	イベントの種別を表示します。
機器名	イベントが発生した機器の機器名を表示します。
Ethernet アドレス	イベントが発生した機器の Ethernet アドレスを表示します。
ホスト名	イベントが発生した機器のホスト名を表示します。
内容	イベントの内容を表示します。

アイコン	レベル種別	説明
	情報	設定変更やネットワーク上の機器の検索の成功などの正常系イベント。
	エラー	設定変更の失敗や通信エラーなどのイベント。
	警告	機器の監視の停止などのイベント。

イベント種別	説明
IP 設定	IP アドレスの設定時に表示します。
設定変更	設定変更時に表示します。
設定初期化	設定の初期化時に表示します。
機器再起動	再起動時に表示します。
ファームウェア更新	ファームウェアの更新時に表示します。
メール送信	LANSheet Light Manager® や監視機器に関する異常などについてアラート通知が送信された時に表示します。
監視開始	機器の監視を開始した時に表示します。
監視停止	機器の監視を停止した時に表示します。
機器検知	機器から応答があった時に表示します。
機器喪失	機器から応答が無くなった（通信エラー）時に表示します。
機器復帰	機器喪失後、機器から応答があった時に表示します。
変更検知	LANSheet Light Manager® 以外の方法で設定変更やファームウェアが更新されたことを検知した時に表示します。
アプリケーション起動	LANSheet Light Manager® を起動したときに表示します。
アプリケーション終了	LANSheet Light Manager® を終了したときに表示します。
機器のシスログ	機器からシスログを受信したときに表示します。



参考

- 各項目のカラムヘッダーをクリックするとソートできます。

【ステータスバー】

ネットワーク上の機器の台数や機器リストで選択した機器の台数を表示します。選択した機器が 1 台のときは、機器の Ethernet アドレスと IP アドレスも表示します。

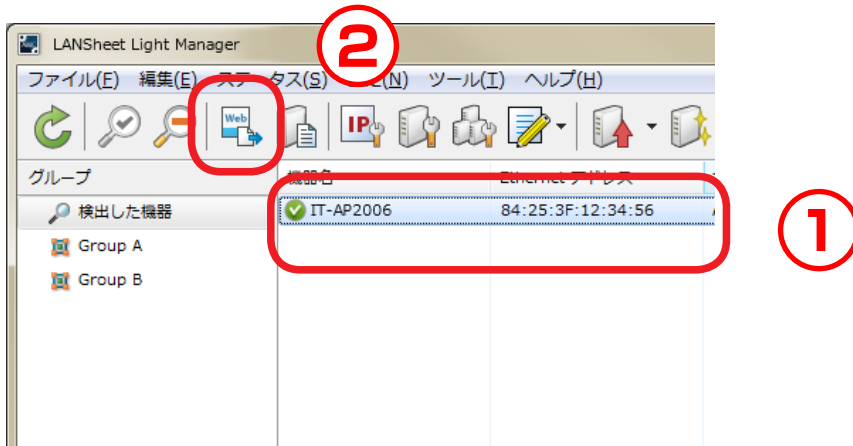
1 個の項目を選択しています。	84:25:3F:01:23:45	192.168.20.123
-----------------	-------------------	----------------

4-3. 機器の Web ページを表示する

機器リストに表示された機器の Web ページを表示する方法を説明します。
機器の Web ページでは、各機器の詳細なステータス表示や設定が行えます。

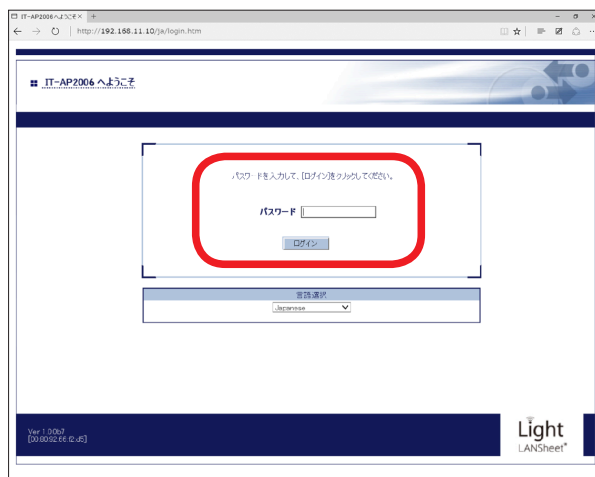
機器の Web ページを表示する

1. 機器リストで機器を選択して、ツールバーの「Web ブラウザによる設定」アイコンをクリックします。



参考

- 以下の方法でも機器の Web ページを表示できます。
 - ・ 機器を選択して、メニューバーの「設定」 - 「Web ブラウザによる設定」
 - ・ 機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「Web ブラウザによる設定」
- 機器とパソコンの IP アドレスのクラスが一致していない場合は、Web ページを表示できません。「4-4. 機器の IP アドレスを設定する」を参照して、IP アドレスを設定してから Web ページを表示してください。
- 機器にパスワードが設定されている場合は、下記画面が表示されます。機器に設定されているパスワードを入力して、[ログイン] をクリックしてください。



2. Web ブラウザが起動して、機器の Web ページが表示されます。
Web ページの詳細については、各機種のマニュアルを参照してください。

4-4. 機器の IP アドレスを設定する

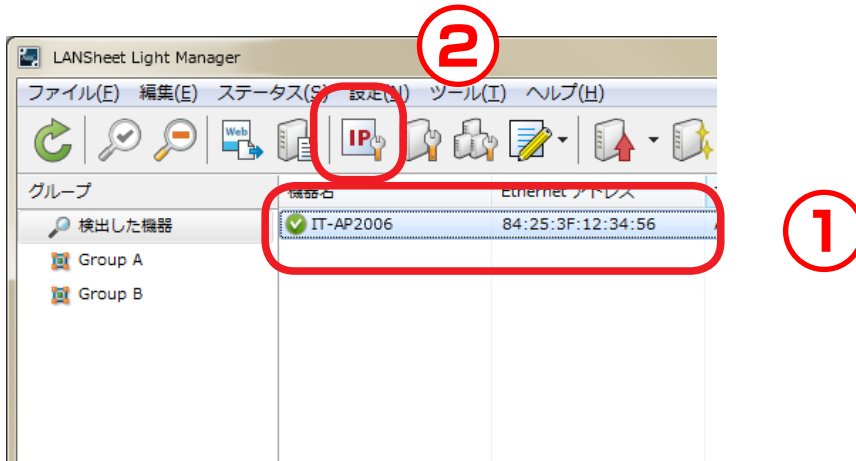
機器の IP アドレスを設定する方法について説明します。
IP アドレスの設定は、IP アドレス設定画面で行います。

IP アドレス設定画面

項目	説明	初期値
機器名	設定する機器の機器名を表示します。	-
Ethernet アドレス	設定する機器の Ethernet アドレスを表示します。	-
IP アドレス	機器に設定する IP アドレスを入力します。	なし
サブネットマスク	機器に設定するサブネットマスクを入力します。	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ	機器に設定するデフォルトゲートウェイを入力します。	0.0.0.0
設定後に機器の設定ページを Web ブラウザで開く	IP アドレス設定後に機器の Web ページを表示する場合は、チェックボックスを ON にします。 機器の Web ページは、「http:// (IP アドレス) /」で指定されます。	OFF
[OK] ボタン	入力したアドレスを機器に設定します。	-
[キャンセル] ボタン	入力した内容を設定せずに IP アドレス設定画面を閉じます。	-

IP アドレスを設定する

1. 機器リストで IP アドレスを設定する機器を 1 台選択して、ツールバーの「IP アドレスを設定する」アイコンをクリックします。

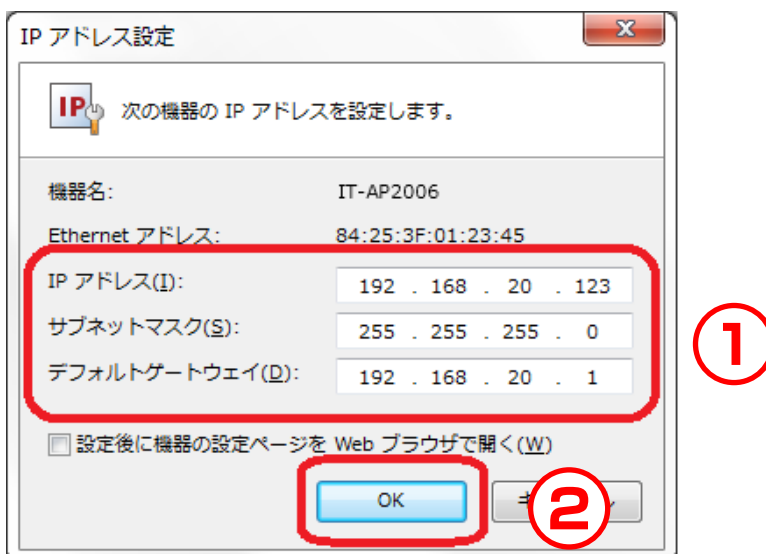


- ・ 以下の方法でも IP アドレスを設定できます。
 - ・ 機器を選択して、メニューバーの「設定」 - 「機器の IP 設定」
 - ・ 機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「機器の IP 設定」

2. IP アドレス設定画面が表示されます。

アドレスを入力して [OK] をクリックします。

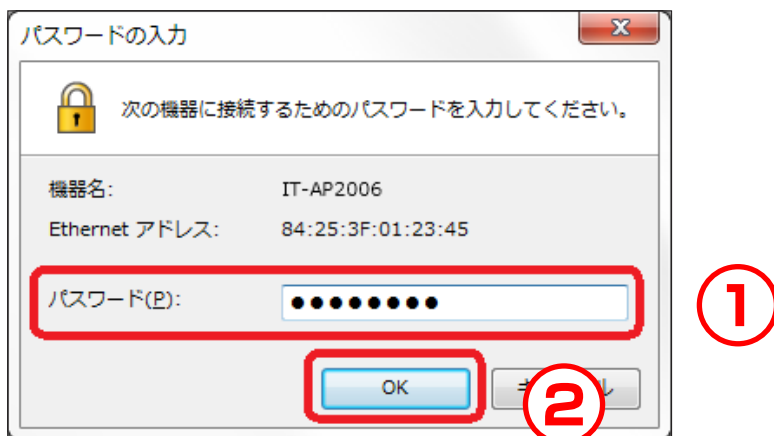
続けて機器の Web ページを表示する場合は、「設定後に機器の設定ページを Web ブラウザで開く」のチェックボックスを ON にしてから [OK] をクリックします。





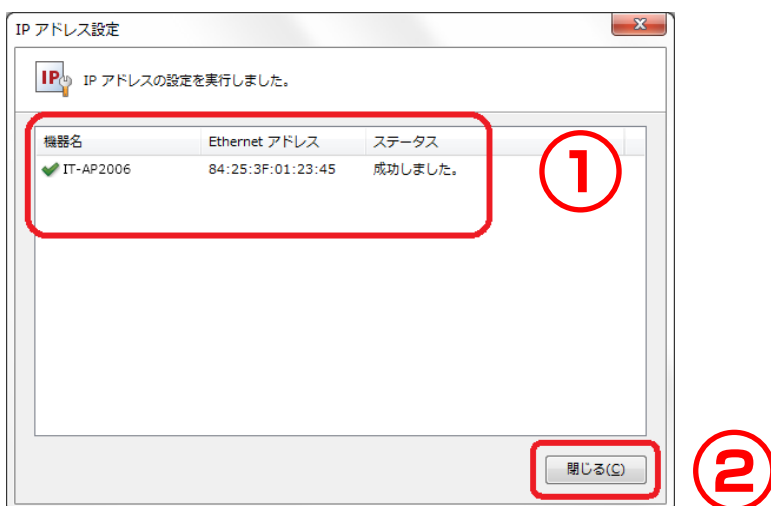
参考

- 機器にパスワードが設定されている場合は、下記画面が表示されます。
機器に設定されているパスワードを入力して、[OK] をクリックしてください。



3. IP アドレス設定の実行結果が表示されます。

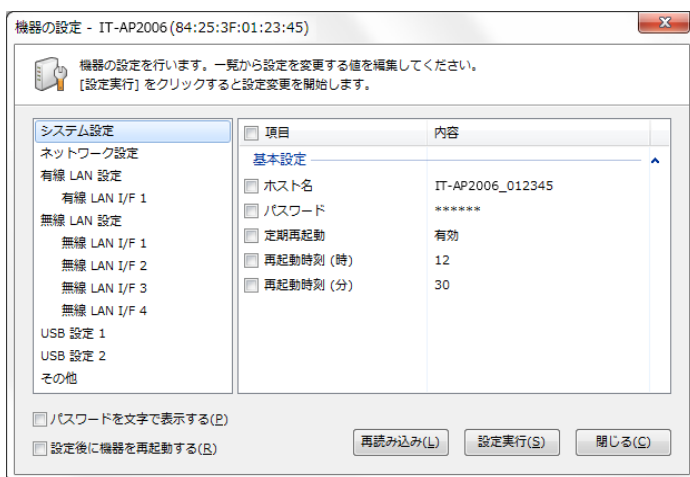
「設定後に機器の設定ページを Web ブラウザで開く」のチェックボックスを ON にしていた場合は、Web ブラウザが起動して機器の Web ページが表示されます。
[閉じる] をクリックして、IP アドレス設定画面を閉じます。



4-5. 機器を個別に設定する

機器の設定を個別に設定する方法について説明します。
機器の設定は、機器の設定画面で行います。

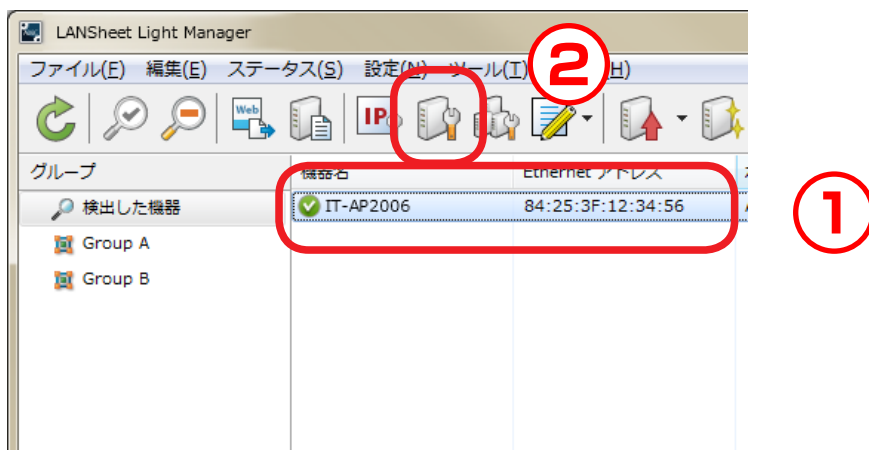
機器の設定画面



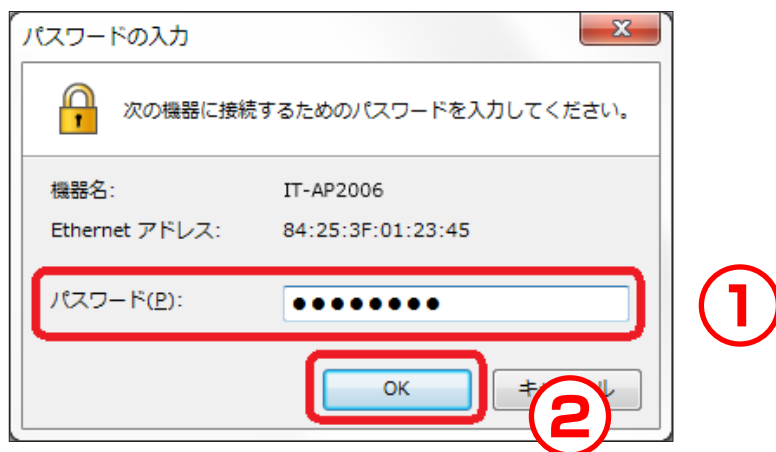
項目	説明
タイトル	設定する機器の機器名と Ethernet アドレスを表示します。
メニュー項目	設定情報のメニューを表示します。 選択したメニューの設定項目が詳細リストに表示されます。
詳細リスト	設定項目と内容を表示します。 表示される設定項目は、選択した機器により異なります。 各設定項目の内容には、機器の現在の設定が反映されています。 チェックボックスを ON にした設定項目が設定対象項目となります。
パスワードを文字で表示する	パスワード関連の設定項目をマスク表示しないときは、チェックボックスを ON にします。
設定後に機器を再起動する	設定後、機器を自動で再起動するときはチェックボックスを ON にします。
[再読み込み] ボタン	機器の設定値を再取得して表示します。
[設定実行] ボタン	入力した設定対象項目の値を機器に設定します。
[閉じる] ボタン	機器の設定画面を閉じます。

機器を設定する

1. 機器リストで設定する機器を 1 台選択して、ツールバーの「機器の設定を行う」アイコンをクリックします。



- 以下の方法でも機器を設定できます。
 - ・ 機器を選択して、メニューバーの「設定」 - 「機器の設定」
 - ・ 機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「機器の設定」
- 機器にパスワードが設定されている場合は、下記画面が表示されます。
機器に設定されているパスワードを入力して、[OK] をクリックしてください。



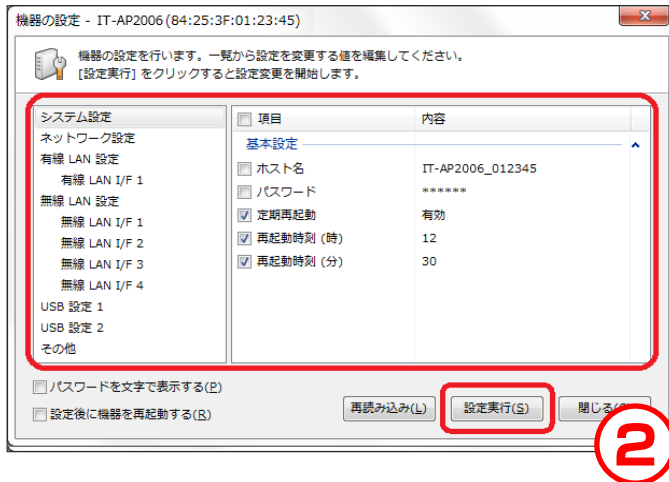
2. 機器の設定画面が表示されます。

各設定項目には、機器の現在の設定が反映されています。

設定する設定項目のチェックボックスを ON にして、内容を編集します。

設定する設定項目をすべて編集したら [設定実行] をクリックします。

設定後、機器を自動で再起動させる場合は、「設定後に機器を再起動する」のチェックボックスを ON にしてから [設定実行] をクリックします。



注意

- チェックボックスを ON にした設定項目のみ更新します。更新しない設定項目のチェックボックスは OFF にしてください。
- 更新した設定項目は、再起動後に有効になります。自動で再起動しない場合は、本誌の「機器を再起動する」を参照して手動で再起動してください。



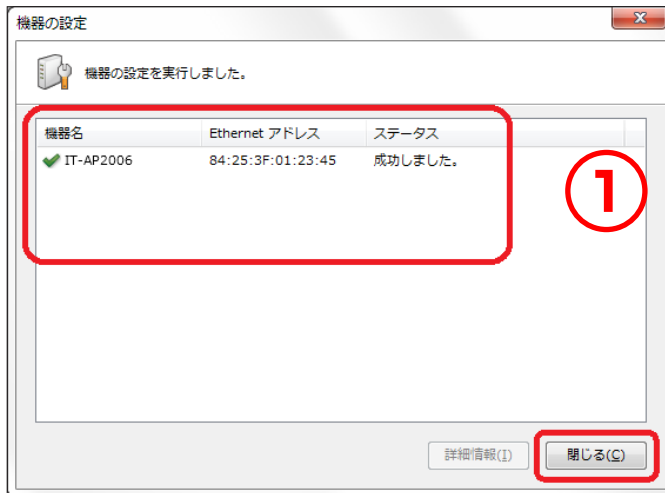
参考

- 設定可能な項目は、機器の機種によって異なります。設定項目の詳細は、各機種のマニュアルを参照してください。

3. 設定更新の実行結果が表示されます。

「設定後に機器を再起動する」のチェックボックスを ON にしていた場合は、機器が自動で再起動して設定した項目が有効になります。

[閉じる] をクリックして、機器の設定画面を閉じます。



4-6. 複数台の機器を一括で設定する

複数台の機器を一括で設定する方法について説明します。
一括設定では、設定情報を保存した「設定ファイル」を機器に展開して設定します。

事前準備

複数台の機器を一括で設定する場合は、事前に設定ファイルを用意する必要があります。

設定ファイルを用意するには、以下の4つの方法があります。

1) 選択した機器から作成する

機器リストに表示されている機器の設定情報を使用して作成します。

2) テンプレートから作成する

各機種用の設定項目のテンプレートを使用して作成します。

3) 既存のファイルを編集する

以前作成した設定ファイルを編集します。

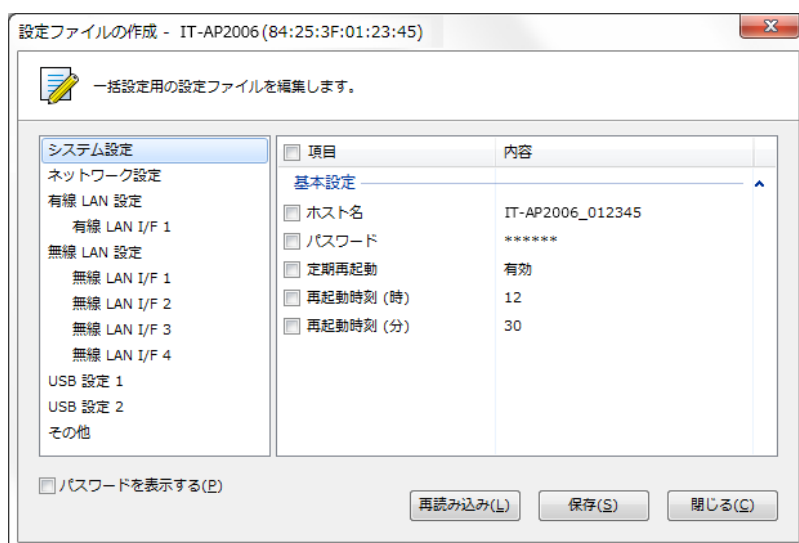
4) 複数の設定ファイルを結合する

複数の設定ファイルから新しい設定ファイルを作成します。

1) 選択した機器から作成する

機器リストに表示されている機器の設定情報を使用して作成します。
既に設定された機器の設定を流用することができます。
設定ファイルは、設定ファイルの作成画面で作成します。

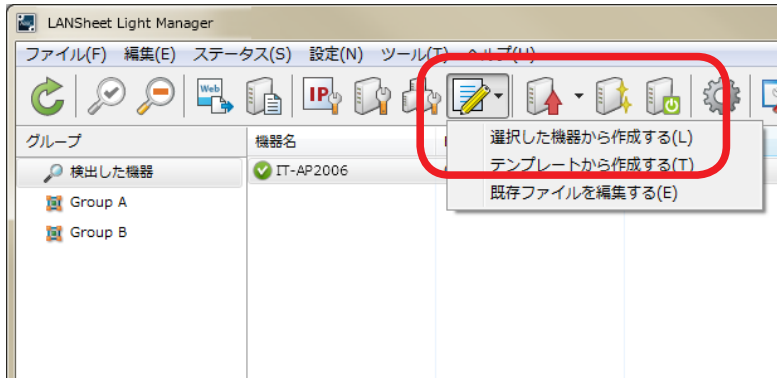
【 設定ファイルの作成画面 】



項目	説明
タイトル	選択した機器の機器名と Ethernet アドレスを表示します。
メニュー項目	設定情報のメニューを表示します。
詳細リスト	設定項目と内容を表示します。 各設定項目には、機器の現在の設定が反映されています。 表示される設定項目は、選択した機器により異なります。 チェックボックスを ON にした設定項目が設定対象項目となります。
パスワードを表示する	パスワード関連の設定項目をマスク表示しないときは、チェックボックスを ON にします
[再読み込み] ボタン	機器の設定値を再取得して表示します。
[保存] ボタン	入力した設定対象項目の値を設定ファイルに保存します。
[閉じる] ボタン	設定ファイルの作成画面を閉じます。

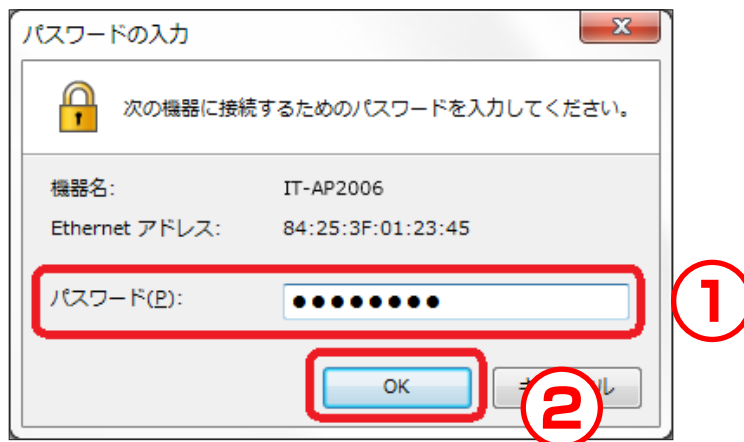
【設定ファイルを作成する】

1. 機器リストで設定情報を使用する機器を選択して、ツールバーの「設定ファイルを作成する」アイコン - 「選択した機器から作成する」を選択します。



参考

- 以下の方法でも設定ファイルを作成できます。
 - ・ 機器を選択して、メニューバーの「設定」 - 「設定ファイルの作成」 - 「選択した機器から作成」
 - ・ 機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「設定ファイルの作成」
- 機器にパスワードが設定されている場合は、下記画面が表示されます。
機器に設定されているパスワードを入力して、[OK] をクリックしてください。



2. 設定ファイルの作成画面が表示されます。

各設定項目には、機器の現在の設定が反映されています。

設定ファイルで使用する設定項目のチェックボックスを ON にして、内容を編集します。使用する設定項目をすべて編集したら [保存] をクリックします。



注意

- チェックボックスを ON にした設定項目のみ更新して保存します。更新しない設定項目のチェックボックスは OFF にしてください。

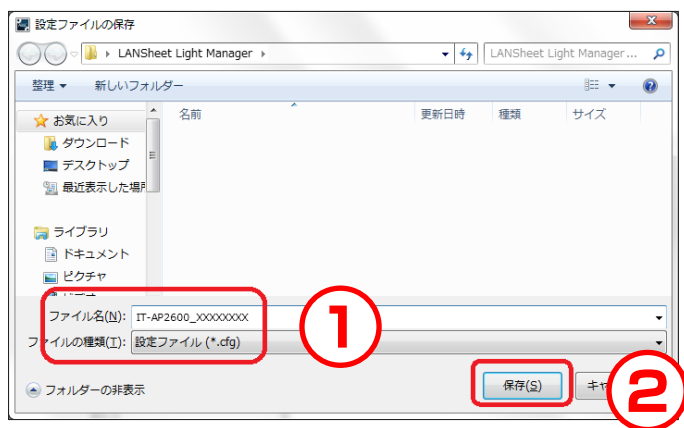


参考

- 設定可能な項目は、機器の機種によって異なります。設定項目の詳細は、各機種のマニュアルを参照してください。

3. 設定ファイルの保存ダイアログが表示されます。

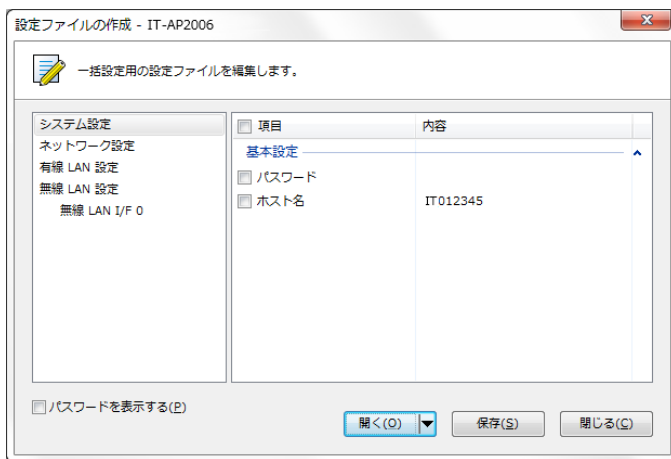
ファイル名を指定して [保存] をクリックします。



2) テンプレートから作成する

各機種用に用意された設定項目のテンプレートを使用して作成します。
設定ファイルは、設定ファイルの作成画面で作成します。

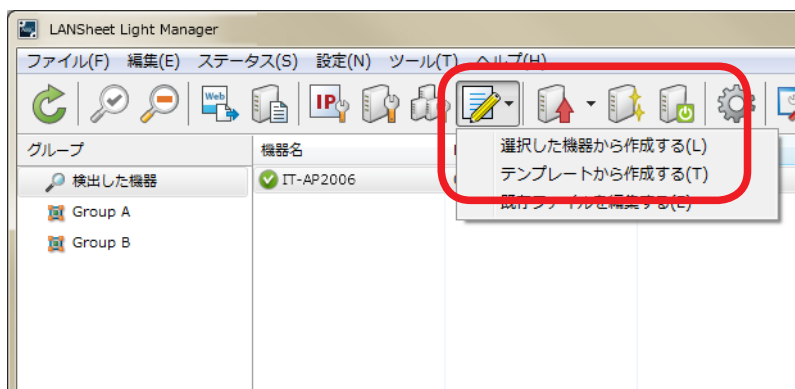
【 設定ファイルの作成画面 】



項目	説明
タイトル	選択したテンプレートの機器名を表示します。
メニュー項目	設定情報のメニューを表示します。
詳細リスト	設定項目と内容を表示します。 表示される設定項目は、選択した機種により異なります。 チェックボックスを ON にした設定項目が設定対象項目となります。
パスワードを表示する	パスワード関連の設定項目をマスク表示しないときは、チェックボックスを ON にします
【開く】 ボタン	既存の設定ファイルを開きます。
テンプレートを開く	設定ファイルのテンプレート選択画面を表示します。
【保存】 ボタン	入力した設定対象項目の値を設定ファイルに保存します。
【閉じる】 ボタン	設定ファイルの作成画面を閉じます。

【 設定ファイルを作成する 】

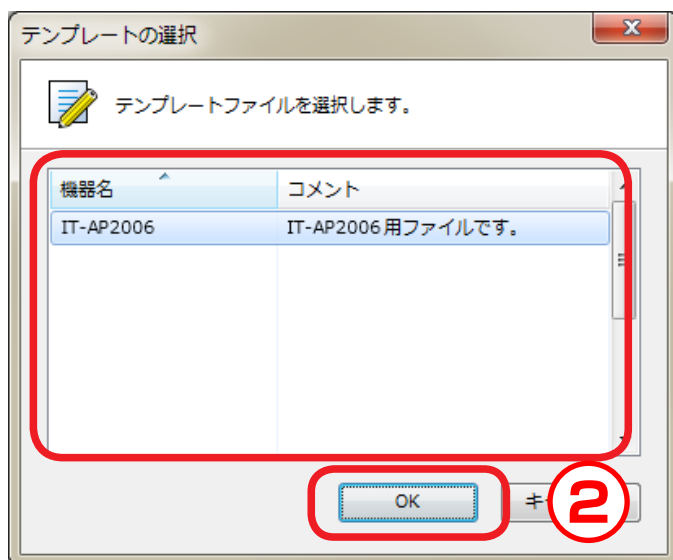
1. ツールバーの「設定ファイルを作成する」アイコン - 「テンプレートから作成する」を選択します。



- ・ 以下の方法でも設定ファイルを作成できます。
 ・ メニューバーの「設定」 - 「設定ファイルの作成」 - 「テンプレートから作成」

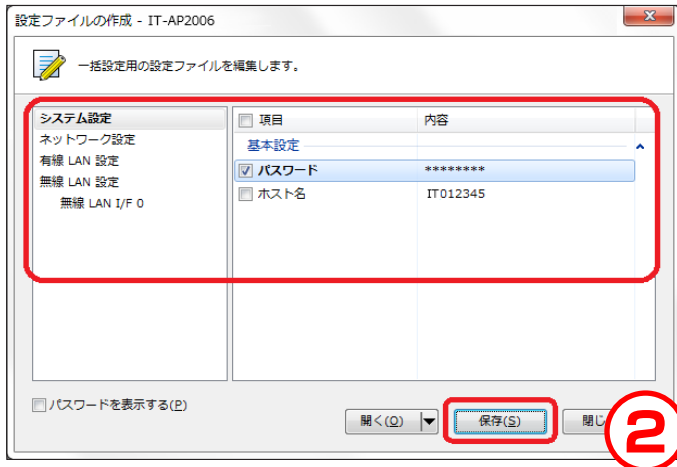
参考

2. テンプレートの選択画面が表示されます。
 設定する機器名を選択して [OK] をクリックします。



3. 設定ファイルの作成画面が表示されます。

設定ファイルで使用する設定項目のチェックボックスを ON にして、内容を編集します。使用する設定項目をすべて編集したら [保存] をクリックします。



注意

- チェックボックスを ON にした設定項目のみ更新して保存します。更新しない設定項目のチェックボックスは OFF にしてください。

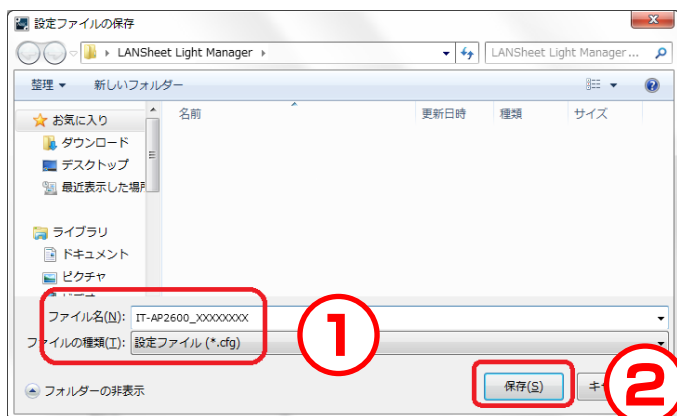


参考

- 設定可能な項目は、機器の機種によって異なります。設定項目の詳細は、各機種のマニュアルを参照してください。

4. 設定ファイルの保存ダイアログが表示されます。

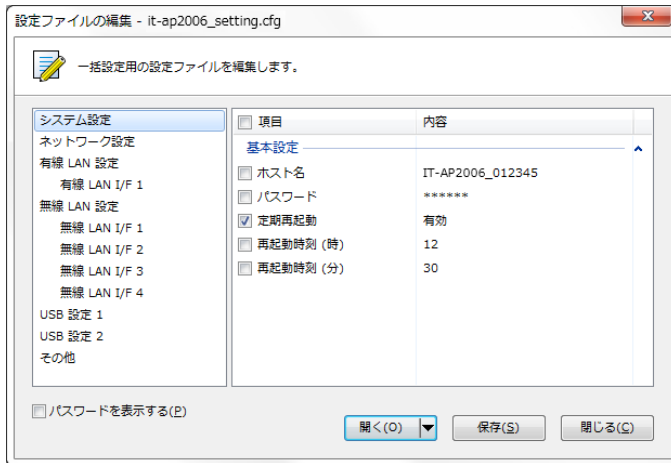
ファイル名を指定して [保存] をクリックします。



3) 既存のファイルを編集する

以前に作成した設定ファイルを編集します。
設定ファイルは、設定ファイルの編集画面で編集します。

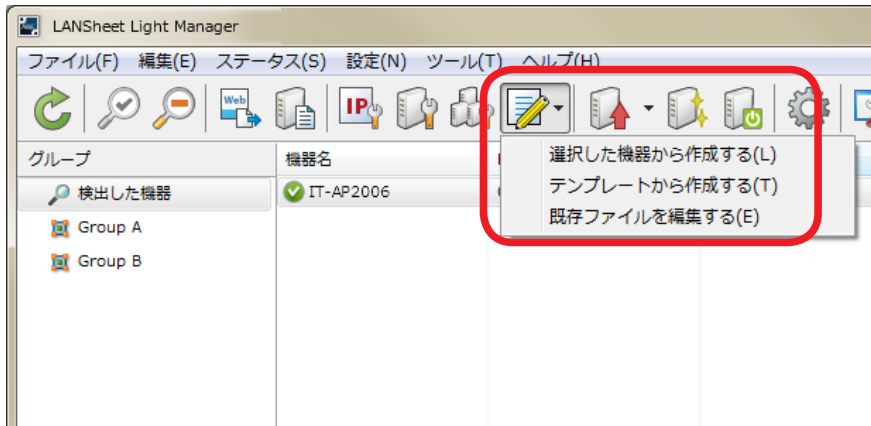
【 設定ファイルの編集画面 】



項目	説明
タイトル	選択した設定ファイルのファイル名を表示します。
メニュー項目	設定情報のメニューを表示します。
詳細リスト	設定項目と内容を表示します。 表示される設定項目は、選択した機器により異なります。 チェックボックスを ON にした設定項目が設定対象項目となります。
パスワードを表示する	パスワード関連の設定項目をマスク表示しないときは、チェックボックスを ON にします。
[開く] ボタン	既存の設定ファイルを開きます。
テンプレートを開く	設定ファイルのテンプレート選択画面を表示します。
[保存] ボタン	入力した設定対象項目の値を設定ファイルに保存します。
[閉じる] ボタン	設定ファイルの編集画面を閉じます。

【 設定ファイルを編集する 】

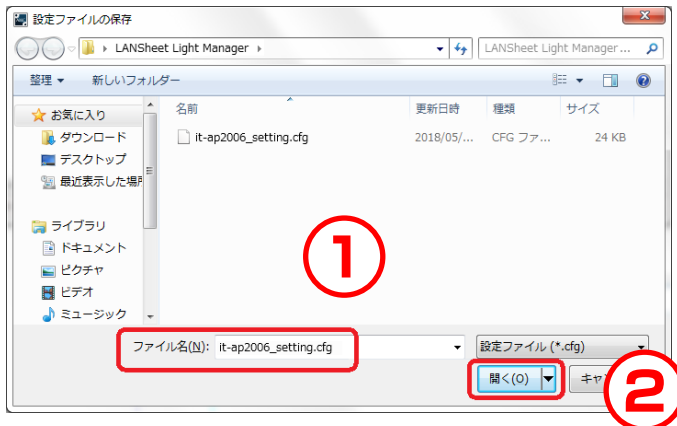
1. ツールバーの「設定ファイルを作成する」アイコン - 「既存ファイルを編集する」を選択します。



- 以下の方法でも設定ファイルを作成できます。
 ・メニューバーの「設定」 - 「設定ファイルの作成」 - 「既存のファイルを編集」

参考

2. 設定ファイルを開くダイアログが表示されます。
 編集する設定ファイルを選択して [開く] をクリックします。



3. 設定ファイルの編集画面が表示されます。

編集する設定項目のチェックボックスを ON にして、内容を編集します。使用する設定項目をすべて編集したら [保存] をクリックします。



注意

- チェックボックスを ON にした設定項目のみ更新して保存します。更新しない設定項目のチェックボックスは OFF にしてください。

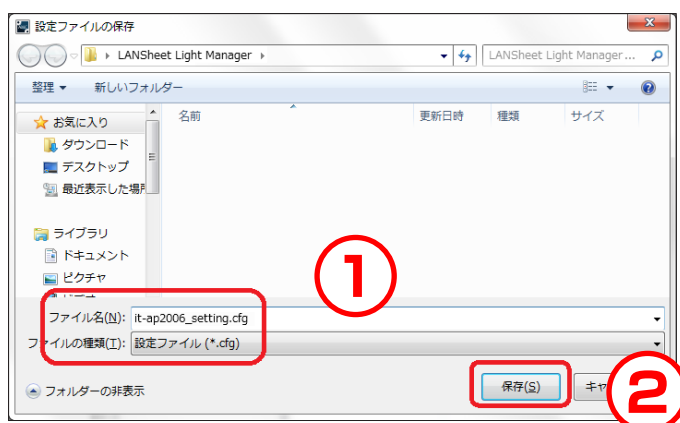


参考

- 編集可能な設定項目は、機器の機種によって異なります。設定項目の詳細は、各機種のマニュアルを参照してください。

4. 設定ファイルの保存ダイアログが表示されます。

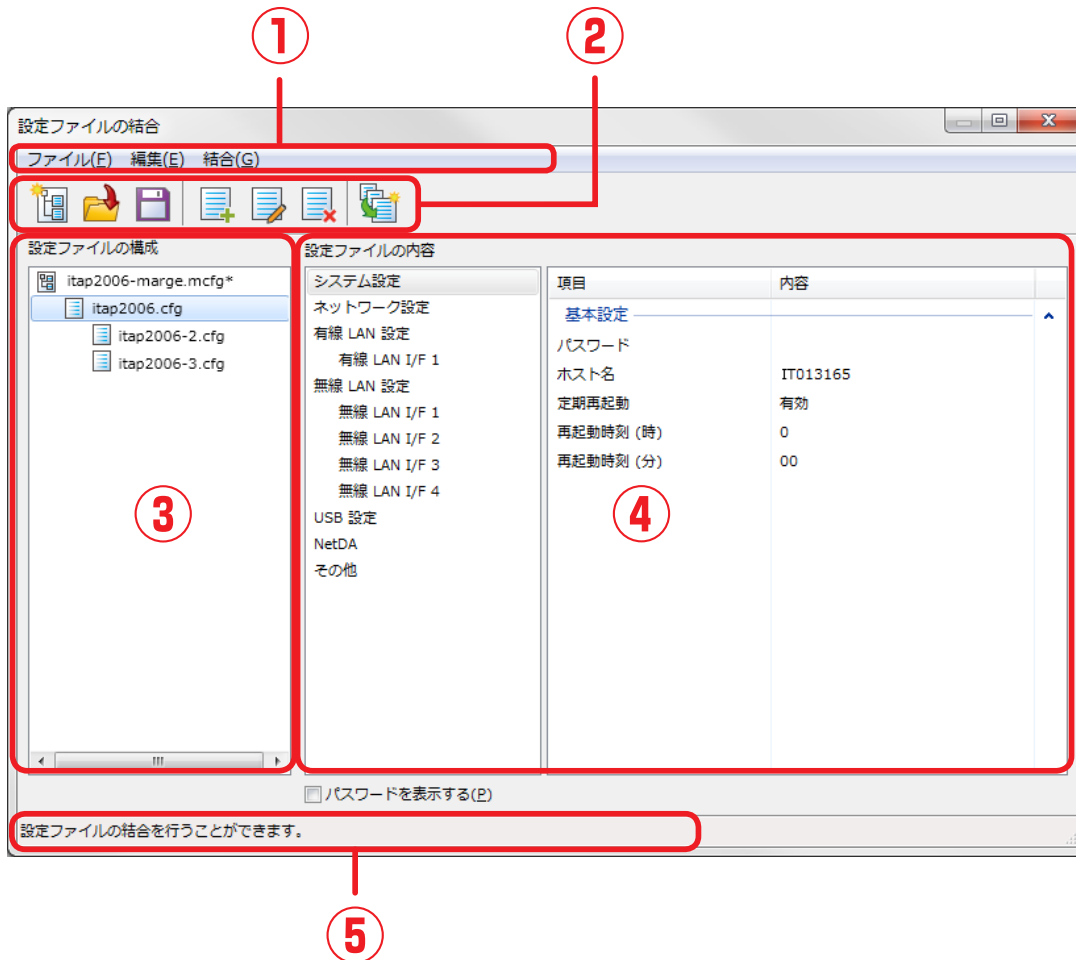
ファイル名を指定して [保存] をクリックします。



4) 複数の設定ファイルを結合する

既に存在する複数の設定ファイルの設定値を結合し、1つの新しい設定ファイルを作成します。

【設定ファイルの結合画面】



① メニューバー

構成ファイルや設定ファイルの操作を行います。

② ツールバー

構成ファイルや設定ファイルの操作を行います。

③ 設定ファイルの構成

構成ファイルで管理している設定ファイルを表示します。

④ 設定ファイルの内容

選択した設定ファイルの結合状態を設定値と併せて表示します。

⑤ ステータスバー

構成ファイルの編集状況を表示します。

【メニューバー】

構成ファイルの作成や設定ファイルの追加など、設定ファイルの結合画面の各機能を実行します。

ファイル(E) 編集(E) 結合(G)

メニュー	項目	説明
ファイル	構成ファイルの新規作成	構成ファイルの新規作成を行います。
	構成ファイルを開く	既存の構成ファイルを開きます。
	上書き保存	構成ファイルの情報を上書き保存します。
	名前をつけて保存	構成ファイルの情報を保存します。
	終了	設定ファイルの結合画面を閉じます。
編集	設定ファイルの追加	既存の設定ファイルを構成に追加します。
	設定ファイルの編集	構成内の選択した設定ファイルを開きます。
	設定ファイルの削除	構成内から選択した設定ファイルを削除します。
結合	設定ファイルの結合	構成ファイルの情報に基づいて各設定ファイルの設定値を結合し、新しい設定ファイルを作成します。

【ツールバー】

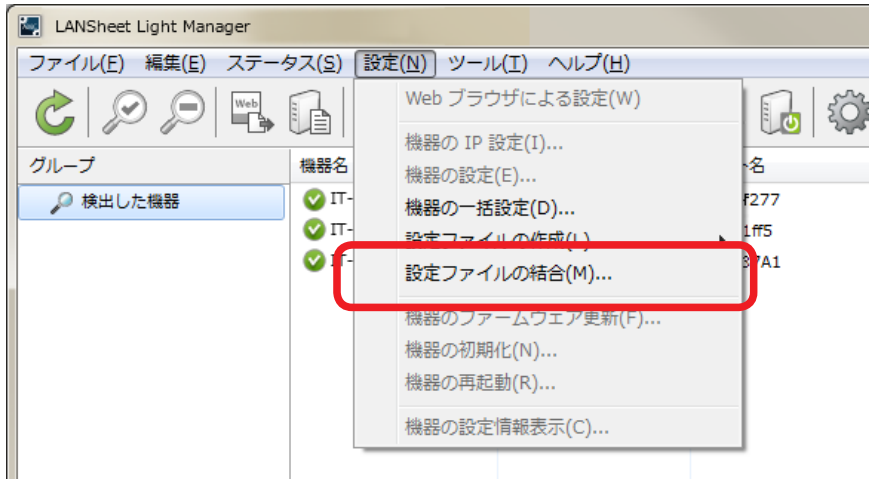
構成ファイルの作成や設定ファイルの追加など、設定ファイルの結合画面の各機能を実行します。



アイコン	項目	説明
	構成ファイルの新規作成	構成ファイルの新規作成を行います。
	構成ファイルを開く	既存の構成ファイルを開きます。
	上書き保存	構成ファイルの情報を上書き保存します。
	設定ファイルの追加	既存の設定ファイルを構成に追加します。
	設定ファイルの編集	構成内の選択した設定ファイルを開きます。
	設定ファイルの削除	構成内から選択した設定ファイルを削除します。
	設定ファイルの結合	構成ファイルの情報に基づいて各設定ファイルの設定値を結合し、新しい設定ファイルを作成します。

【 複数の設定ファイルを結合する 】

1. メニューバーの「設定」 - 「設定ファイルの結合」を選択します。

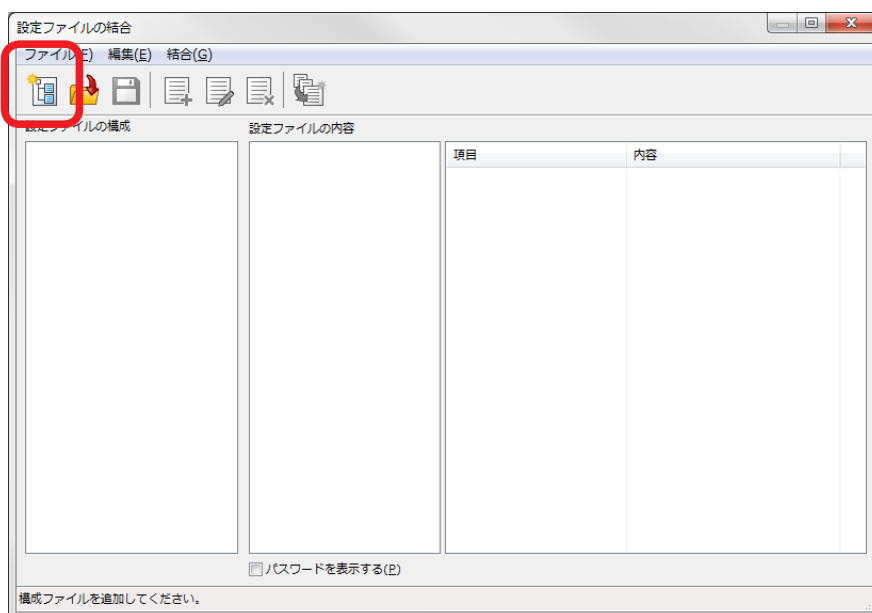


以下の方法でも設定ファイルの結合画面を開くことができます。

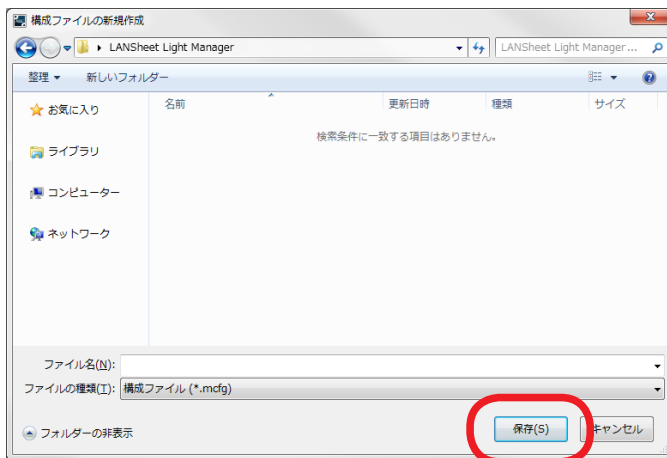
- 右クリックのコンテキストメニューから「設定ファイルの結合」

参考

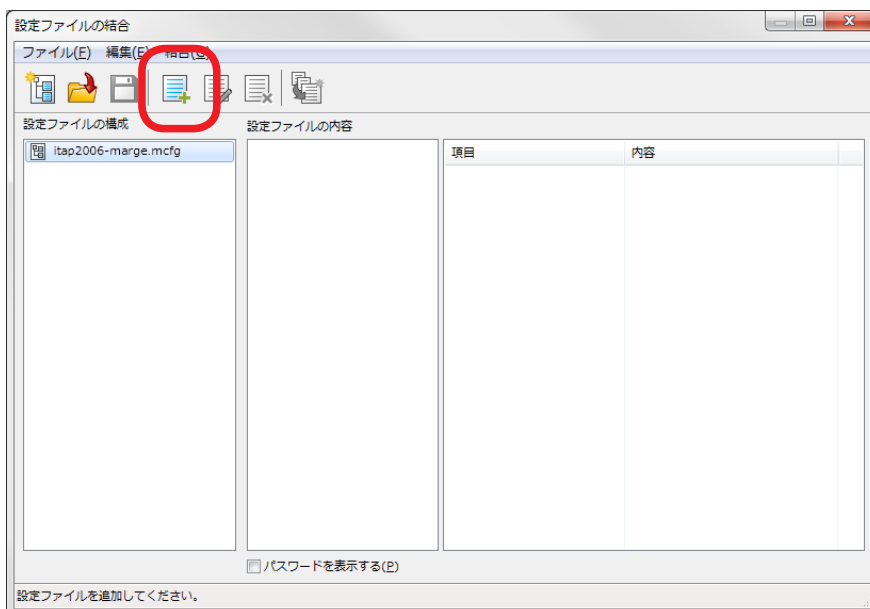
2. 設定ファイルの結合画面が表示されます。
 ツールバーの「構成ファイルの新規作成」をクリックして、構成ファイルを作成します。



3. 構成ファイルの新規作成ダイアログが表示されます。
ファイル名を入力して [保存] をクリックします。

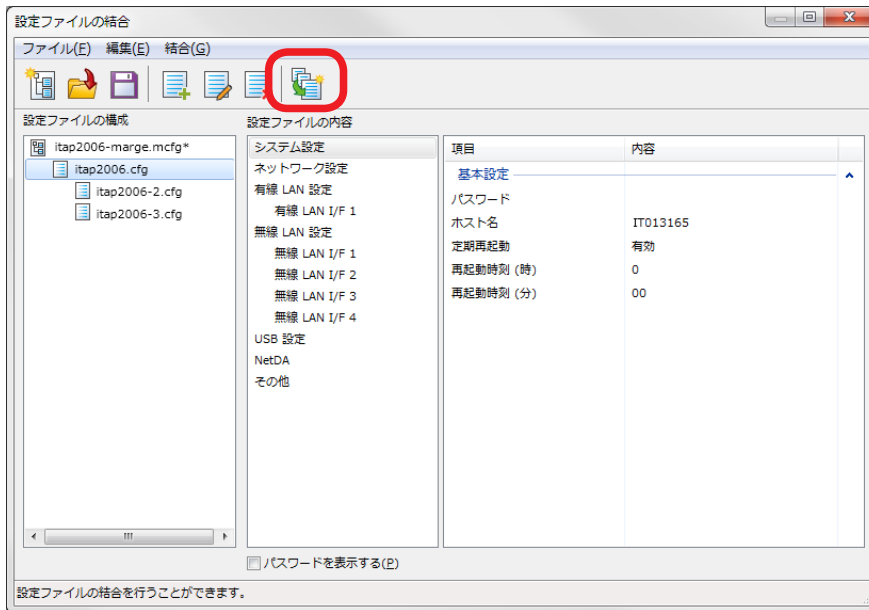


4. 「設定ファイルの構成」に作成した構成ファイルが表示されます。
「設定ファイルの追加」をクリックし、結合する設定ファイルを追加します。



- 設定ファイルにさらに設定ファイルを追加すると、ツリー形式で表示されます。親と子の設定ファイル中の設定値が異なる場合、子の設定ファイルの設定値が結合ファイルに使用されます。

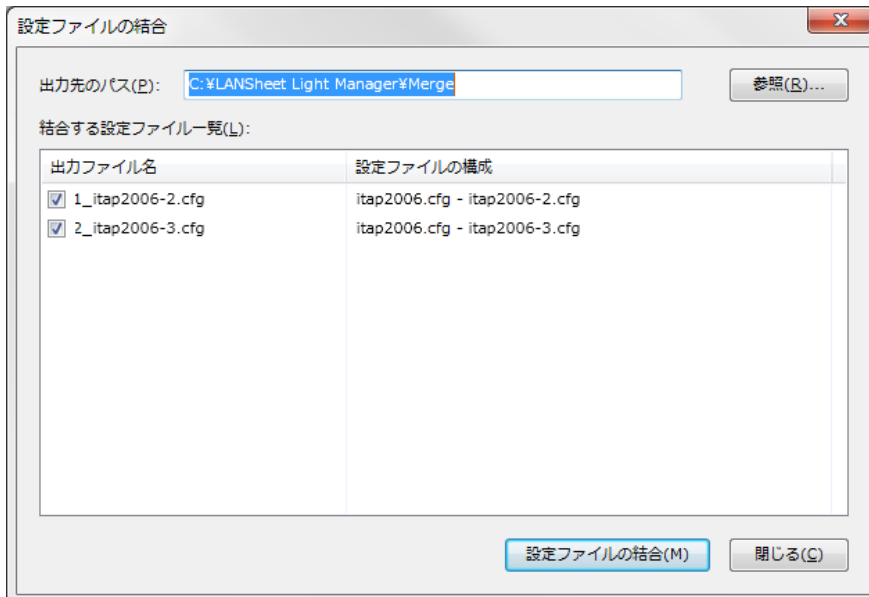
5. 設定ファイルの追加が完了したら、[設定ファイルの結合] をクリックします。



参考

- 「設定ファイルの内容」には、選択した設定ファイルとその親の設定ファイルを比較し結合された設定値を表示します。
- ファイルの結合によって、設定値が変更される項目は赤文字で表示します。
- 設定値が変更される項目を含むカテゴリについても赤文字で表示します。

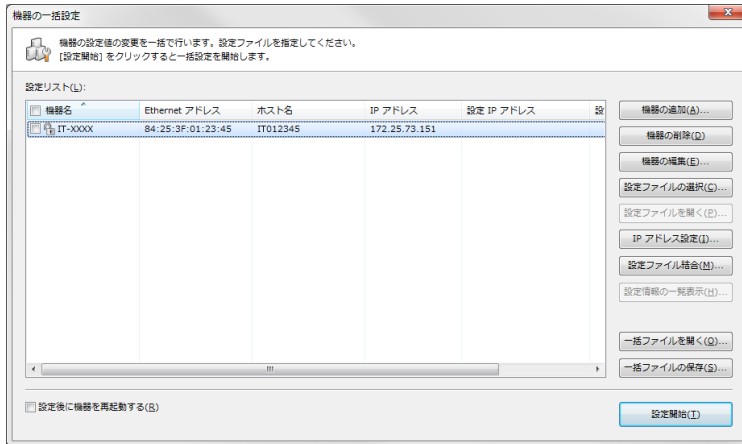
6. 設定ファイルの出力画面が表示されます。
出力先のパスを選択し、出力されるファイルを確認して [設定ファイルの結合] をクリックします。



参考

- 「出力先のパス」の初期値は、「構成ファイルのパス ¥Merge」となります。出力先を変更する場合は、[参照] をクリックして出力先を選択してください。
- 出力ファイル名をダブルクリックすることでファイル名を変更することができます。

機器の一括設定画面



項目	説明
設定リスト	一括設定の対象となる機器の機器名、Ethernet アドレス、ホスト名、IP アドレス、設定 IP アドレス、一括設定に使用する設定ファイル名を表示します。 チェックボックスを ON にした機器が一括設定の対象機器となります。
【機器の追加】 ボタン	設定リストに機器を追加します。 機器の追加画面を表示します。
【機器の削除】 ボタン	設定リストから機器を削除します。
【機器の編集】 ボタン	設定リストで機器を 1 台選択して、使用する設定ファイルを選択します。機器の編集画面を表示します。
【設定ファイルの選択】 ボタン	設定リストで機器を選択して、使用する設定ファイルを選択します。複数台の機器を選択できます。
【設定ファイルを開く】 ボタン	機器に選択した設定ファイルの編集画面を開きます。
【IP アドレス設定】 ボタン	IP アドレス設定画面を開き、機器に書き込む IP アドレスを設定します。複数台の機器を選択して、連番の IP アドレスを設定することもできます。
【設定ファイル結合】 ボタン	複数の設定ファイルを 1 つの設定ファイルに結合します。 設定ファイルの結合画面を開きます。
【設定情報の一覧表示】 ボタン	チェックボックスを ON にした機器に使用する設定ファイルの設定値が一覧表示されます。
【一括ファイルを開く】 ボタン	既存の一括ファイルを開きます。 一括設定する機器と設定ファイルが設定リストに一覧表示されます。
【一括ファイルの保存】 ボタン	設定リストに表示されている機器と設定ファイルの一覧を、一括ファイルとして保存します。
設定後に機器を再起動する	一括設定後、機器を再起動させるときはチェックボックスを ON にします。
【設定開始】 ボタン	設定対象の機器を一括設定します。 設定ファイルを選択して、設定リストのチェックボックスを ON にした機器が設定対象となります。

機器の追加画面

機器の追加

追加する機器の情報を入力してください。

Ethernet アドレス(E): 84 25 3F 01 23 45

IP アドレス(I): 192 . 168 . 20 . 123

ホスト名(H): IT012345

機器名(M): IT-AP2006

パスワード(P):

設定ファイル(S): C:\%itap2006_setting.cfg ...

設定 IP アドレス(A): . . .

設定サブネットマスク(U): . . .

設定デフォルトゲートウェイ(G): . . .

パスワードを表示する(W)

追加(D) キャンセル

項目	説明
Ethernet アドレス	追加する機器の Ethernet アドレスを入力します。
IP アドレス	追加する機器の IP アドレスを入力します。
ホスト名	追加する機器のホスト名を入力します。
機器名	追加する機器の機器名を入力します。
パスワード	機器に設定されているパスワードを入力します。
設定ファイル	機器に使用する設定ファイルを指定します。 [...] ボタンで設定ファイルの選択ダイアログを表示します。
設定 IP アドレス	機器に書き込む IP アドレスを指定します。 0.0.0.0 を指定すると、設定 IP アドレス、設定サブネットマスク、設定デフォルトゲートウェイを機器に書き込みません。
設定サブネットマスク	機器に書き込むサブネットマスクを指定します。 設定 IP アドレスに 0.0.0.0 が指定されている場合は、機器に書き込まれません。
設定デフォルトゲートウェイ	機器に書き込むデフォルトゲートウェイを指定します。 設定 IP アドレスに 0.0.0.0 が指定されている場合は、機器に書き込まれません。
パスワードを表示する	パスワード関連の設定項目をマスク表示しないときは、チェックボックスを ON にします。
[追加] ボタン	機器の一括設定画面の設定リストに、入力した情報で機器を追加します。
[キャンセル] ボタン	入力した内容を追加せずに機器の追加画面を閉じます。

機器の編集画面

機器の編集

編集する機器の情報を入力してください。

Ethernet アドレス(E): 84 25 3F 01 23 45

IP アドレス(I): 192 . 168 . 20 . 123

ホスト名(H): IT012345

機器名(N): IT-AP2006

パスワード(P):

設定ファイル(S): C:\itap2006_setting.cfg ...

設定 IP アドレス(A): 0 . 0 . 0 . 0

設定サブネットマスク(U): 0 . 0 . 0 . 0

設定デフォルトゲートウェイ(G): 0 . 0 . 0 . 0

パスワードを表示する(W)

OK キャンセル

項目	説明
Ethernet アドレス	選択した機器の Ethernet アドレスを表示します。
IP アドレス	選択した機器の IP アドレスを表示します。
ホスト名	選択した機器のホスト名を表示します。
機器名	選択した機器の機器名を表示します。
パスワード	機器に設定されているパスワードを入力します。パスワードを入力することで、一括設定でのパスワードの入力をスキップすることができます。 ※機器からパスワードを自動取得することはできません。
設定ファイル	機器に使用する設定ファイルを指定します。 [...] ボタンで設定ファイルの選択ダイアログを表示します。
設定 IP アドレス	機器に書き込む IP アドレスを指定します。 0.0.0.0 を指定すると、設定 IP アドレス、設定サブネットマスク、設定デフォルトゲートウェイを機器に書き込みません。
設定サブネットマスク	機器に書き込むサブネットマスクを指定します。 設定 IP アドレスに 0.0.0.0 が指定されている場合は、機器に書き込まれません。
設定デフォルトゲートウェイ	機器に書き込むデフォルトゲートウェイを指定します。 設定 IP アドレスに 0.0.0.0 が指定されている場合は、機器に書き込まれません。
パスワードを表示する	パスワード関連の設定項目をマスク表示しないときは、チェックボックスを ON にします。
[OK] ボタン	入力した情報を選択した機器に設定します。
[キャンセル] ボタン	入力した内容を設定せずに機器の編集画面を閉じます。

IP アドレス設定画面

IP アドレス設定

開始 IP アドレス(S): 0 . 0 . 0 . 0

終了 IP アドレス(E): 0 . 0 . 0 . 0

ステップ数(C): 0 . 0 . 0 . 1

サブネットマスク(M): 0 . 0 . 0 . 0

デフォルトゲートウェイ(D): 0 . 0 . 0 . 0

OK キャンセル

項目	説明
開始 IP アドレス	機器に設定する IP アドレスの開始 IP アドレスを指定します。
終了 IP アドレス	機器に設定する IP アドレスの終了 IP アドレスを指定します。
ステップ数	開始 IP アドレスから終了 IP アドレスまで、IP アドレスを連番で採番する際に、インクリメントする値を指定します。
サブネットマスク	機器に設定するサブネットマスクを指定します。
デフォルトゲートウェイ	機器に設定するデフォルトゲートウェイを指定します。
[OK] ボタン	機器リストの「設定 IP アドレス」に機器に設定する IP アドレスを表示します。設定 IP アドレスは、開始 IP アドレスから終了 IP アドレスの間で、ステップ数に沿って自動で採番されます。
[キャンセル] ボタン	IP アドレス設定画面を閉じます。

複数台の機器を一括で設定する

設定ファイルを使用して複数台を一括で設定する方法について説明します。



参考

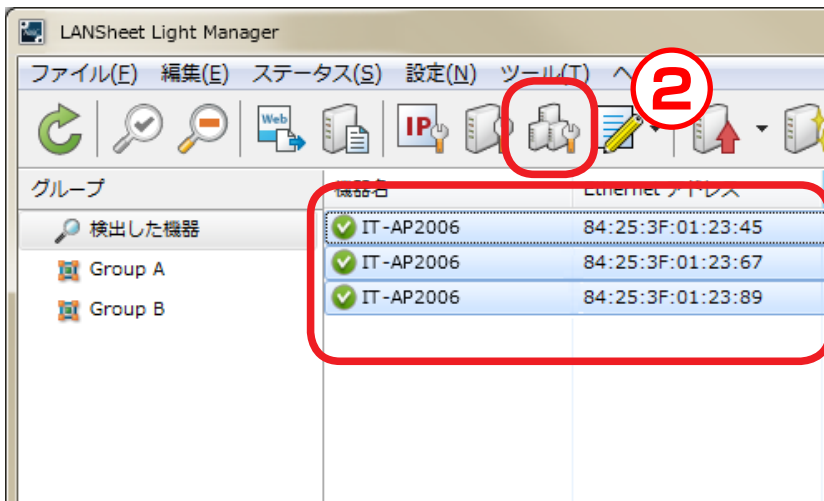
- 一括設定では、設定情報を保存した「設定ファイル」を機器に展開して設定します。
- IP アドレスやホスト名などの機器固有の設定をするときは、機器毎の設定ファイルを使用します。SSID や共有キーなどの共通の無線セキュリティ情報のような複数機器で共有している情報を更新するときは、1 つの設定ファイルで設定することもできます。



注意

- 更新される設定項目は、設定ファイルのチェックボックスを ON にした項目です。更新する設定項目のチェックボックスを ON にした設定ファイルを用意してください。

1. LANSheet Light Manager® の機器リストで一括設定する機器を選択して、ツールバーの「一括設定を行う」アイコンをクリックします。

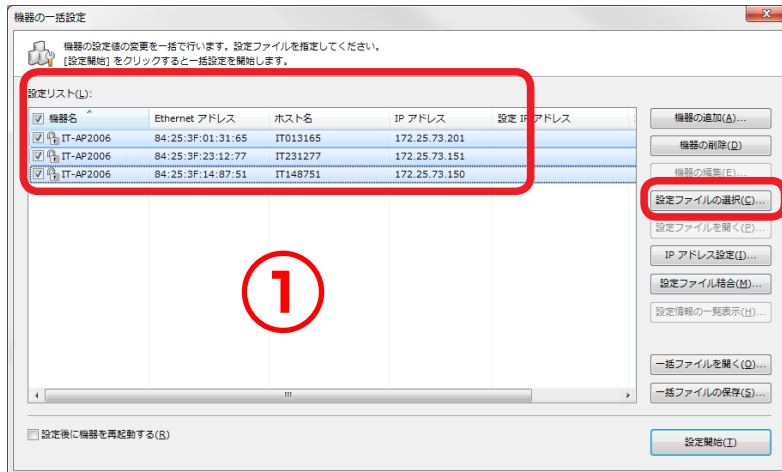


参考

- 以下の方法でも機器を設定できます。
 - 一括設定する機器を選択して、メニューバーの「設定」 - 「機器の一括設定」

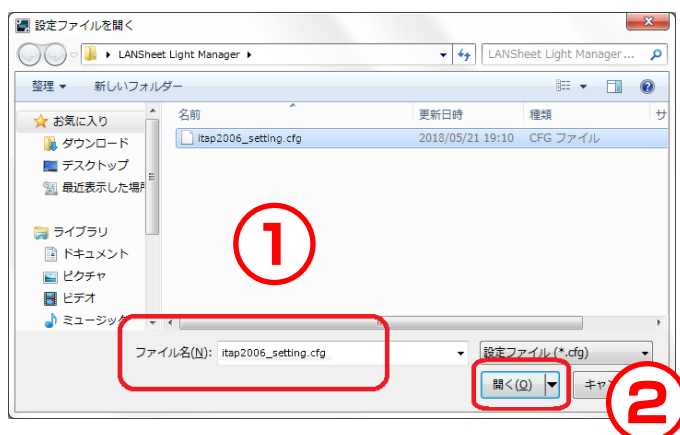
2. 機器の一括設定画面が表示されます。

設定リストで一括設定する機器を選択して、[設定ファイルの選択] をクリックします。

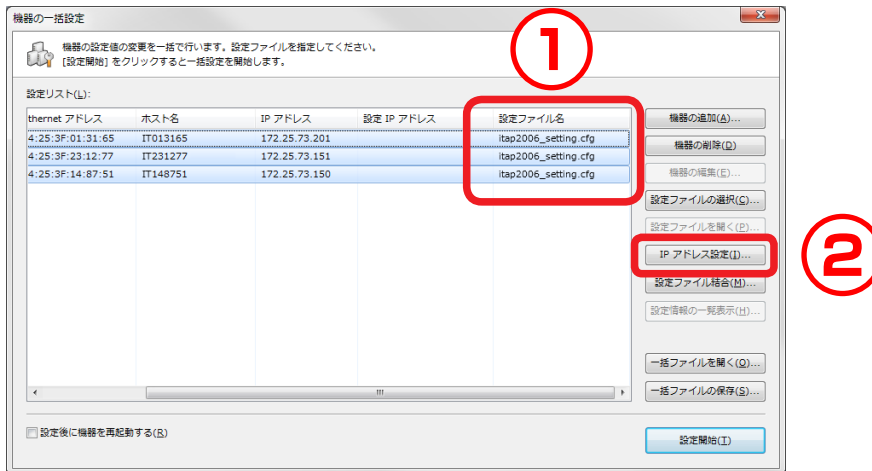


3. 設定ファイルの選択ダイアログが表示されます。

事前に準備した一括設定に使用する設定ファイルを選択して [開く] をクリックします。



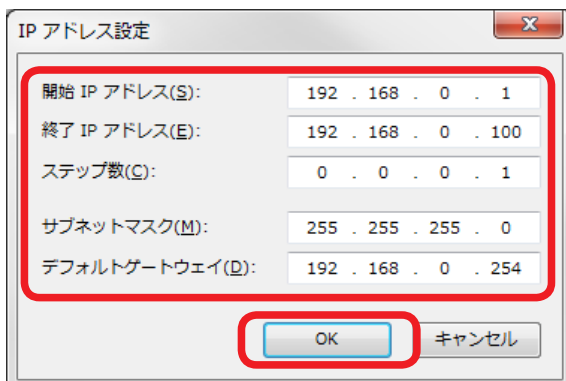
4. 設定リストの「設定ファイル名」に、選択された設定ファイルが表示されます。設定ファイルの内容を機器に書き込む場合は、手順 7 に進みます。機器に書き込む IP アドレスを設定する場合は、[IP アドレスの設定] をクリックします。



- 一括設定する機器と使用する設定ファイル情報は [一括ファイルの保存] をクリックすると保存できます。保存した一括ファイルは、「災害時開放機能」で使用することができます。

参考

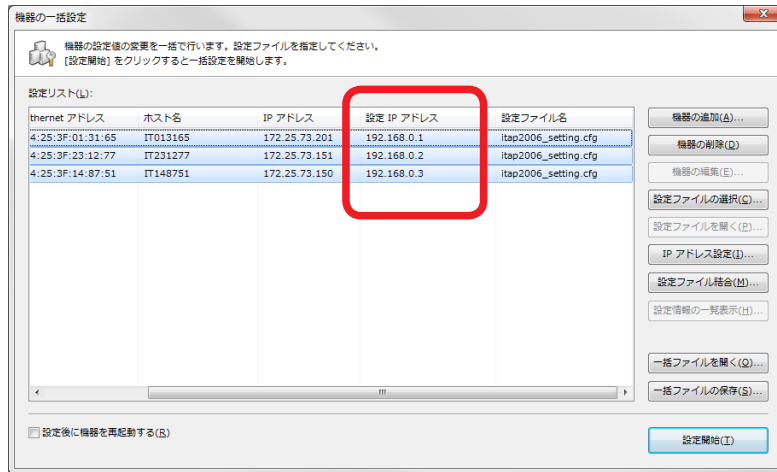
5. IP アドレスの設定画面が表示されます。この画面では各機器に設定する IP アドレスを指定します。設定が完了したら [OK] をクリックします。



- 上記の設定で 3 台の機器に IP アドレスを設定する場合、1 台目の IP アドレスは「開始 IP アドレス」と同じ、「192.168.0.1」となります。2 台目以降はステップ数「0.0.0.1」ずつ増加し、「192.168.0.2」、「192.168.0.3」となります。

参考

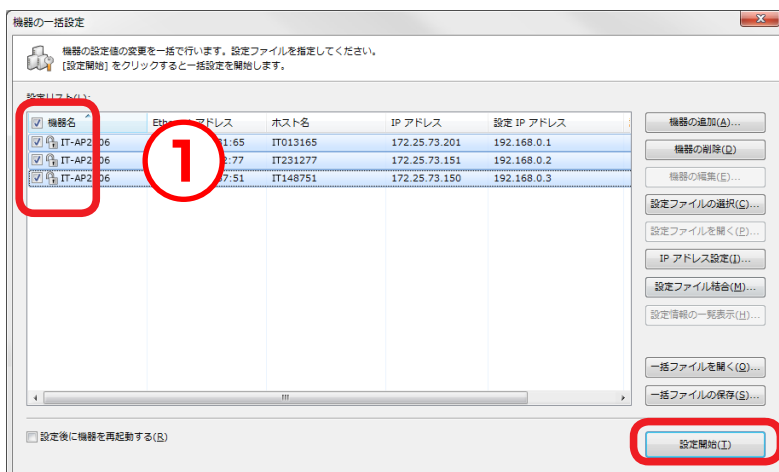
6. 機器に書き込む IP アドレスが採番されて、設定リストの「設定 IP アドレス」に表示されます。



- 「設定 IP アドレス」が指定されており、設定ファイル内でも IP アドレスを指定している場合、「設定 IP アドレス」に表示されている IP アドレスが機器に書き込まれます。

参考

7. 一括設定する機器のチェックボックスを ON にして、「設定開始」をクリックします。



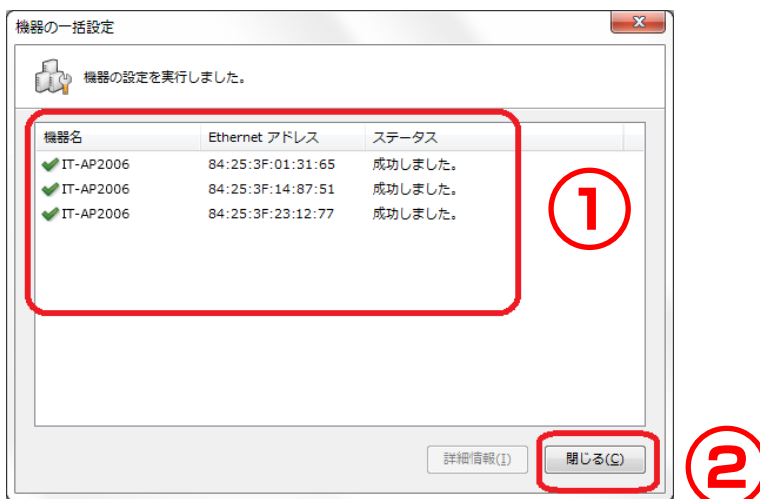


参考

- 機器にパスワードが設定されている場合は、下記画面が表示されます。
機器に設定されているパスワードを入力して、[OK] をクリックしてください。



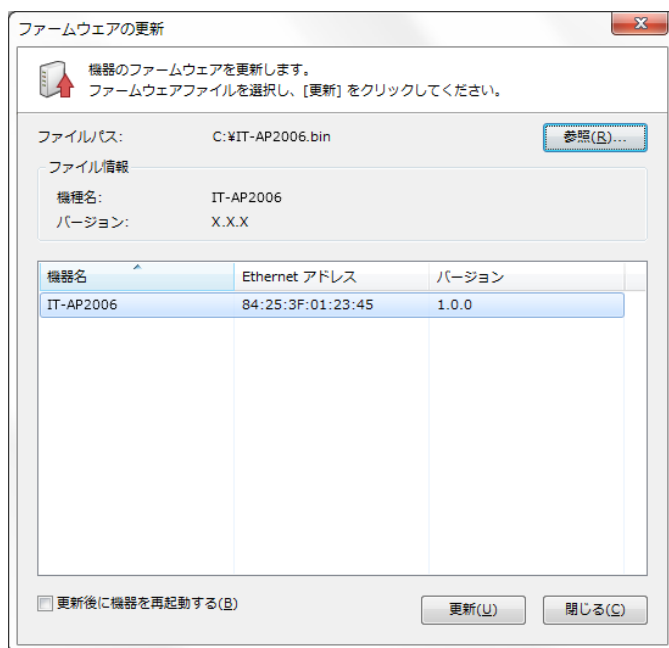
8. 一括設定が実行されて、実行結果が表示されます。
[閉じる] をクリックします。



4-7. 機器のファームウェアを更新する

機器のファームウェアを更新する方法について説明します。
ファームウェアの更新は、ファームウェアの更新画面で行います。

ファームウェアの更新画面



項目	説明
[参照] ボタン	ファームウェアファイル (BIN ファイル形式または、BIN ファイルを含む ZIP ファイル形式) を選択します。
ファイルパス	選択したファームウェアファイルのパスを表示します。
機種名	ファームウェアファイルの対象機種名を表示します。
バージョン	ファームウェアファイルのバージョンを表示します。
更新機器リスト	ファームウェアの更新対象となる機器の機器名、Ethernet アドレス、現在のバージョンを一覧表示します。
更新後に機器を再起動する	更新後、機器を再起動させるときはチェックボックスを ON にします。
[更新] ボタン	更新機器リストで選択した機器のファームウェアを更新します。
[閉じる] ボタン	ファームウェアの更新画面を閉じます。

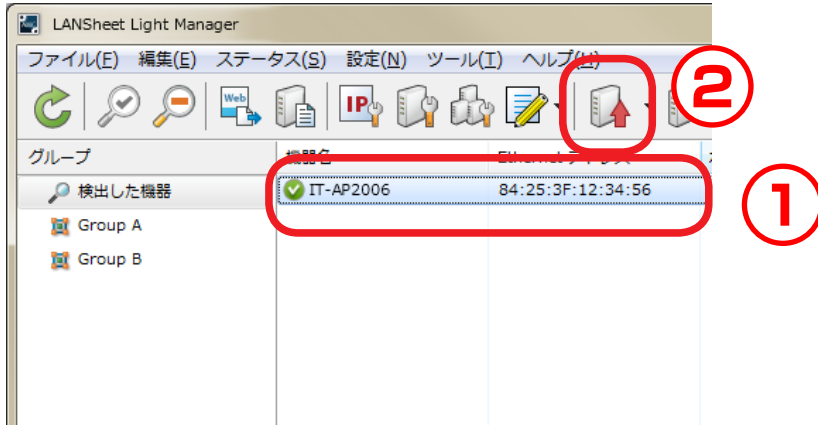


注意

- LANSheet Light Manager® でファームウェアを更新する場合、一部の機種では BIN ファイルと同名の VUP ファイルが必要となります。
- BIN ファイルと VUP ファイルは、同じフォルダ (ZIP ファイル内) に格納する必要があります。

ファームウェアを更新する

1. 機器リストでファームウェアを更新する機器を選択して、ツールバーの「ファームウェアを更新する」アイコンを選択します。

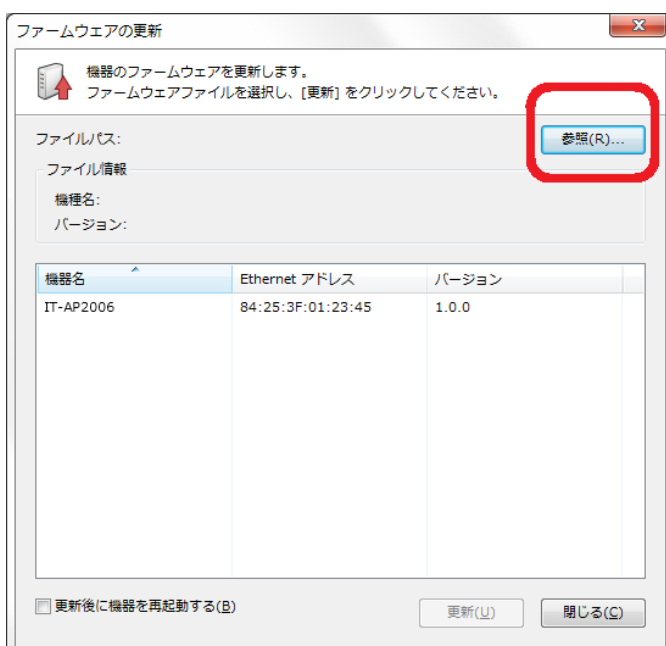


参考

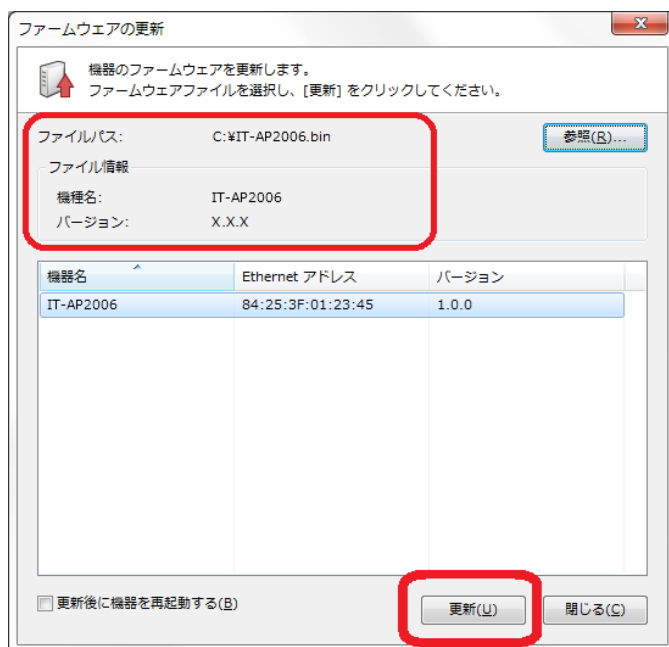
- 以下の方法でもファームウェアを更新できます。
 - 機器を選択して、メニューバーの「設定」 - 「機器のファームウェア更新」
 - 機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「機器のファームウェア更新」
- 「ファームウェアを更新する」アイコン横の「▼」をクリックすると、ファームウェアの更新履歴が表示されます（最大 9 件）。更新履歴からファームウェアを選択すると、ファイルを選択した状態でファームウェア更新画面を表示します。

2. ファームウェアの更新画面が表示されます。

[参照] をクリックして、選択ダイアログから更新するファームウェアファイル (BIN ファイル形式または、BIN ファイルを含む ZIP ファイル形式) を選択します。

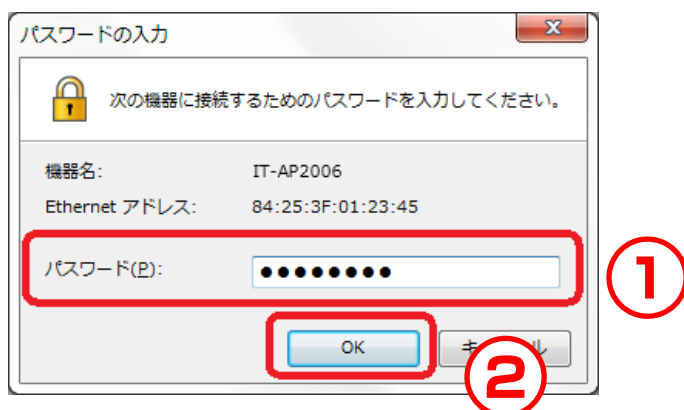


3. 選択したファームウェアのファイル情報が表示されます。
 ファイル情報を確認して、[更新] をクリックします。
 ファームウェアを更新した機器を自動で再起動する場合は、「更新後に機器を再起動する」にチェックを入れてから [更新] をクリックします。

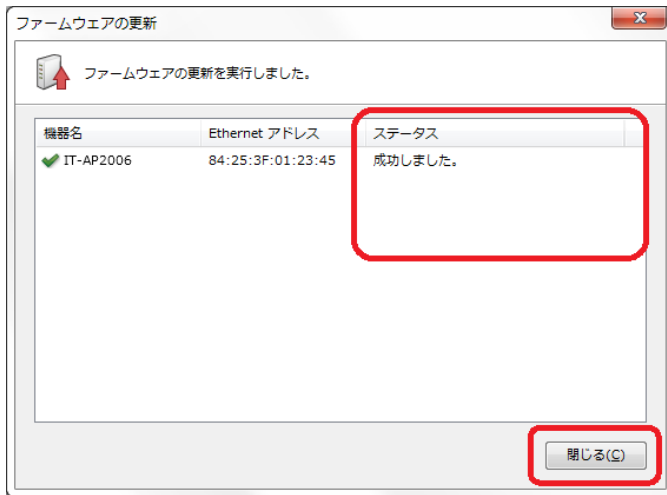


- 更新したファームウェアは、再起動後に有効になります。
 自動で再起動しない場合は、本誌の「機器を再起動する」を参照して手動で再起動を行ってください。

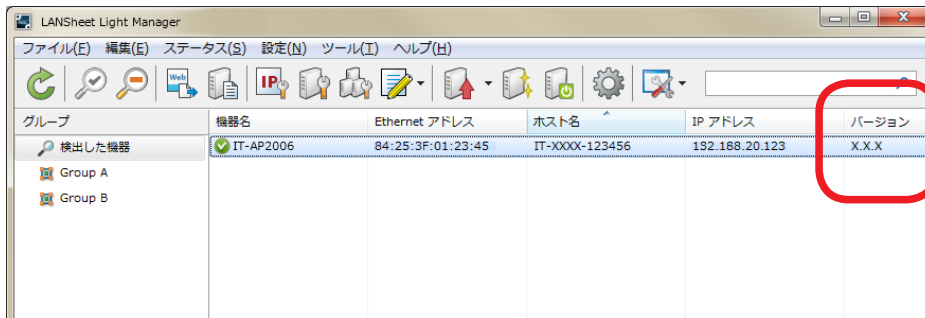
4. パスワードの入力画面が表示されます。
 機器に設定されているパスワードを入力して [OK] をクリックします。
 機器にパスワードが設定されていない場合は、下記画面は表示されません。



5. 選択した機器のファームウェアが更新されます。
[閉じる] をクリックして、ファームウェア更新画面を閉じます。



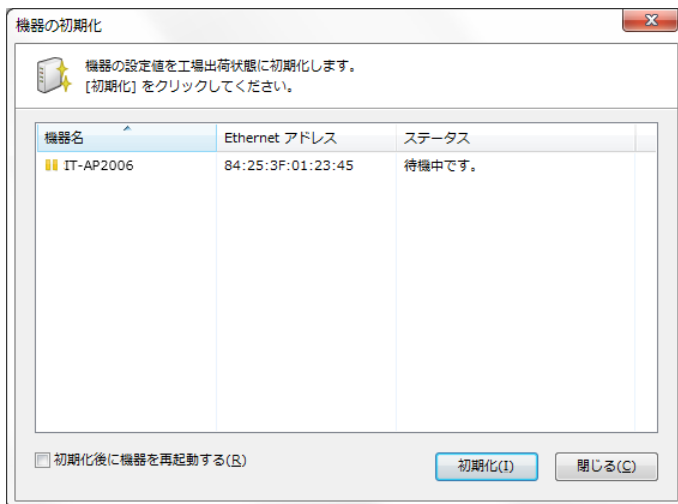
6. LANSheet Light Manager® の機器リストでファームウェアを更新した機器のバージョンが更新されていることを確認します。



4-8. 機器を初期化する

機器の設定を初期化する方法について説明します。
機器の設定の初期化は、機器の初期化画面で行います。

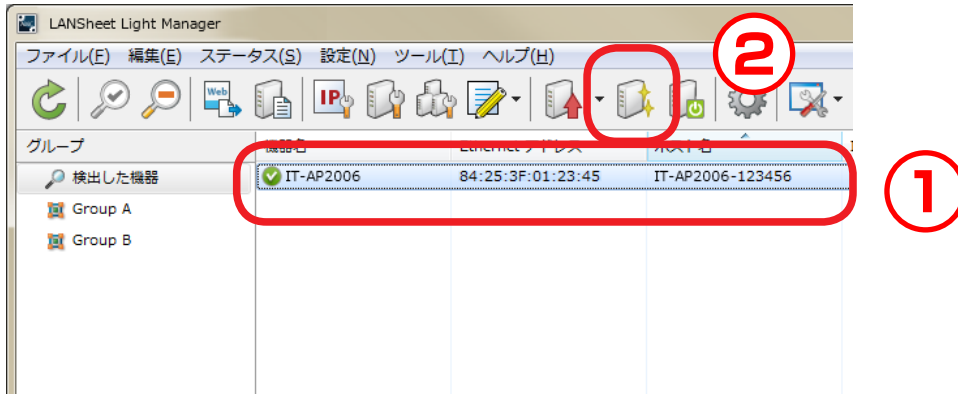
機器の初期化画面



項目	説明
対象機器リスト	初期化する機器の機器名、Ethernet アドレス、ステータスを表示します。 ステータスが「待機中です。」の機器の設定を初期化できます。
初期化後に機器を再起動する	初期化後、機器を再起動させるときはチェックボックスをONにします。
【初期化】 ボタン	機器の設定を初期化します。
【閉じる】 ボタン	機器の初期化画面を閉じます。

機器の設定を初期化する

1. 機器リストで初期化する機器を選択して、ツールバーの「機器を初期化する」アイコンを選択します。



以下の方法でも設定を初期化できます。

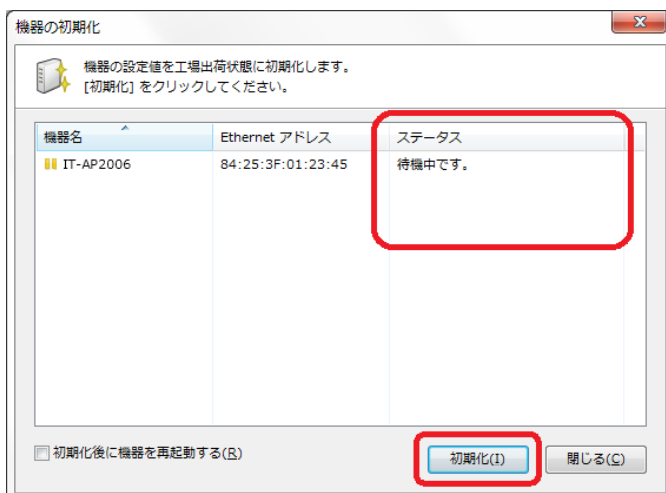
- 機器を選択して、メニューバーの「設定」-「機器の初期化」

参考 • 機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「機器の初期化」

2. 機器の初期化画面が表示されます。

初期化する機器のステータスが「待機中です。」になっていることを確認して、[初期化] をクリックします。

初期化した機器を自動で再起動する場合は、「初期化後に機器を再起動する」にチェックを入れてから [初期化] をクリックします。

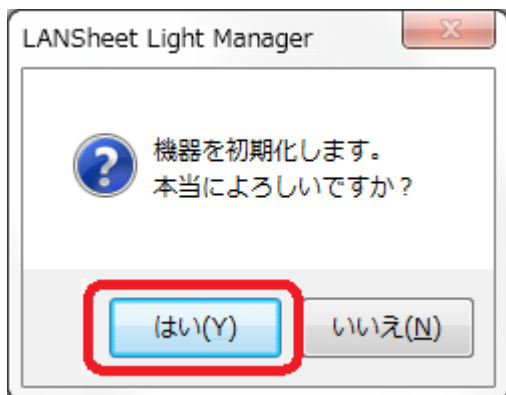


注意

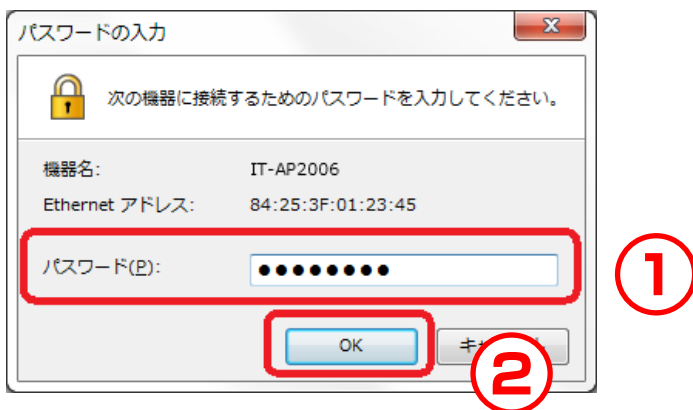
- 初期化した設定は、再起動後に有効になります。

自動で再起動しない場合は、本誌の「機器を再起動する」を参照して手動で再起動を行ってください。

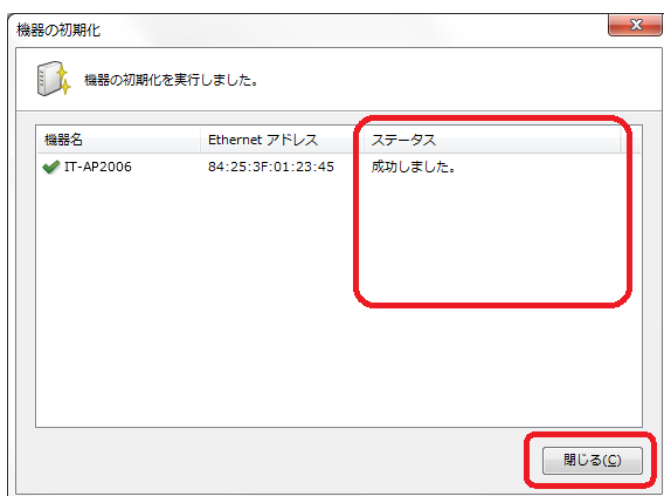
3. 初期化の確認画面が表示されます。
[はい] をクリックします。



4. パスワードの入力画面が表示されます。
機器に設定されているパスワードを入力して [OK] をクリックします。
機器にパスワードが設定されていない場合は、下記画面は表示されません。



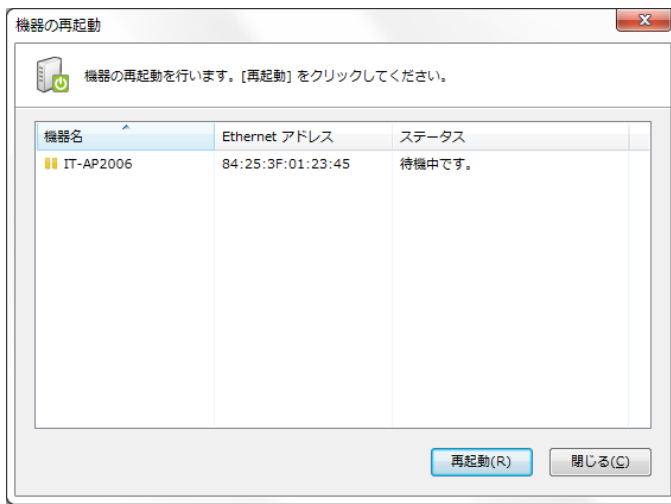
5. 初期化処理の結果画面が表示されます。
ステータスを確認して、[閉じる] をクリックします。



4-9. 機器を再起動する

機器を再起動する方法について説明します。
機器の再起動は、機器の再起動画面で行います。

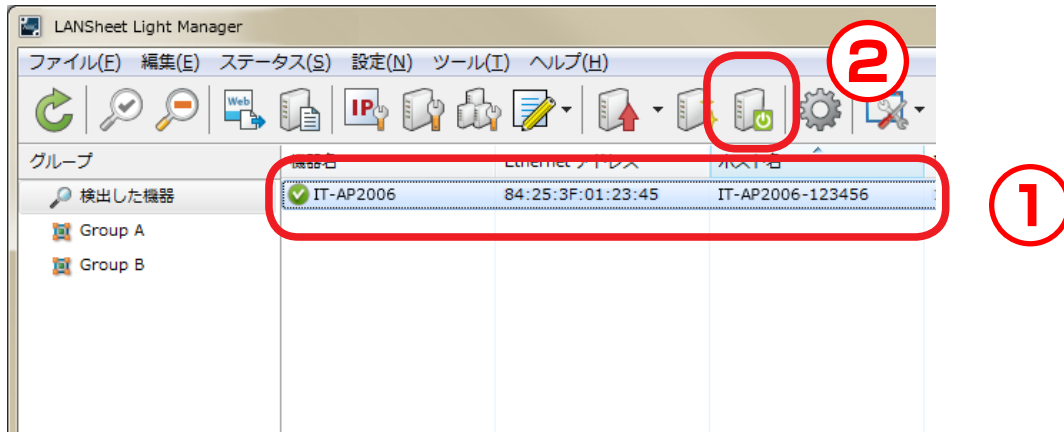
機器の再起動画面



項目	説明
対象機器リスト	再起動する機器の機器名、Ethernet アドレス、ステータスを表示します。 ステータスが「待機中です。」の機器を再起動できます。
[再起動] ボタン	機器を再起動します。
[閉じる] ボタン	機器の再起動画面を閉じます。

機器を再起動する

1. 機器リストで再起動する機器を選択して、ツールバーの「機器を再起動する」アイコンを選択します。



以下の方法でも機器を再起動できます。

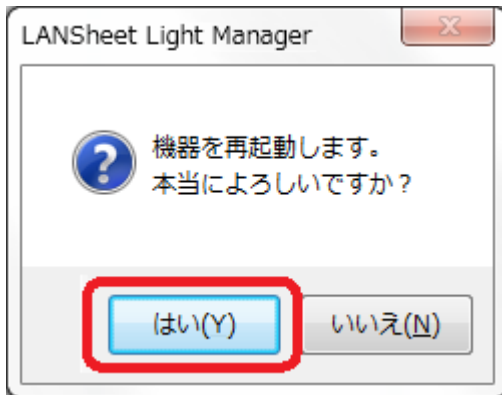
- 参考
- 機器を選択して、メニューバーの「設定」 - 「機器の再起動」
 - 機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「機器の再起動」

2. 機器の再起動画面が表示されます。
再起動する機器のステータスが「待機中です。」になっていることを確認して、
[再起動] をクリックします。



3. 再起動の確認画面が表示されます。

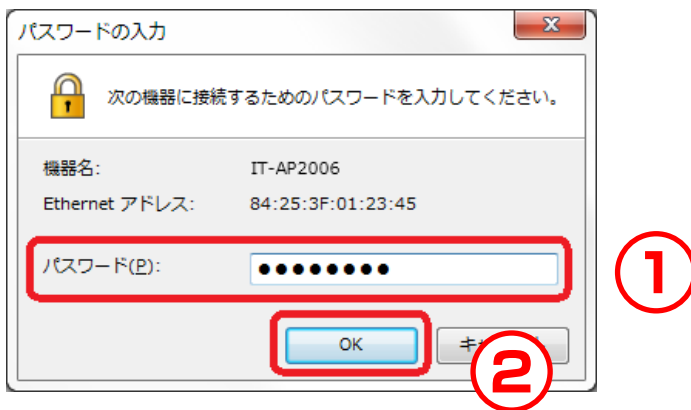
[はい] をクリックします。



4. パスワードの入力画面が表示されます。

機器に設定されているパスワードを入力して [OK] をクリックします。

機器にパスワードが設定されていない場合は、下記画面は表示されません。



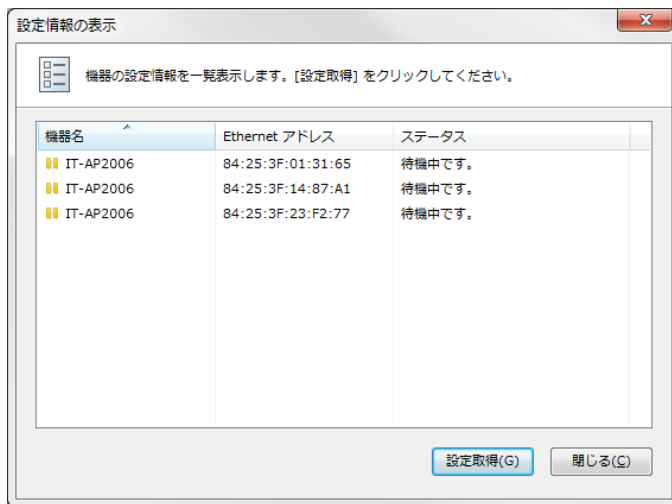
5. 再起動処理の結果画面が表示されます。
ステータスを確認して、[閉じる] をクリックします。



4-10. 機器の設定情報を一覧表示する

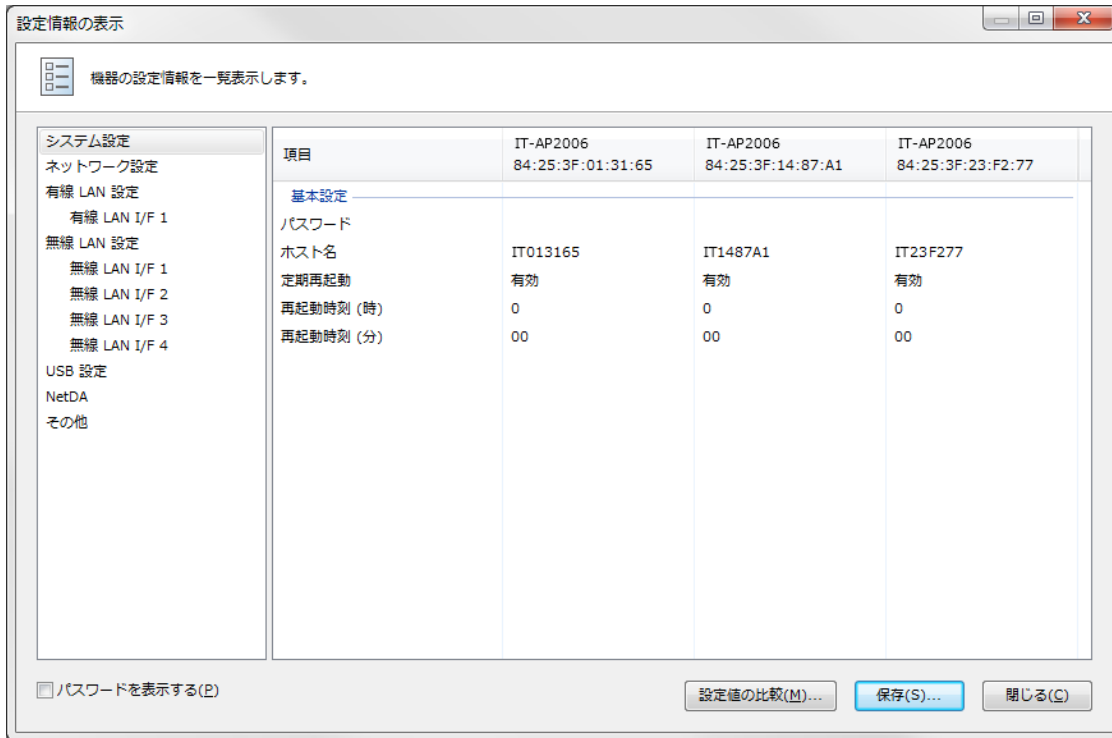
複数の機器から設定情報を取得し、一覧表示する方法について説明します。
機器の設定情報の一覧表示は、設定情報の表示画面で行います。

設定情報の取得画面



項目	説明
対象機器リスト	設定情報を取得する機器の機器名、Ethernet アドレス、ステータスを表示します。 ステータスが「待機中です。」の機器から設定情報を取得できます。
〔設定取得〕 ボタン	機器から設定情報を取得します。
〔閉じる〕 ボタン	設定情報の取得画面を閉じます。 機器から設定情報を取得した場合は、設定情報を一覧表示します。

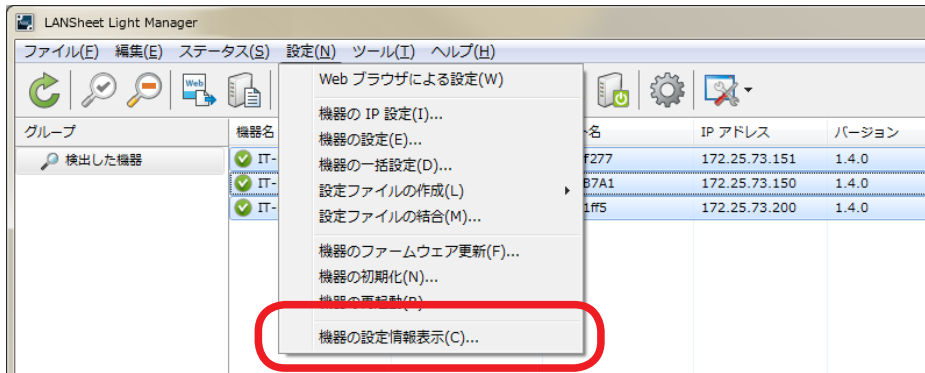
設定情報の一覧表示画面



項目	説明
メニュー項目	設定情報のメニューを表示します。
設定情報	機器の設定情報を表示します。設定項目と、各機器ごとの設定値を表示します。 表示される設定項目は、選択した機器により異なります。
パスワードを表示する	パスワード関連の設定項目をマスク表示しないときは、チェックボックスを ON にします。
設定値の比較	比較用の設定ファイルを選択し、設定ファイルの値と異なる設定値を赤い文字で表示します。 比較対象の項目は、設定ファイル作成時にチェックボックスを ON にした項目となります。
[保存] ボタン	入力した設定対象項目の値を設定ファイルに保存します。
[閉じる] ボタン	設定ファイルの編集画面を閉じます。

機器の設定情報を一覧表示する

1. 一覧表示する機器を選択して、メニューバーの「設定」 - 「機器の設定情報表示」を選択します。



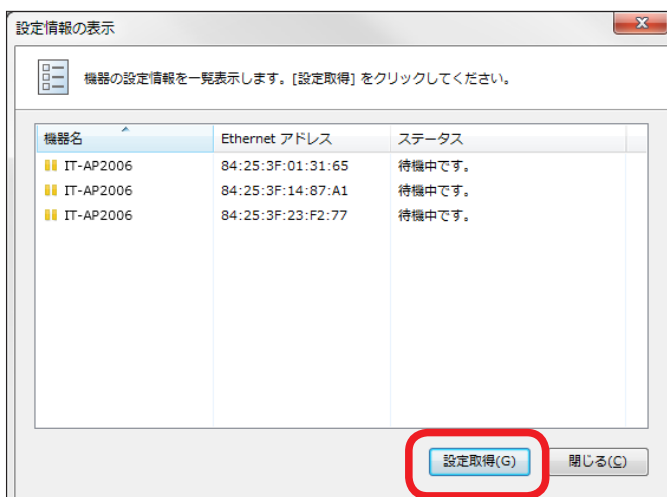
参考

以下の方法でも設定情報の表示画面を開くことができます。

- 機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「機器の設定情報表示」

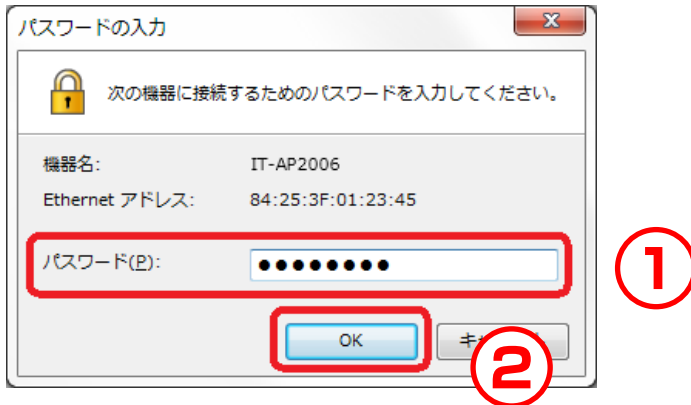
2. 設定情報の表示画面が表示されます。

設定情報を取得する機器のステータスが「待機中です。」になっていることを確認して、[設定取得] をクリックします。

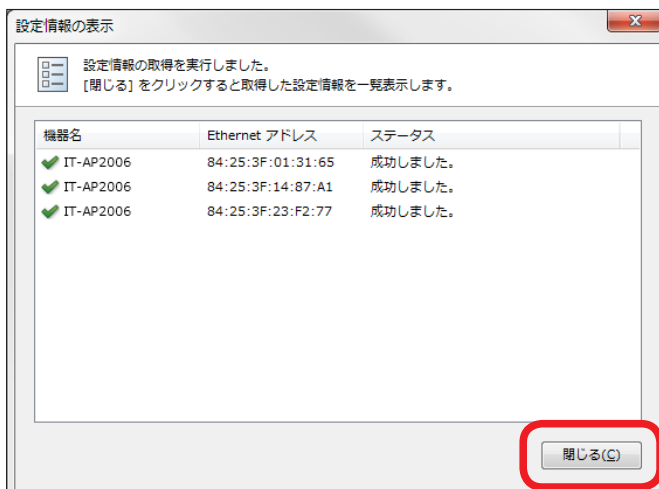


3. パスワードの入力画面が表示されます。

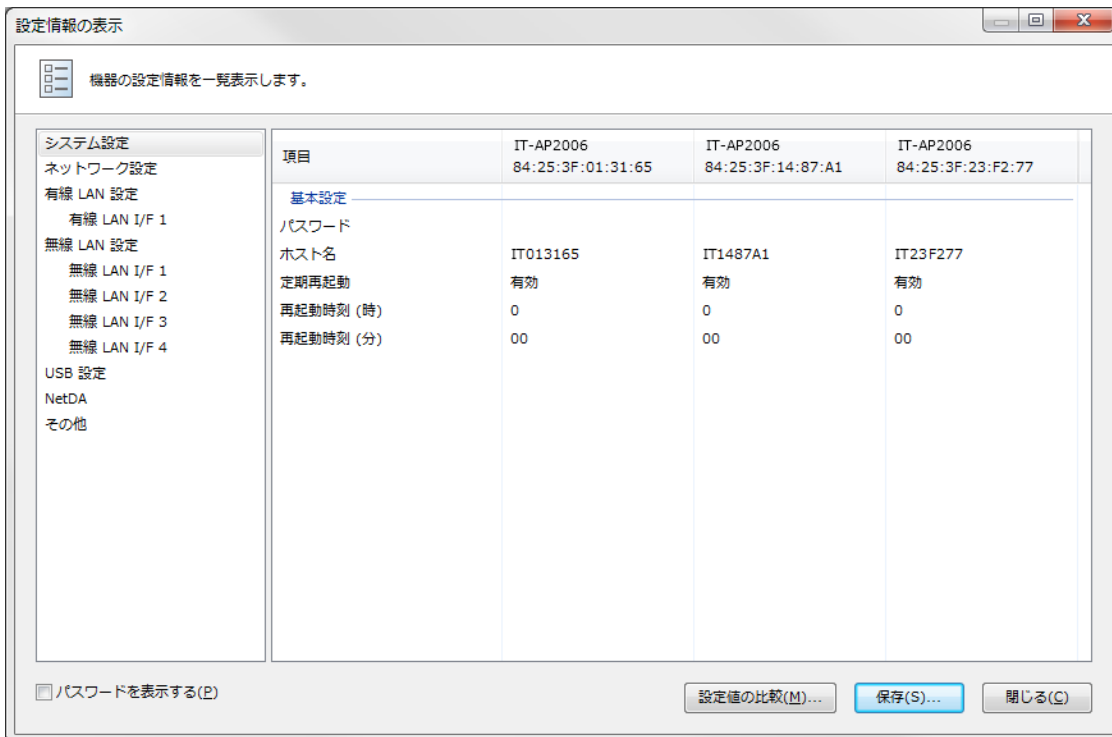
機器に設定されているパスワードを入力して [OK] をクリックします。
機器にパスワードが設定されていない場合は、下記画面は表示されません。

**4.** 設定取得処理の結果画面が表示されます。

ステータスを確認して、[閉じる] をクリックします。

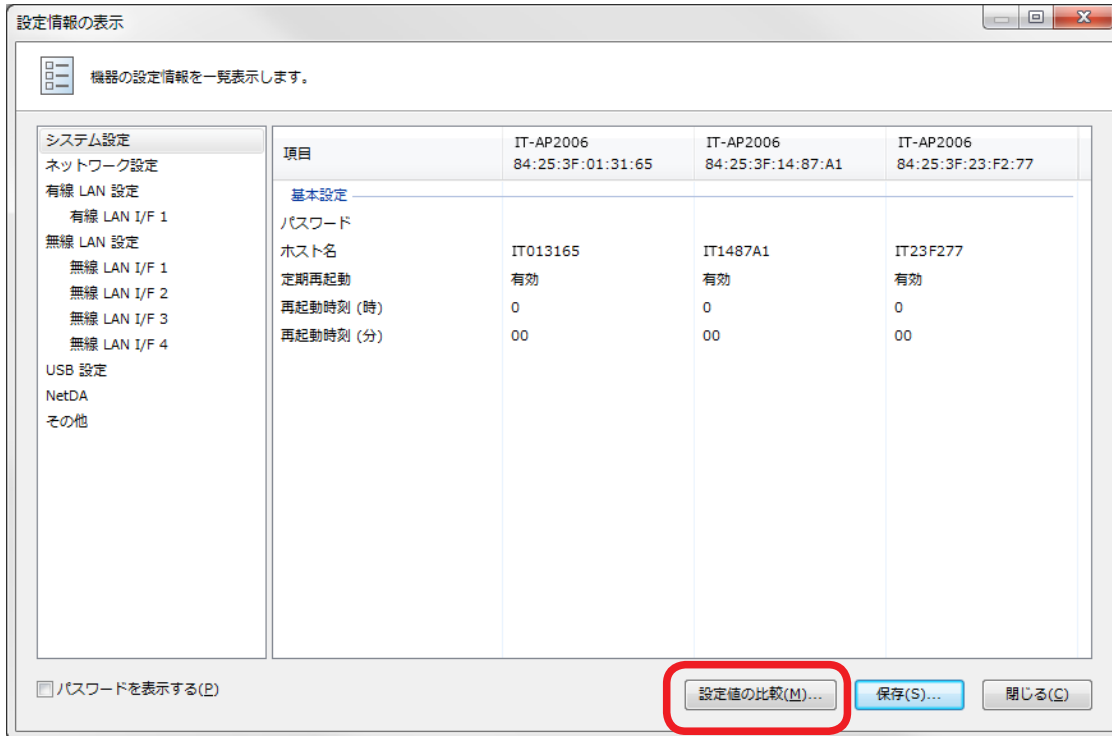


5. 選択した機器の設定情報が一覧表示されます。

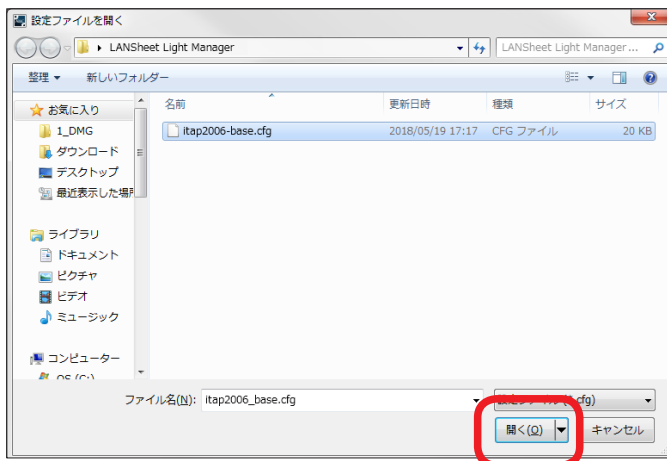


設定ファイルと比較する

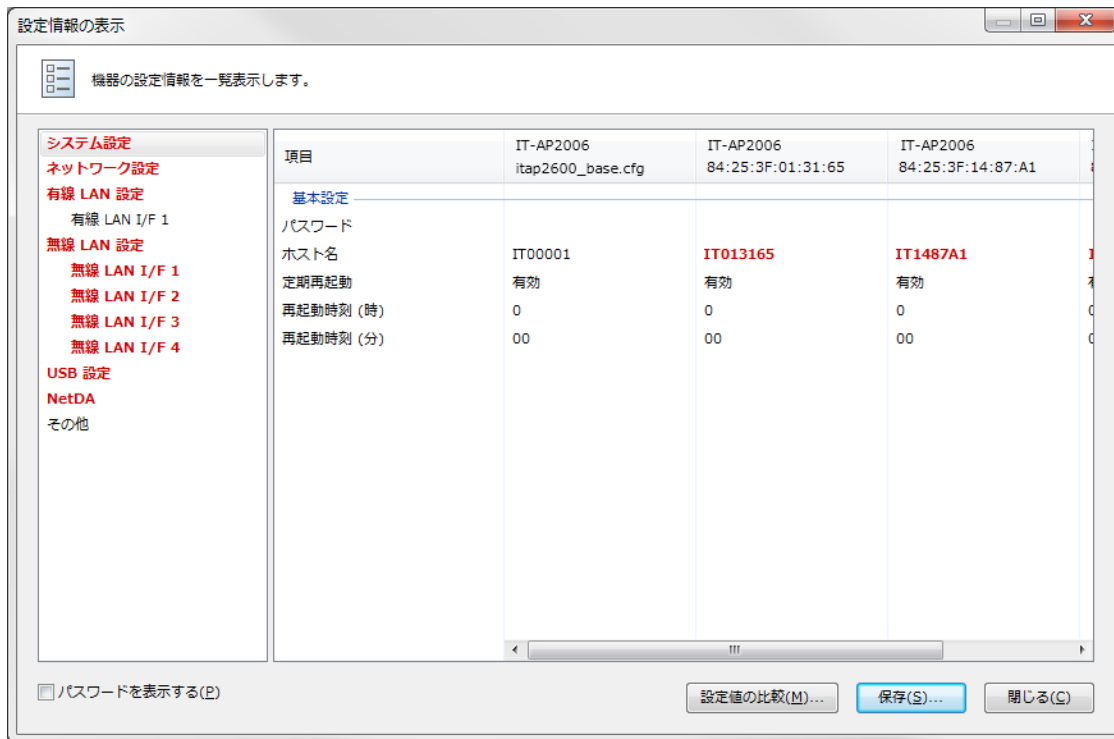
1. 機器の設定情報が一覧表示されている状態で [設定値の比較] をクリックします。



2. 比較する設定ファイルを選択して [開く] をクリックします。



3. 設定情報の表示画面に、選択した設定ファイルの設定情報が表示されます。機器の設定情報の中で、設定ファイルと設定値が異なる場合は赤い文字で表示されます。



参考

- ・設定情報画面左のメニュー項目のうち、比較ファイルと設定値が異なる項目は赤い文字で表示されます。

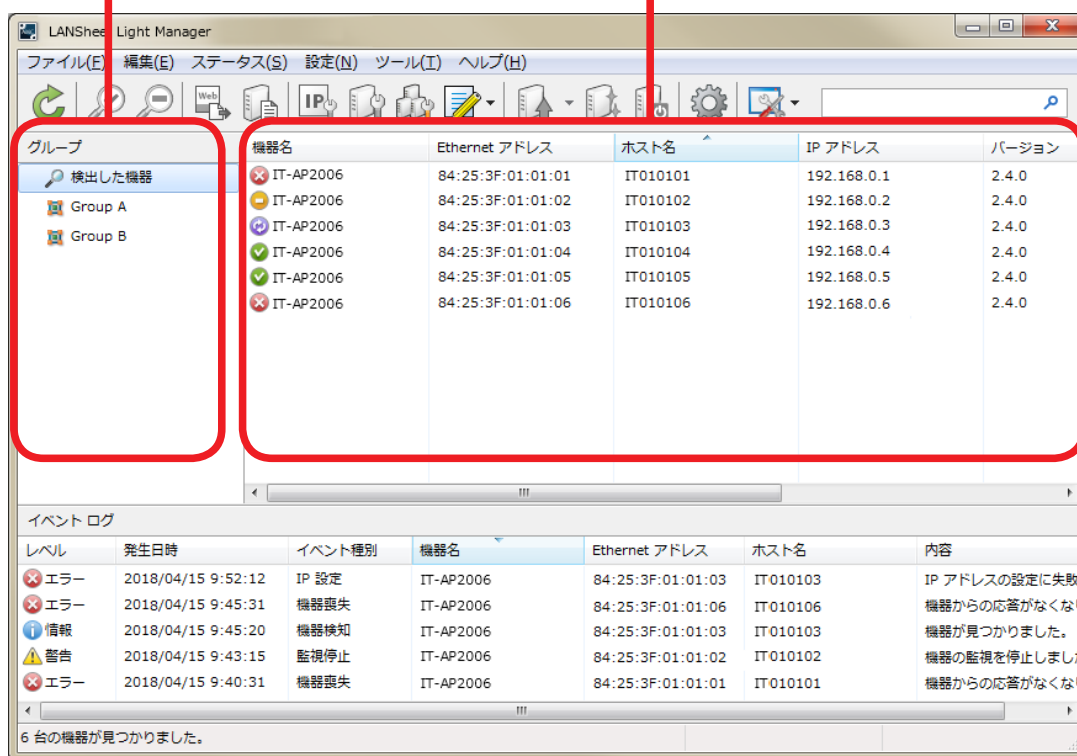
4-11. 機器をグループで管理する

ネットワーク上の機器をグループに分けて管理する方法について説明します。任意の名称を付けたグループを作成して、各グループに機器を登録します。グループは、最大 100 個作成できます。1 つのグループには、最大 1000 台の機器を登録できます。

グループリストと機器リスト

グループリスト

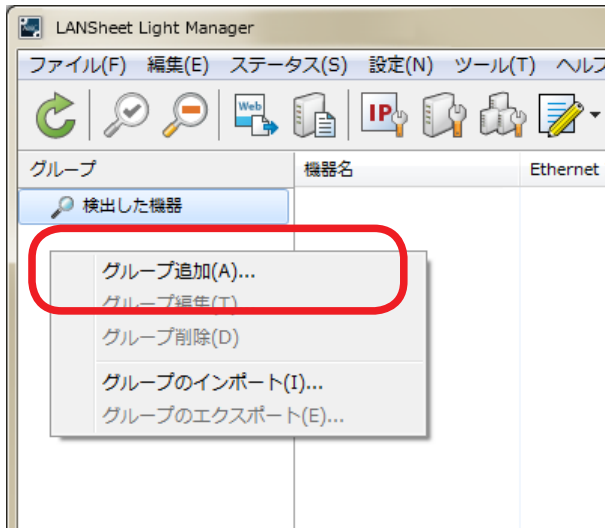
機器リスト



項目	説明
グループリスト	ユーザが任意に作成したグループが一覧表示されます。
機器リスト	グループリストで選択したグループに登録されている機器が一覧表示されます。グループリストで「検出した機器」を選択したときは、LANSheet Light Manager® が検知したネットワーク上の機器をすべて表示します。各項目のカラムヘッダーをクリックするとソートできます。

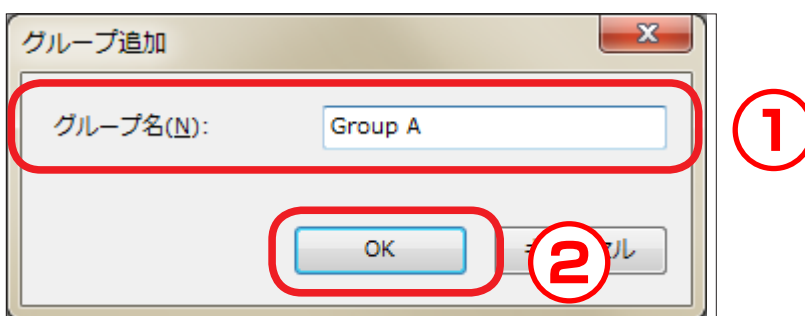
グループを作成する

1. グループリストで右クリックして、コンテキストメニューから「グループ追加」を選択します。

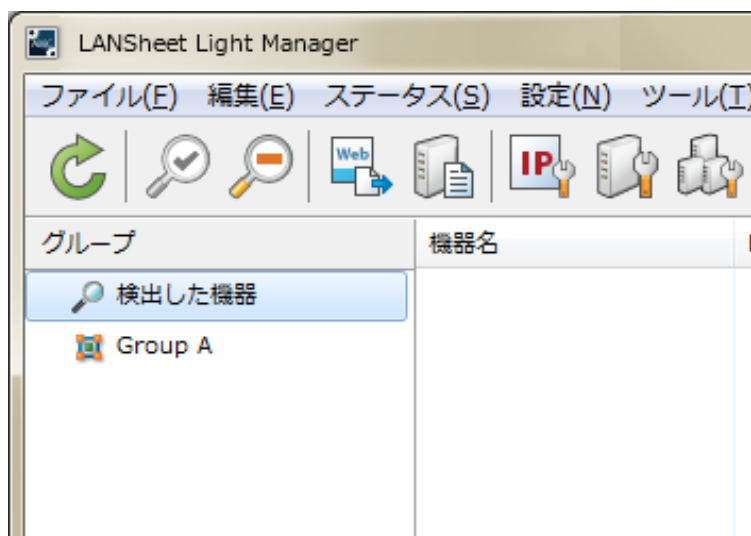


- 以下の方法でもグループを追加できます。
- メニューバーから「編集」 - 「グループ追加」を選択します。

2. グループ作成画面が表示されます。
「グループ名」に任意のグループ名を入力して、「OK」をクリックします。

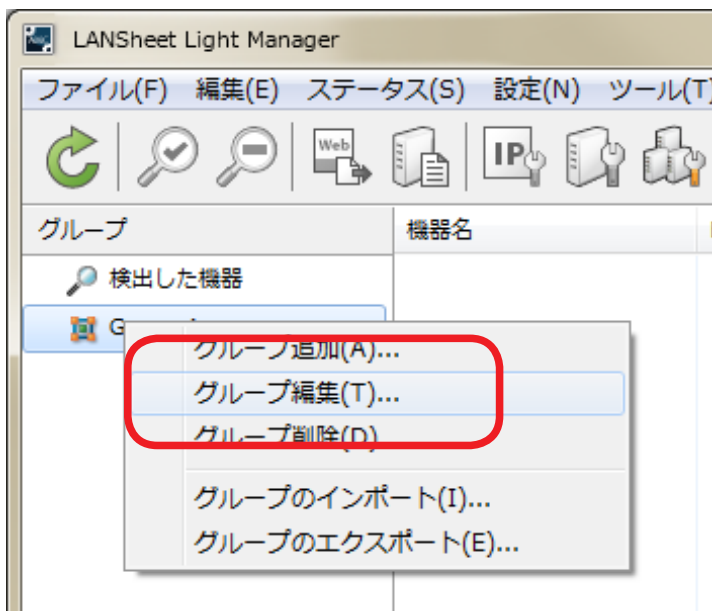


- グループ名は、最大 32 文字です。
- 作成できるグループは、最大 100 個です。

3. 作成したグループがグループリストに表示されます。

グループに機器を登録する

1. グループリストで機器を登録するグループを選択して、右クリックのコンテキストメニューから「グループ編集」を選択します。

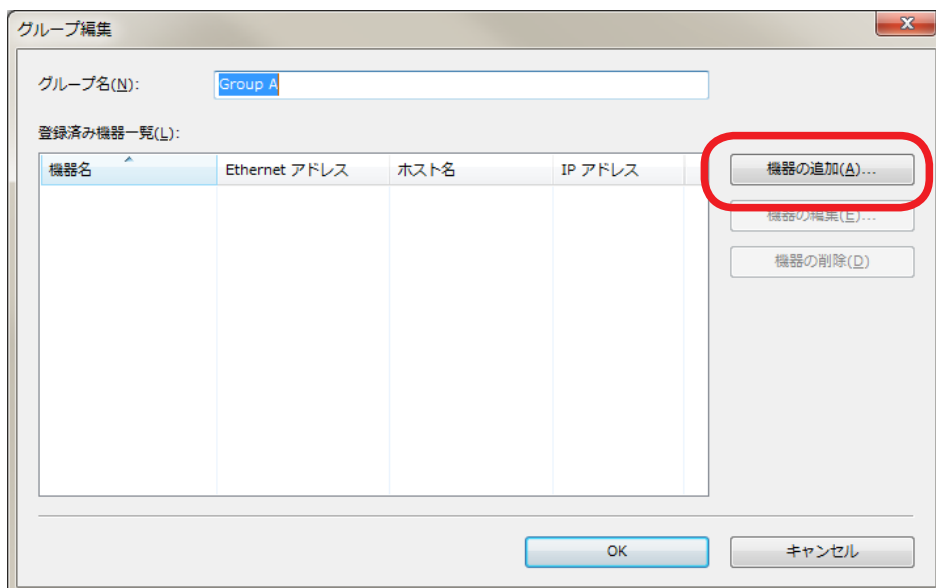


参考

以下の方法でもグループを編集できます。

- グループリストで機器を登録するグループを選択して、メニューバーから「編集」 - 「グループ編集」の順に選択します。

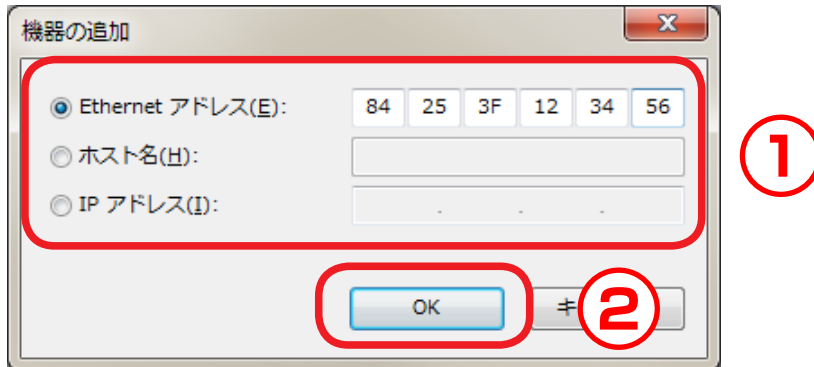
2. グループ編集画面が表示されます。「機器の追加」をクリックします。



3. 機器の追加画面が表示されます。

登録する機器の情報を「Ethernet アドレス」、「ホスト名」、「IP アドレス」の中から選択して入力します。

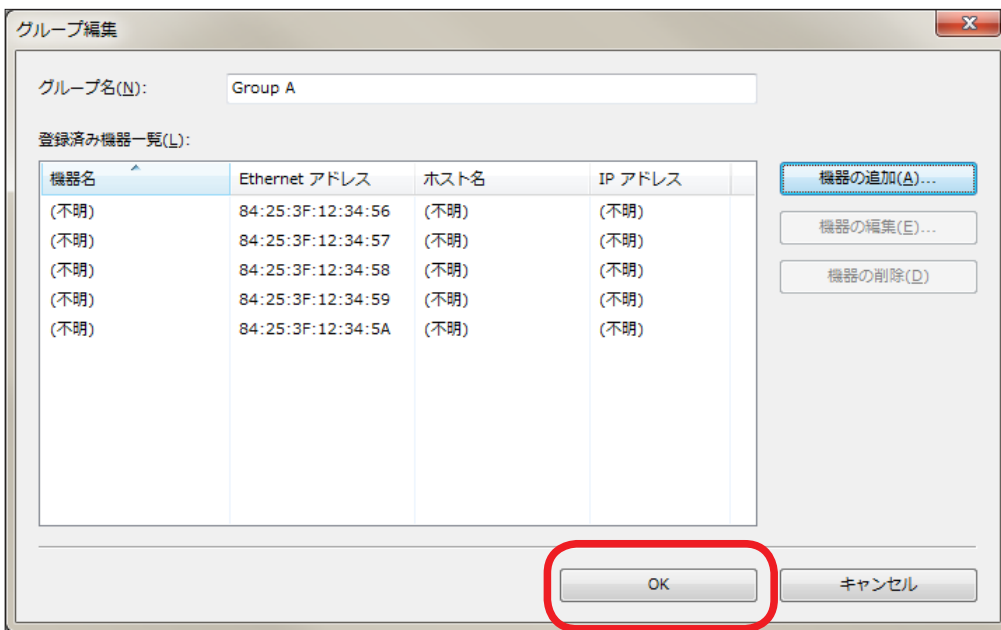
機器の情報を入力したら、「OK」をクリックします。



4. 登録済み機器一覧に登録した機器が表示されます。

引き続き機器を登録する場合は、手順 2 から操作を繰り返します。

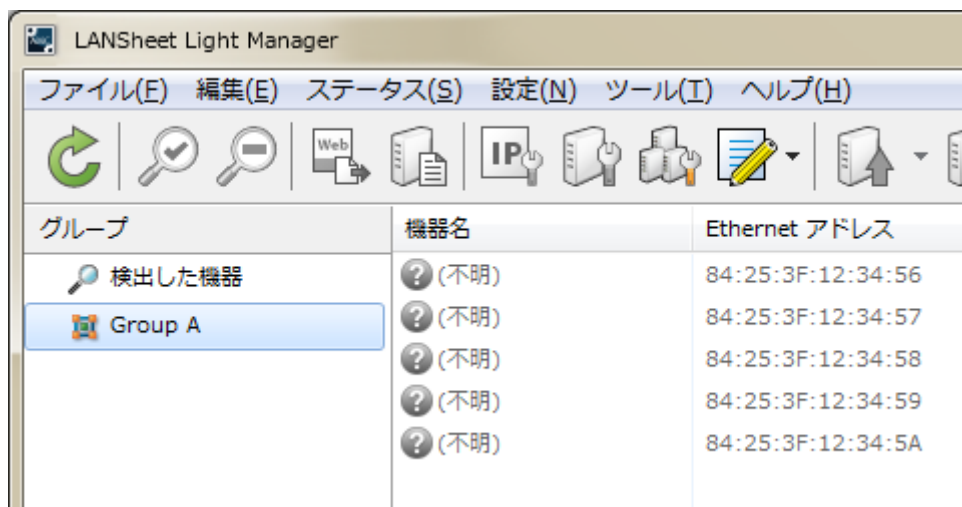
機器の登録が完了したら、「OK」をクリックします。



• LANSheet Light Manager® がネットワーク上で検知できていない機器は、検知できるまで手順 3 で入力した情報以外が（不明）と表示されます。

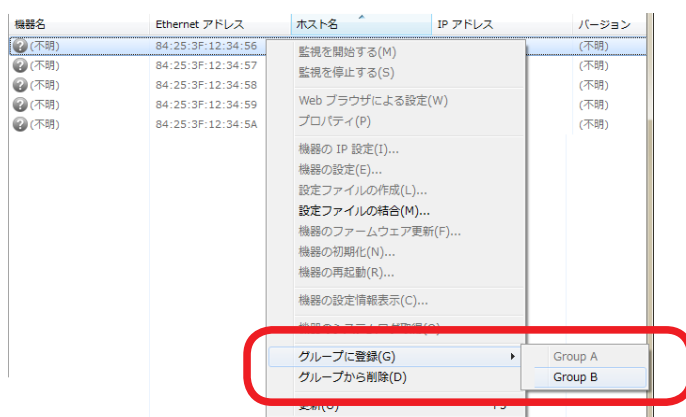
参考 • 1つのグループに登録できる機器は、最大 1000 台です。

5. グループに機器が登録されます。

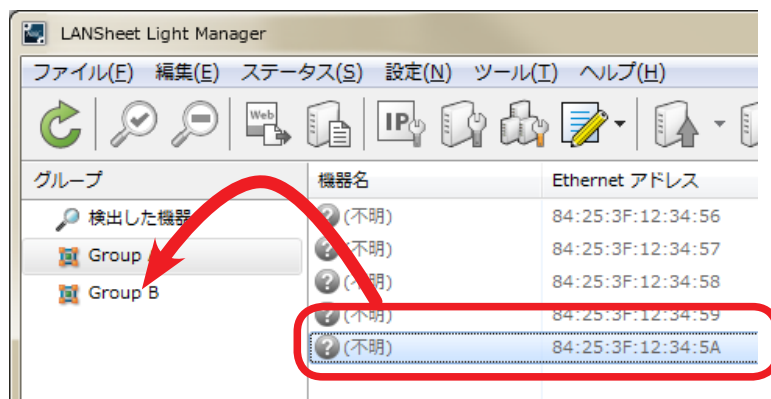


機器リストに機器が表示されている場合は、以下の方法でもグループに登録できます。

- 機器リストで機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「グループに登録」→「(登録先グループ)」の順に選択します。



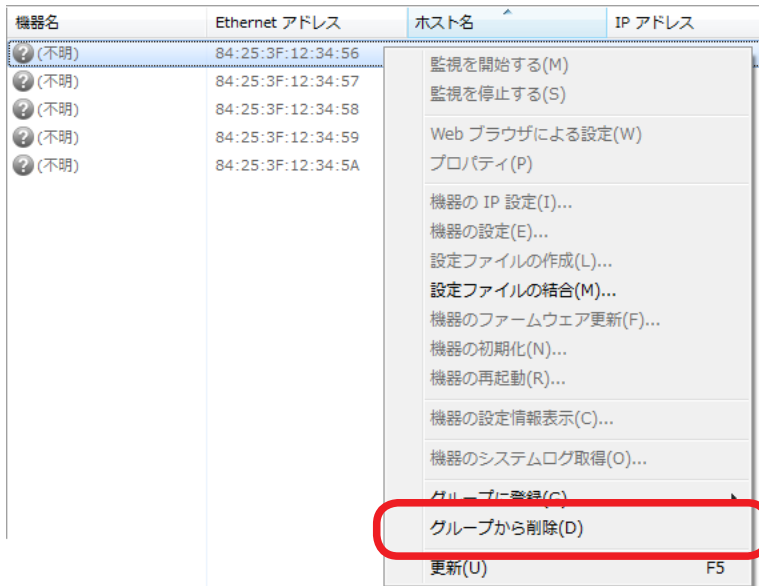
- 機器リストで機器を選択して、登録先グループヘドラッグ&ドロップします。



- LANSheet Light Manager® Free を使用した場合は、1 つのグループに登録できる機器が最大 10 台となります。

グループから機器を削除する

1. 機器リストで削除する機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「グループから削除」を選択します。

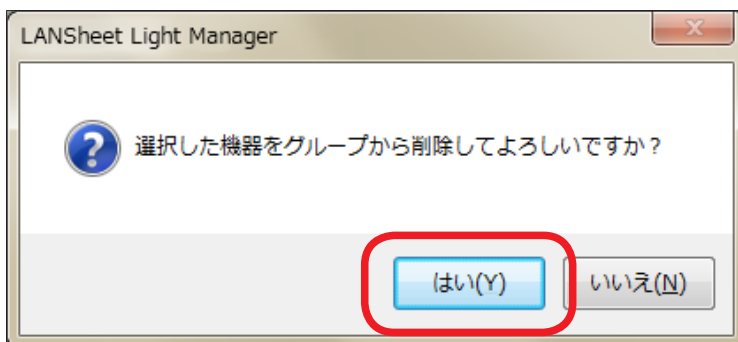


以下の方法でも機器を削除できます。

- 機器リストで機器を選択して、「Delete」キーを押します。

参考

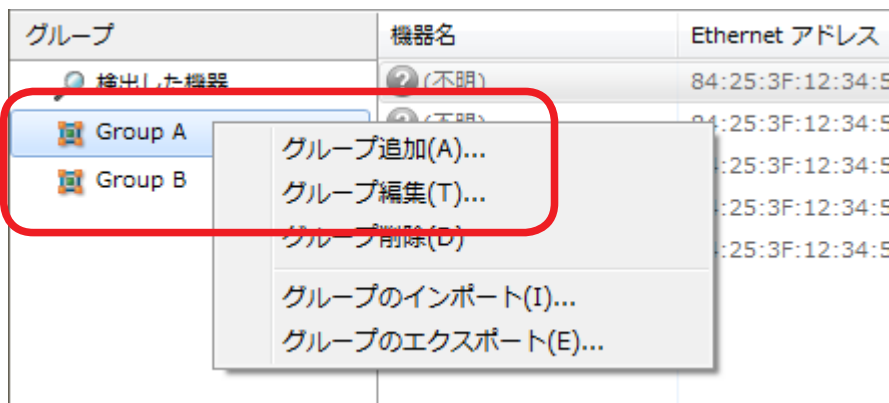
2. 削除の確認画面が表示されます。
「はい」をクリックします。



グループの情報を編集する

作成したグループの名称や登録した機器を変更する方法について説明します。

1. グループリストから編集するグループを選択して、右クリックのコンテキストメニューから「グループ編集」を選択します。



以下の方法でもグループを編集できます。

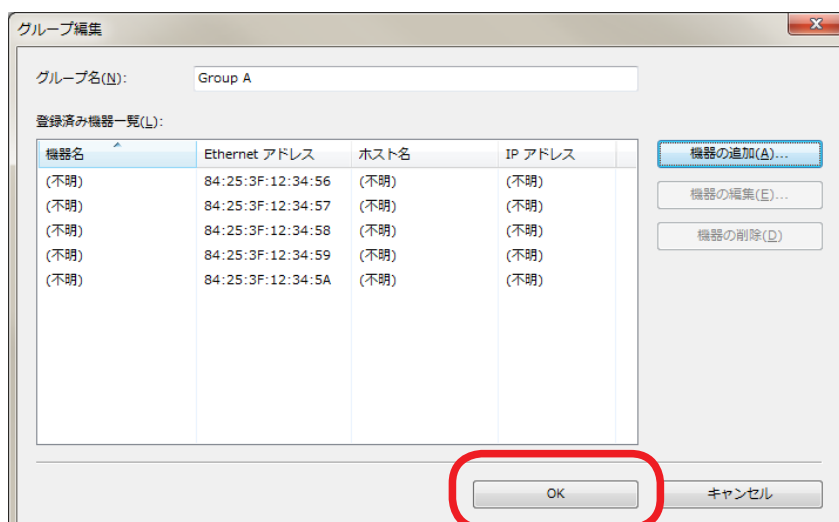
- グループリストで編集するグループを選択して、メニューバーから「編集」 - 「グループ編集」の順に選択します。

2. グループ編集画面が表示されます。

グループ名を変更するときには、新しいグループ名を入力します。

登録されている機器を削除または変更する場合は、登録済み機器一覧で機器を選択して、「機器の編集」または「機器の削除」を選択します。

グループの情報の編集が完了したら、「OK」をクリックします。



グループ情報をエクスポート / インポートする

グループ情報をエクスポートすることで、作成したグループ情報を外部ファイルに保存できます。また、外部ファイルからインポートすることでグループの作成と機器の登録が行えます。

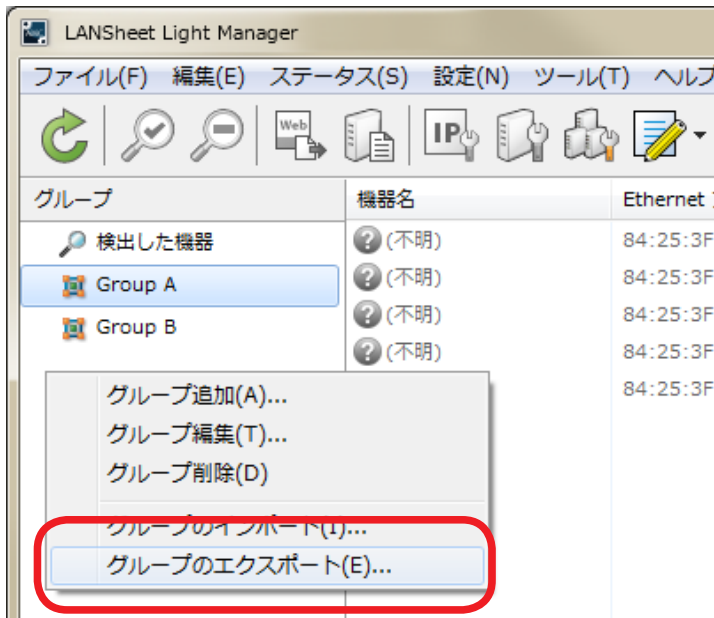


参考

- ・ エクスポートでは、登録されているすべてのグループ情報が一括で保存されます。任意のグループのみ選択してエクスポートすることはできません。
- ・ インポートでは、現在 LANSheet Light Manager® に登録されているグループ情報にインポートした外部ファイルに保存されているグループ情報を追加します。
- ・ グループ情報をエクスポートした本製品とインポートする本製品のバージョンが異なる場合は、インポートできない場合があります。

【グループ情報をエクスポートする】

1. グループリストで右クリックして、コンテキストメニューから「グループのエクスポート」を選択します。

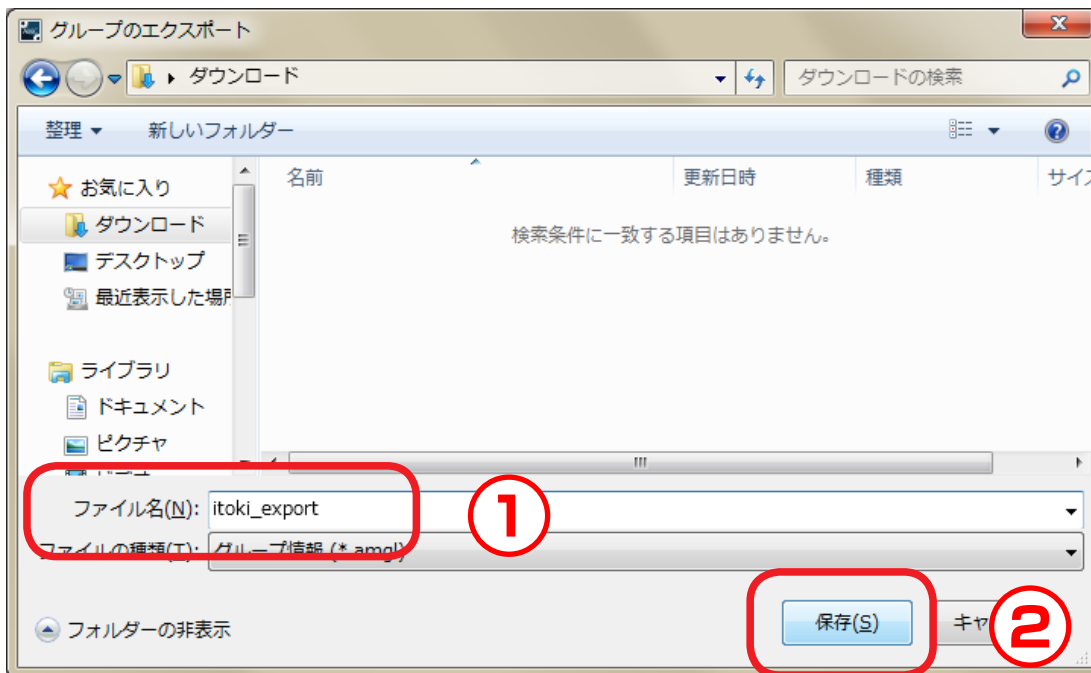


参考

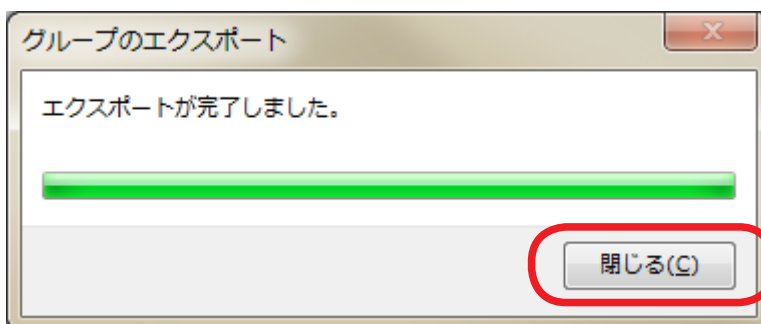
以下の方法でもエクスポートできます。

- ・ メニューバーから「編集」 - 「グループのエクスポート」の順に選択します。

2. ファイルの保存画面が表示されます。
任意のファイル名を入力して、「保存」をクリックします。

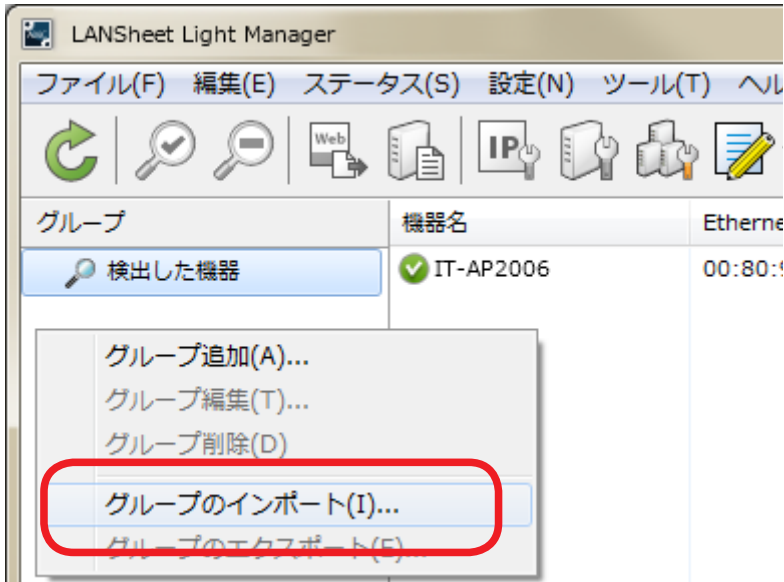


3. エクスポートが完了すると完了画面が表示されます。
「閉じる」をクリックします。



【グループ情報をインポートする】

1. グループリストで右クリックして、コンテキストメニューから「グループのインポート」を選択します。

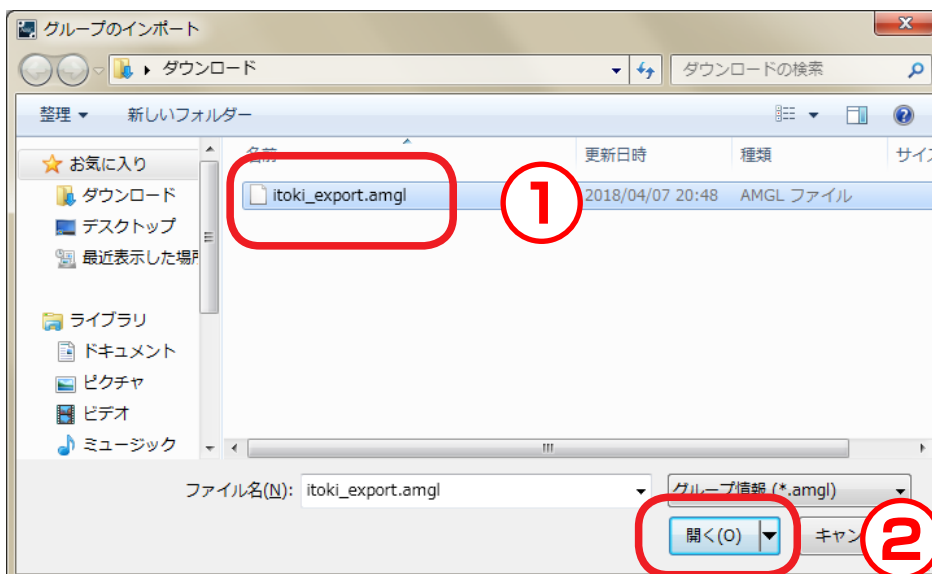


以下の方法でもインポートできます。

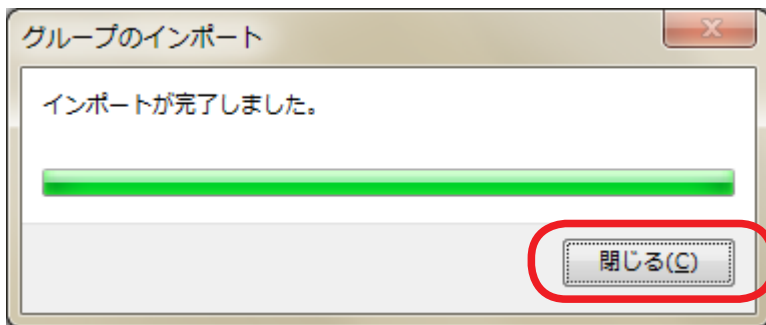
- メニューバーから「編集」 - 「グループのインポート」の順に選択します。

参考

2. ファイルの選択画面が表示されます。
インポートするファイルを選択して「開く」をクリックします



3. インポートが完了すると完了画面が表示されます。
「閉じる」をクリックします。



4-12. Log Viewer でログを参照する

Log Viewer を使用して、LANSheet Light Manager® に保存されたイベントログを参照する方法について説明します。

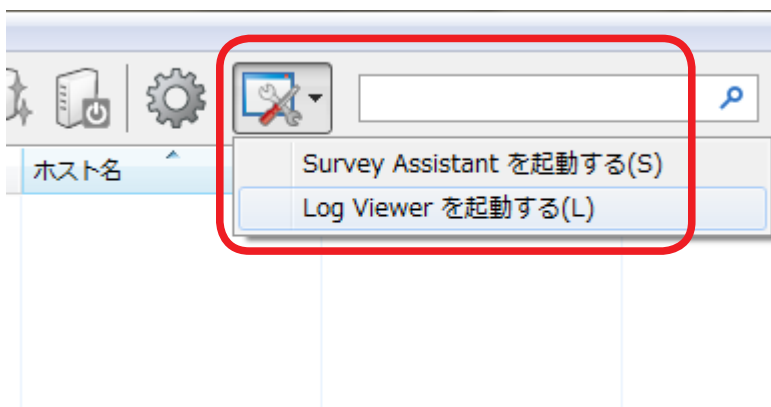


参考

- LANSheet Light Manager® に保存されるイベントログの保存期間は、LANSheet Light Manager® のオプション設定のログ保存設定で設定できます。

Log Viewer を起動する

1. ツールバーの「プラグインツールを起動する」アイコンー「Log Viewer を起動する」の順にクリックします。

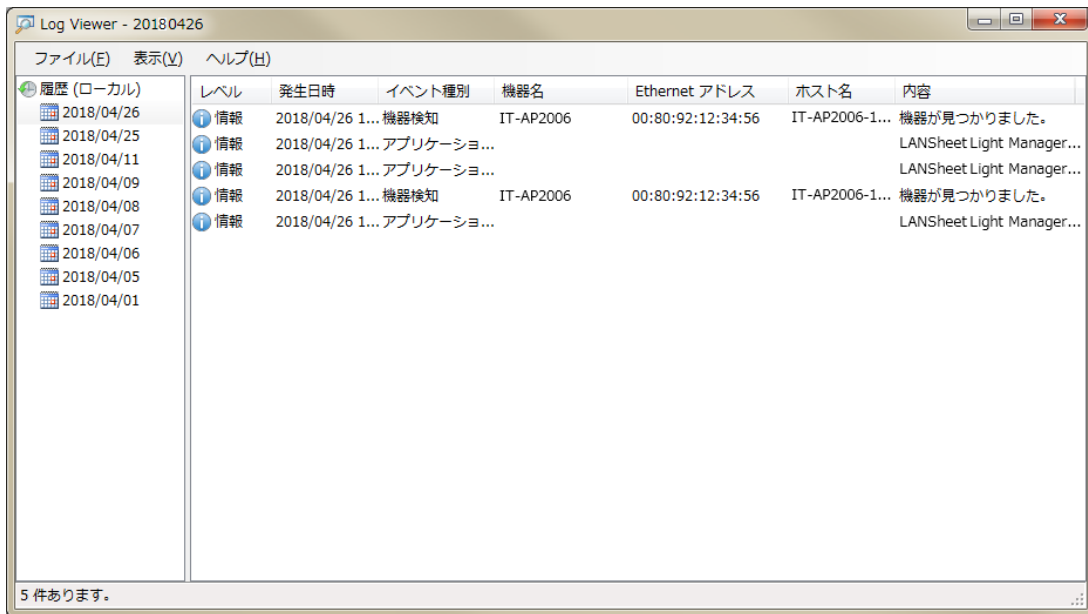


参考

以下の方法でも Log Viewer を起動できます。

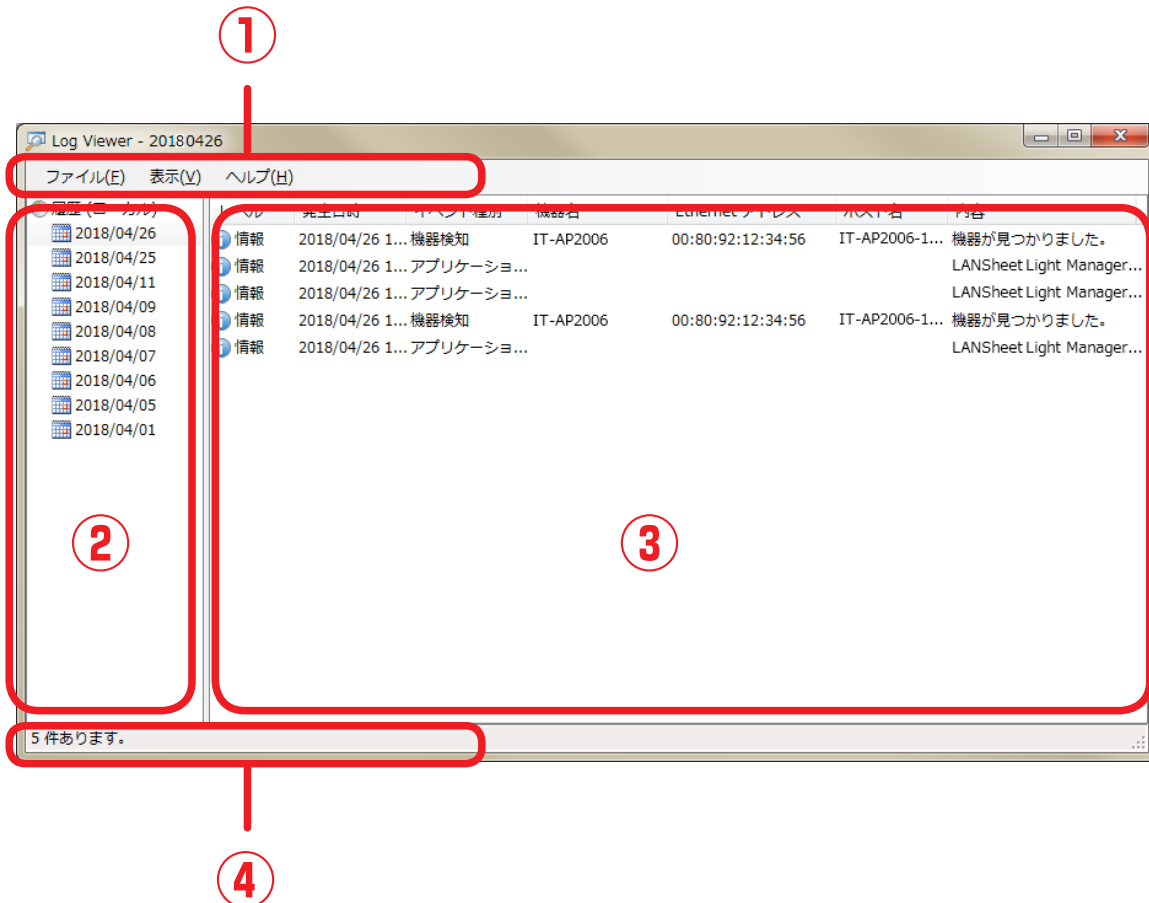
- メニューバーから「ツール」 - 「Log Viewer を起動する」の順に選択します。

2. LANSheet Light Manager® が保存しているイベントログを読み込んで、Log Viewer が起動します。



Log Viewer の操作画面

Log Viewer の操作画面について説明します。



① メニューバー

ログのエクスポートや詳細検索など、Log Viewer の各機能を実行します。

② 日付 / ファイルリスト

LANSheet Light Manager® が保存しているログの日付と読み込んだ Log Viewer 形式のファイル名を表示します。

③ ログリスト

イベントログを一覧表示します。

各項目のカラムヘッドをクリックするとソートできます。

④ ステータスバー

ログの件数などを表示します。

【メニューバー】

ログのエクスポートや表示内容の絞り込みなど、Log Viewer の各機能を実行します。

メニュー	項目	説明
ファイル	開く	Log Viewer 形式のファイルを読み込みます。
	エクスポート	ログリストに表示している内容を、Log Viewer 形式または CSV 形式で外部ファイルに保存します。
	履歴	「開く」で読み込んだ Log Viewer 形式のファイルのログを表示します。
	履歴をすべてクリア	「開く」で読み込んだログを削除します。
	終了	Log Viewer を終了します。
表示	更新	Log Viewer の表示を最新の情報に更新します。
	詳細検索	検索条件を設定して、ログリストの表示内容を絞り込みます。
ヘルプ	バージョン情報	Log Viewer のバージョン情報を表示します。








参考




- 「エクスポート」は、ログリストに表示されている内容を保存します。

【ログリスト】

LANSheet Light Manager® に保存されたイベントのログを表示します。

レベル	発生日時	イベント種別	機器名	Ethernet アドレス	ホスト名	内容
 エラー	2018/04/15 9:52:12	IP 設定	IT-AP2006	84:25:3F:01:01:03	IT010103	IP アドレスの設定に失敗
 エラー	2018/04/15 9:45:31	機器喪失	IT-AP2006	84:25:3F:01:01:06	IT010106	機器からの応答がなくなり
 情報	2018/04/15 9:45:20	機器検知	IT-AP2006	84:25:3F:01:01:03	IT010103	機器が見つかりました。
 警告	2018/04/15 9:43:15	監視停止	IT-AP2006	84:25:3F:01:01:02	IT010102	機器の監視を停止しまし
 エラー	2018/04/15 9:40:31	機器喪失	IT-AP2006	84:25:3F:01:01:01	IT010101	機器からの応答がなくなり

項目	説明
レベル	イベントの内容とレベル種別を表すアイコンを表示します。
発生日時	イベントの発生日時を表示します。
イベント種別	イベントの種別を表示します。
機器名	イベントが発生した機器の機器名を表示します。
Ethernet アドレス	イベントが発生した機器の Ethernet アドレスを表示します。
ホスト名	イベントが発生した機器のホスト名を表示します。
内容	イベントの内容を表示します。

アイコン	レベル種別	説明
	情報	設定変更やネットワーク上の機器の検索の成功などの正常系イベント。
	エラー	設定変更の失敗や通信エラーなどのイベント。
	警告	機器の監視の停止などのイベント。

イベント種別	説明
IP 設定	IP アドレスの設定時に表示します。
設定変更	設定変更時に表示します。
設定初期化	設定の初期化時に表示します。
機器再起動	再起動時に表示します。
ファームウェア更新	ファームウェアの更新時に表示します。
監視開始	機器の監視を開始した時に表示します。
監視停止	機器の監視を停止した時に表示します。
機器検知	機器から応答があった時に表示します。
機器喪失	機器から応答が無くなった（通信エラー）時に表示します。
機器復帰	機器喪失後、機器から応答があった時に表示します。
変更検知	LANSheet Light Manager® 以外の方法で設定変更やファームウェアが更新されたことを検知した時に表示します。
アプリケーション起動	LANSheet Light Manager® を起動したときに表示します。
アプリケーション終了	LANSheet Light Manager® を終了したときに表示します。



- 各項目のカラムヘッダーをクリックするとソートできます。

参考

フィルタ条件について

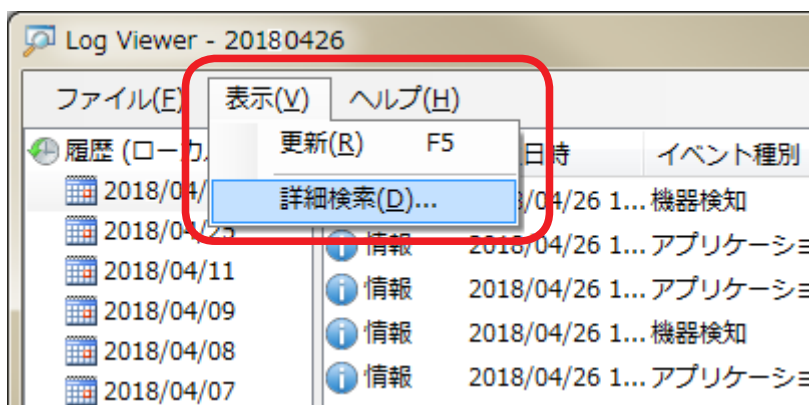
ログの各項目で表示フィルタを設定することで、ログ一覧から目的のログのみを表示することができます。

表示フィルタには「レベル」、「発生日時」、「イベント種別」、「機器名」、「Ethernet アドレス」、「ホスト名」、「内容」があります。

保存されたログから検索して表示する

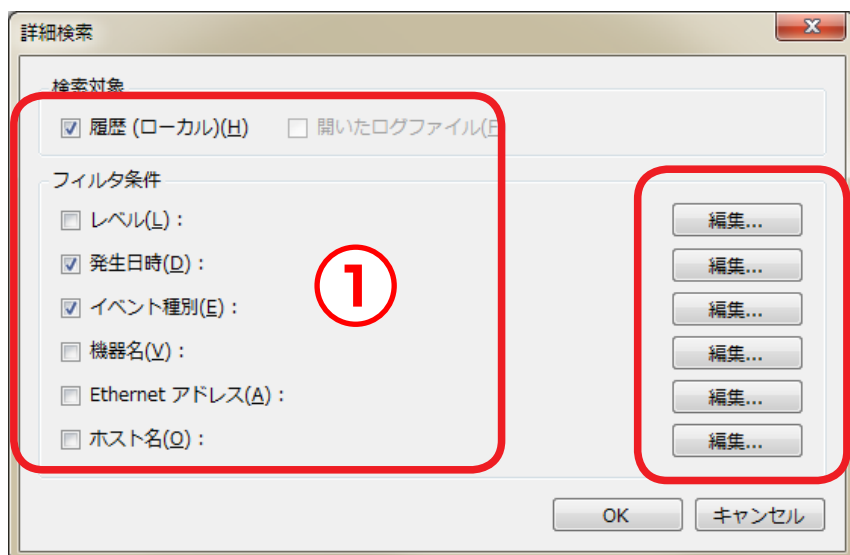
詳細検索画面に設定した検索条件で LANSheet Light Manager® に保存されたイベントログを検索して、条件に一致したログのみをログリストに表示します。

1. メニューバーから「表示」－「詳細検索」の順に選択します。



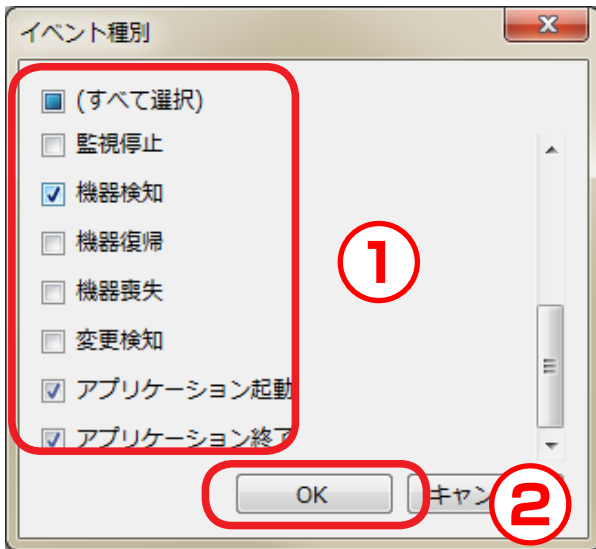
2. 詳細検索画面が表示されます。

検索対象と検索に使用するフィルタ条件にチェックを入れて、チェックを入れたフィルタ条件の「編集」をクリックします。



- 検索対象の「開いたログファイル」は、Log Viewer 形式のファイルを読み込んでいた場合に選択できます。

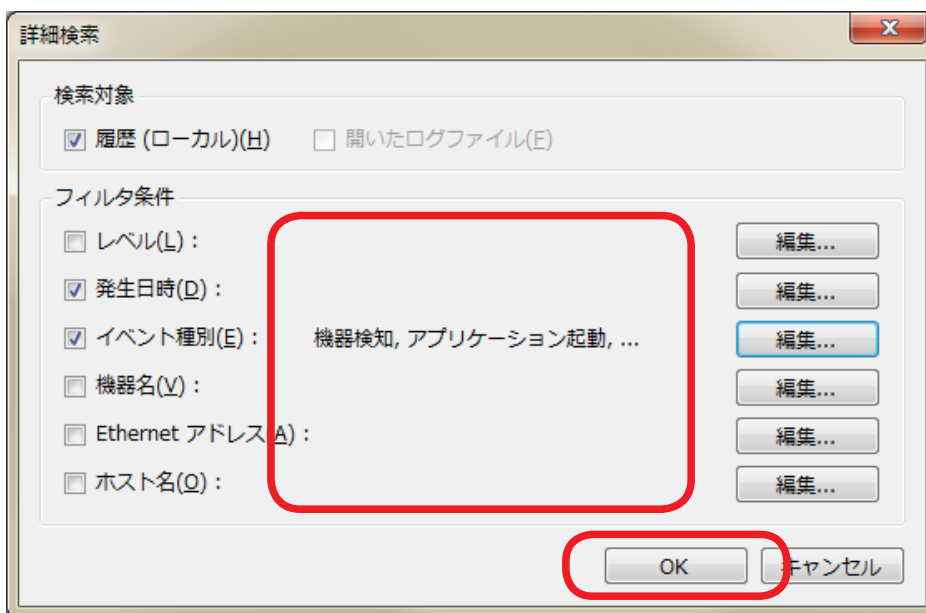
3. フィルタ条件の編集画面が表示されます。
使用するフィルタ条件にチェックを入れて「OK」をクリックします。



参考

- 使用するフィルタ条件にあわせて、日付や時間、機器名などを入力します。

4. 複数のフィルタ条件を設定する場合は、手順 2 から繰り返します。
設定したフィルタ条件が詳細検索画面に表示されます。
使用するフィルタ条件をすべて設定したら「OK」をクリックします。



5. 設定した条件での検索結果が表示されます。

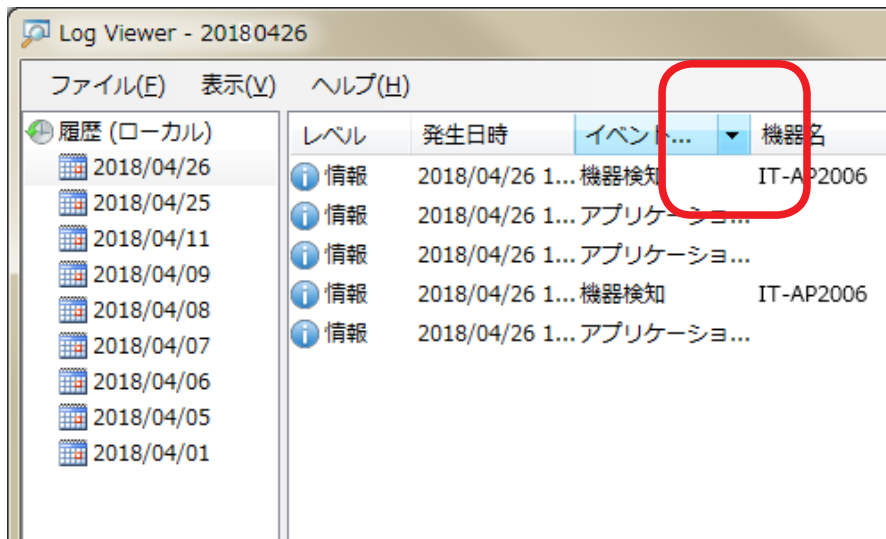
ファイル	レベル	発生日時	イベント種別	機器名	Ethernet アドレス	ホスト名	内容
2018/04/26	情報	2018/04/26 13...	機器検知	IT-AP2006	00:80:92:01:23:45	IT-AP2006-...	機器...
2018/04/26	情報	2018/04/26 12...	機器検知	IT-AP2006	00:80:92:12:34:56	IT-AP2006-...	機器...
2018/04/26	情報	2018/04/26 12...	アプリケーション...				LANSE
2018/04/26	情報	2018/04/26 12...	アプリケーション...				LANSE
2018/04/26	情報	2018/04/26 11...	機器検知	IT-AP2006	00:80:92:12:34:56	IT-AP2006-...	機器...
2018/04/26	情報	2018/04/26 11...	アプリケーション...				LANSE
2018/04/25	情報	2018/04/25 21...	アプリケーション...				LANSE
2018/04/25	情報	2018/04/25 20...	機器検知	IT-AP2006	00:80:92:12:34:56	IT-AP2006-...	機器...
2018/04/25	情報	2018/04/25 19...	アプリケーション...				LANSE
2018/04/25	情報	2018/04/25 19...	アプリケーション...				LANSE
2018/04/25	情報	2018/04/25 19...	アプリケーション...				LANSE
2018/04/11	情報	2018/04/11 14...	アプリケーション...				LANSE
2018/04/11	情報	2018/04/11 13...	アプリケーション...				LANSE
2018/04/11	情報	2018/04/11 13...	機器検知	IT-AP2006	00:80:92:01:23:45	IT-AP2006-...	機器...
2018/04/09	情報	2018/04/09 10...	アプリケーション...				LANSE
2018/04/08	情報	2018/04/08 14...	アプリケーション...				LANSE

31 件あります。

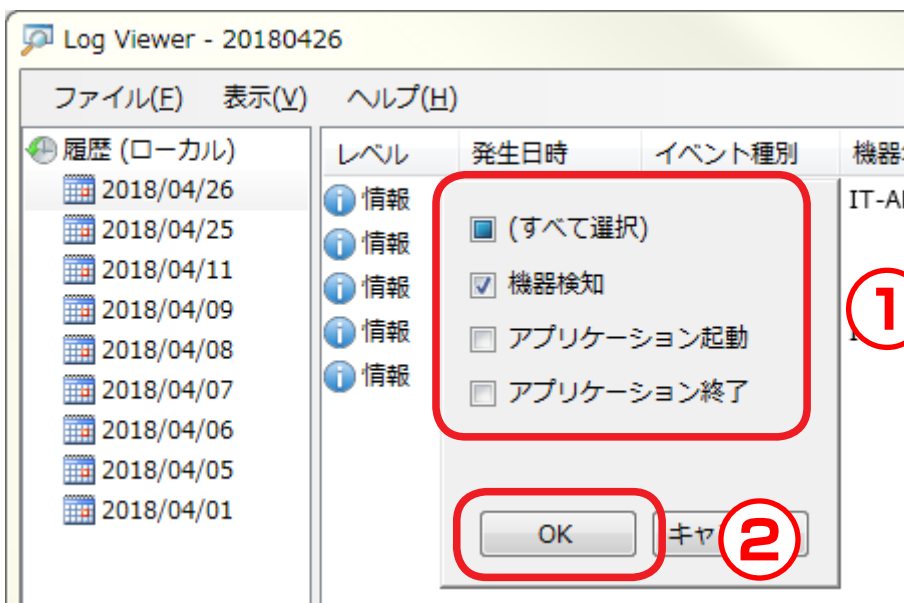
ログリストのフィルタ機能を使用する

ログリストの各項目で個別にフィルタを設定して、条件に一致したログのみをログリストに表示します。

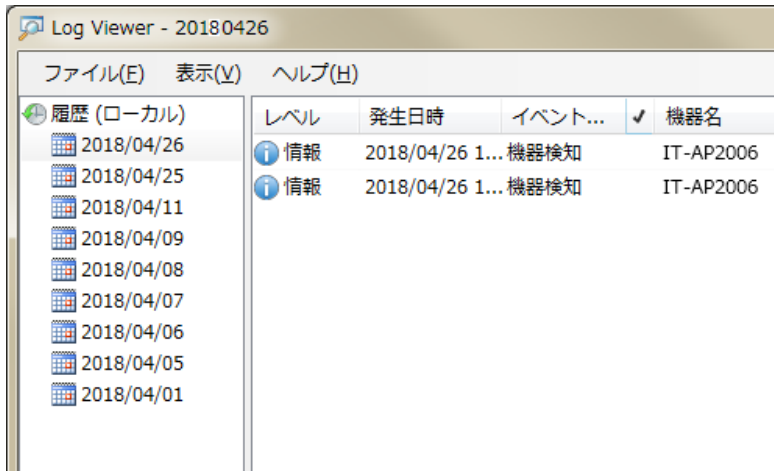
1. ログリストのカラムヘッダーにマウスカーソルを近づけるとスプリットボタンが表示されます。検索条件を設定したい項目のスプリットボタンをクリックします。



2. 選択した項目のフィルタ設定画面が表示されます。表示するログの条件にのみチェックを入れて、「OK」をクリックします。



3. 設定した条件でイベントログがフィルタされて表示されます。



- フィルタ機能が設定されている項目のカラムヘッダーには、チェックマークが表示されます。

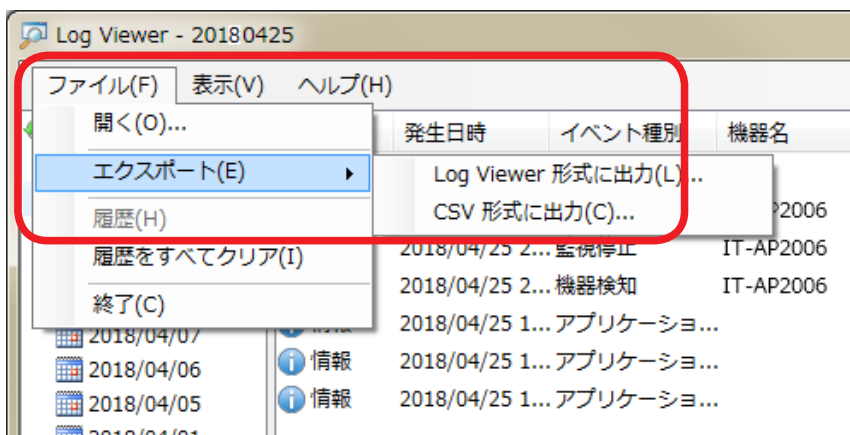
参考

イベントログをファイルに保存する

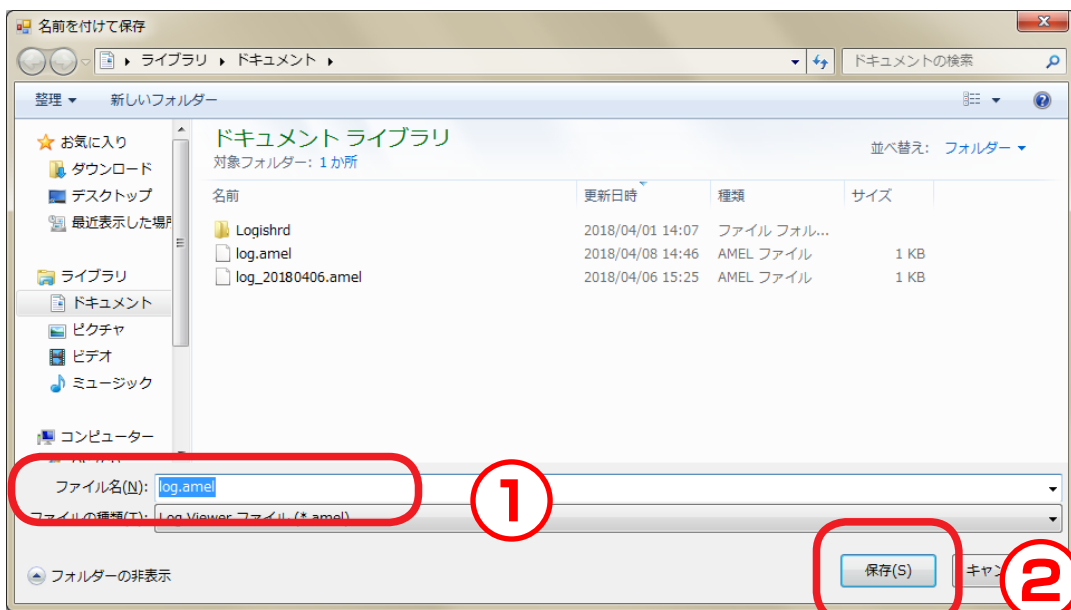
ログリストに表示されているイベントログをエクスポートして外部ファイルに保存します。

エクスポートするファイルは、Log Viewer 形式と CSV 形式を選択できます。Log Viewer 形式は、Log Viewer で読み込んで表示することができます。

1. メニューバーから「ファイル」－「エクスポート」－「Log Viewer 形式に出力」または「CSV 形式に出力」の順に選択します。



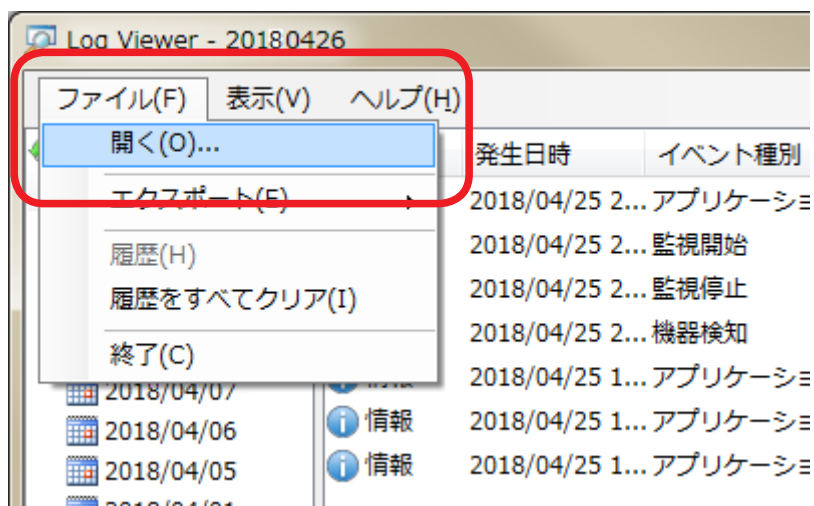
2. ファイルの保存画面が表示されます。
任意のファイル名を入力して「保存」をクリックします。



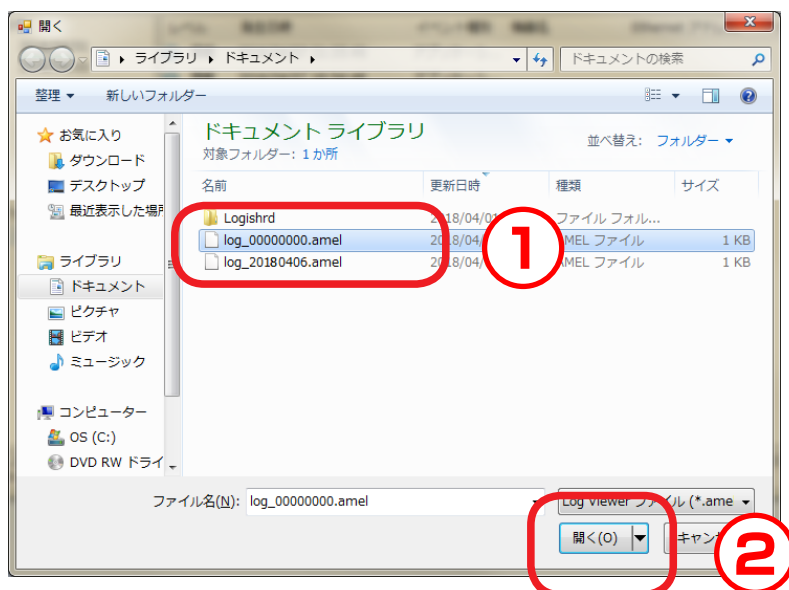
保存したイベントログを読み込む

エクスポートして Log Viewer 形式で外部ファイルに保存したイベントログを読み込みます。読み込めるファイルは、Log Viewer 形式のファイルです。

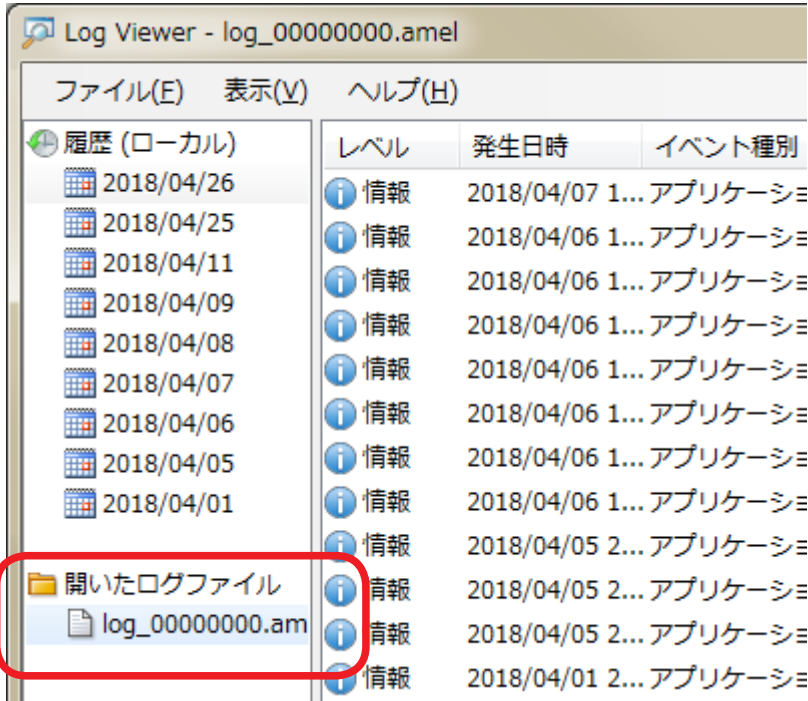
1. メニューバーから「ファイル」 - 「開く」の順に選択します。



2. ファイルの選択画面が表示されます。
読み込む Log Viewer 形式のファイルを選択して「開く」をクリックします。

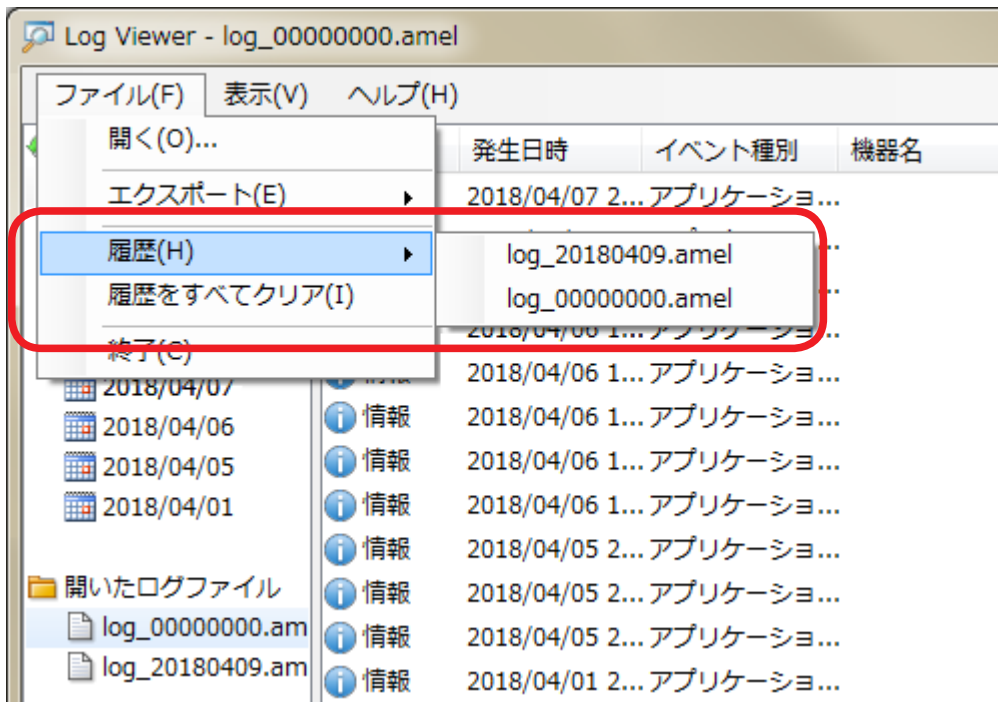


3. 読み込んだファイルが表示されます。



- メニューバーから「ファイル」 - 「履歴」の順に選択すると、インポートしたファイルの履歴が最大5件表示され、ファイルを選択するとインポートすることが出来ます。

参考

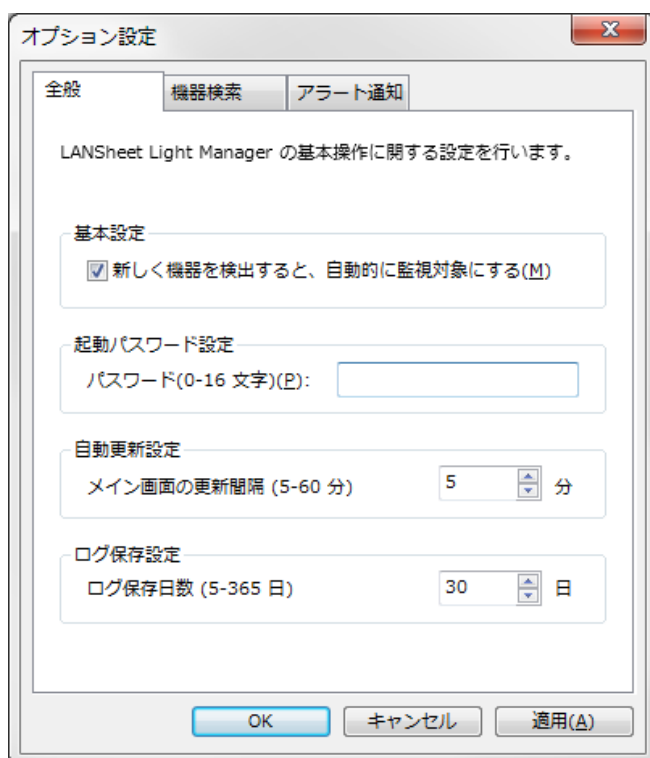


4-13. LANSheet Light Manager® の設定を変更する

本製品の基本動作や機器検索について設定する方法について説明します。
本製品の動作に関する設定は、オプション設定画面で行います。

オプション設定画面

【全般タブ】



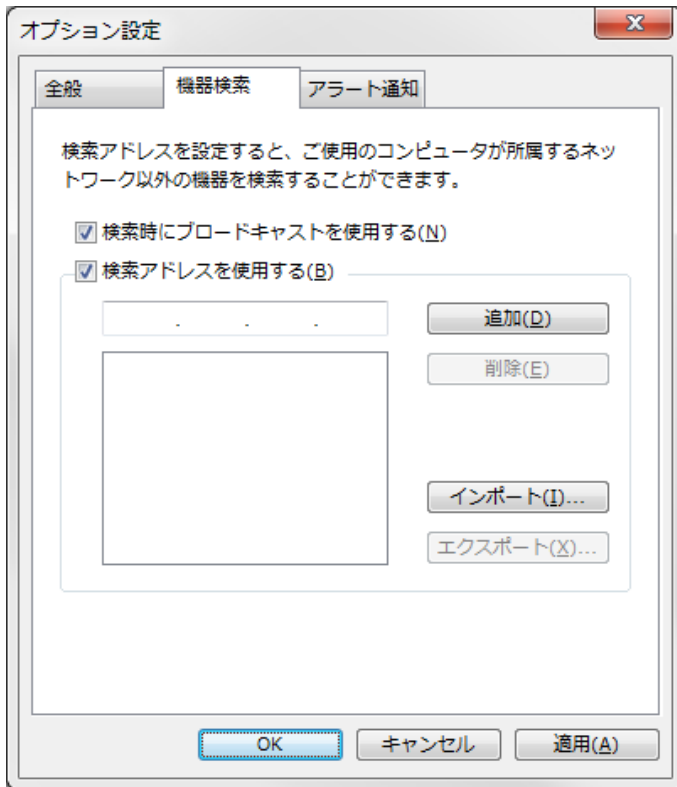
項目	説明	初期値
新しく機器を検出すると、自動的に監視対象にする	LANSheet Light Manager® がネットワーク上に新しい機器を検出したとき、監視対象として定期的にステータスを更新するときは、チェックボックスを ON にします。	ON
パスワード	LANSheet Light Manager® の起動パスワードを設定することができます。 設定文字数は 0 ~ 16 文字の間で設定します。	なし
メイン画面の更新間隔	監視対象とした機器のステータスを更新する間隔を設定します。 更新間隔は 1 ~ 60 分の間で設定します。	5 分
ログ保存日数	イベントログを保存する日数を設定します。 保存日数は 5 ~ 365 日の間で設定します。	30 日
[OK] ボタン	設定を保存して、オプション設定画面を閉じます。	-
[キャンセル] ボタン	オプション設定画面を閉じます。	-
[適用] ボタン	設定を保存します。	-



参考

- ・ イベントログはログ保存日数で指定した期間保存され、Log Viewer から参照できます。

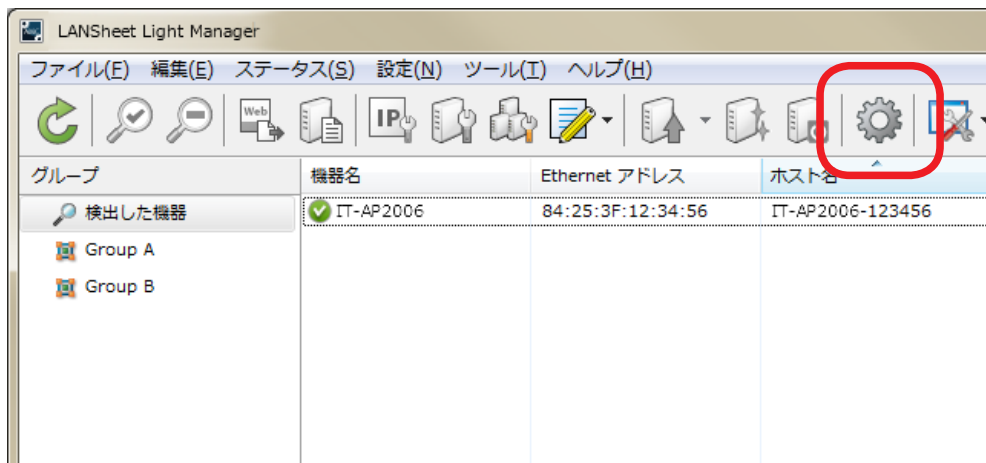
【機器検索タブ】



項目	説明	初期値
検索時にブロードキャストを使用する	ブロードキャストを使用して検索します。検索アドレスと 255.255.255.255 を送信するときは、チェックボックスを ON にします。	ON
検索アドレスを使用する	検索アドレスを使用して検索するときは、チェックボックスを ON にします。	ON
検索アドレス欄	機器の検索を行うための検索アドレスを入力します。	なし
[追加] ボタン	検索アドレス欄に入力されたアドレスを登録します。検索アドレス一覧には、最大 1024 個まで登録できません。	-
[削除] ボタン	検索アドレス一覧からアドレスを選択して削除します。	-
[インポート] ボタン	外部ファイルに記述されている IP アドレスを読み込み、検索アドレスに追加します。	-
[エクスポート] ボタン	検索アドレスとして登録されている IP アドレスをすべて外部ファイルに出力します。	-
[OK] ボタン	設定を保存して、オプション設定画面を閉じます。	-
[キャンセル] ボタン	オプション設定画面を閉じます。	-
[適用] ボタン	設定を保存します。	-

LANSheet Light Manager® の設定を変更する

1. ツールバーの「オプション」アイコンを選択します。



参考

- メニューバーの「ツール」 - 「オプション」でも表示できます。

2. オプション設定画面が表示されます。
変更する設定項目を編集して、[OK] をクリックします。

